

参考資料

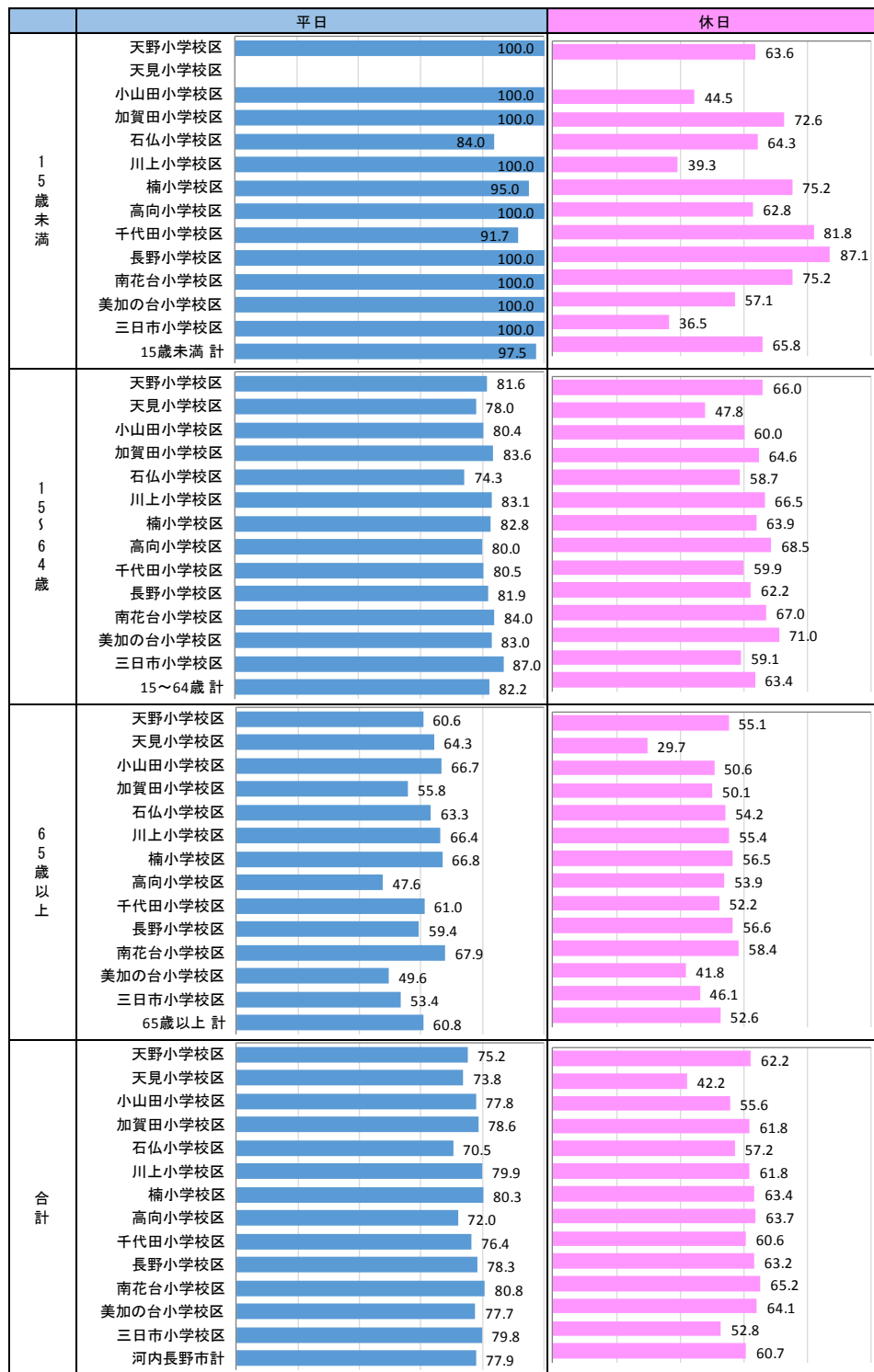
- 参考資料 1 河内長野市における公共交通をとりまく現状 参考-1
- 参考資料 2 公共交通に関するこれまでの取り組み実績 参考-37
- 参考資料 3 第 43 回河内長野市民意識調査(H28) 調査票 参考-57

参考資料1 河内長野市における公共交通をとりまく現状

(1) 地域別の外出率と平均トリップ数

地域別の外出率は、65歳以上の外出率が他の年齢層に比べて低くなっており、平日と休日を比べると休日の方が低くなっている。

<外出率（単位：％）>

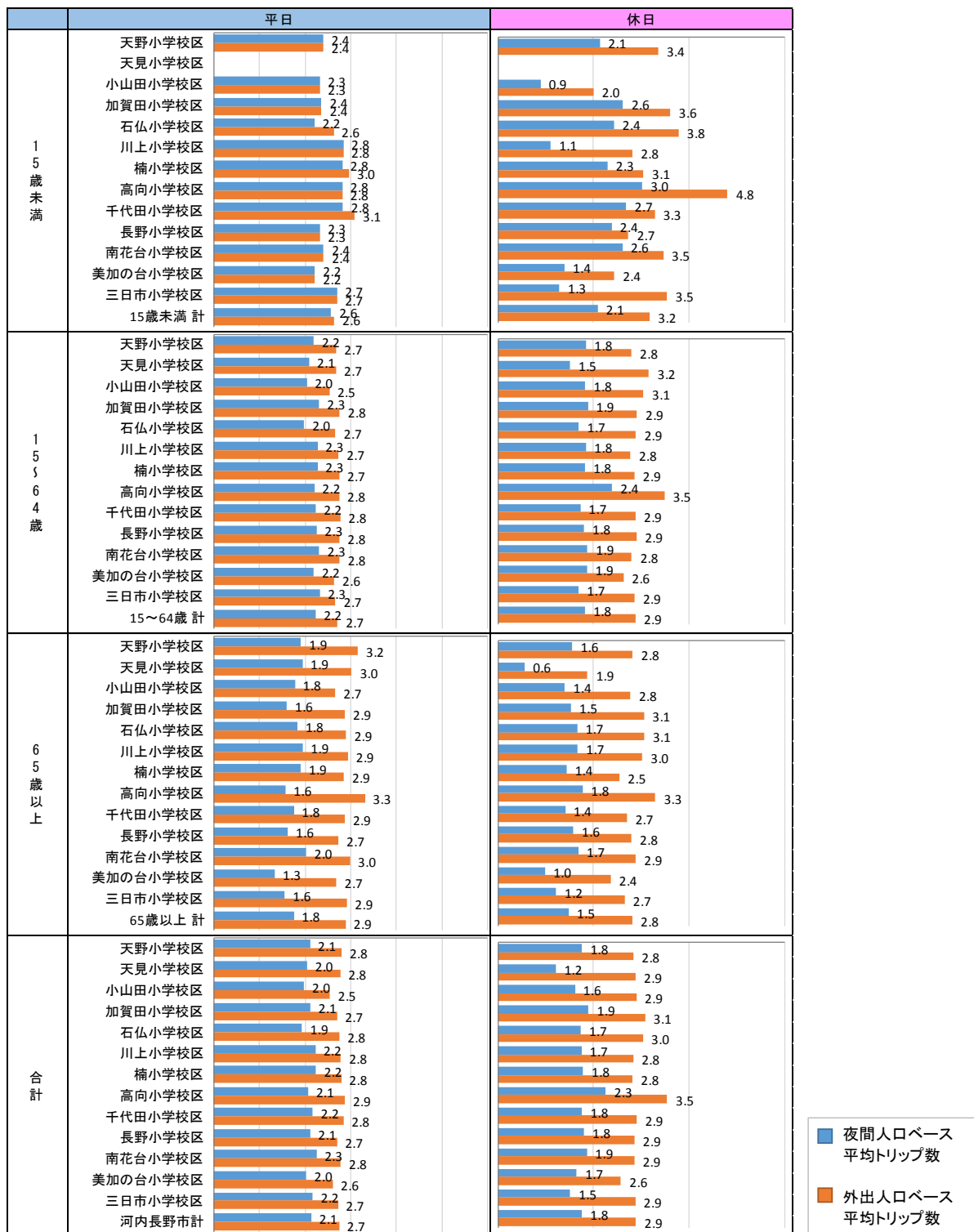


※15歳未満の天見小学校区はサンプルなし
資料：平成22年近畿圏パーソントリップ調査結果

平均トリップ数は、外出していない人も含めると低くなる（夜間人口ベース）が、外出している人に着目すると概ね 2.5～2.8（外出人口ベース）となっており、外出する場合は複数トリップで移動していることがわかる。

※トリップとは、1つの目的での、出発地から到着地までの移動のことで、いくつかの交通手段を乗り換えても1トリップと数える。

<平均トリップ数（単位：トリップ）>



※河内長野市の各小学校区居住者のトリップ数であり、トリップの場所は市外も含む

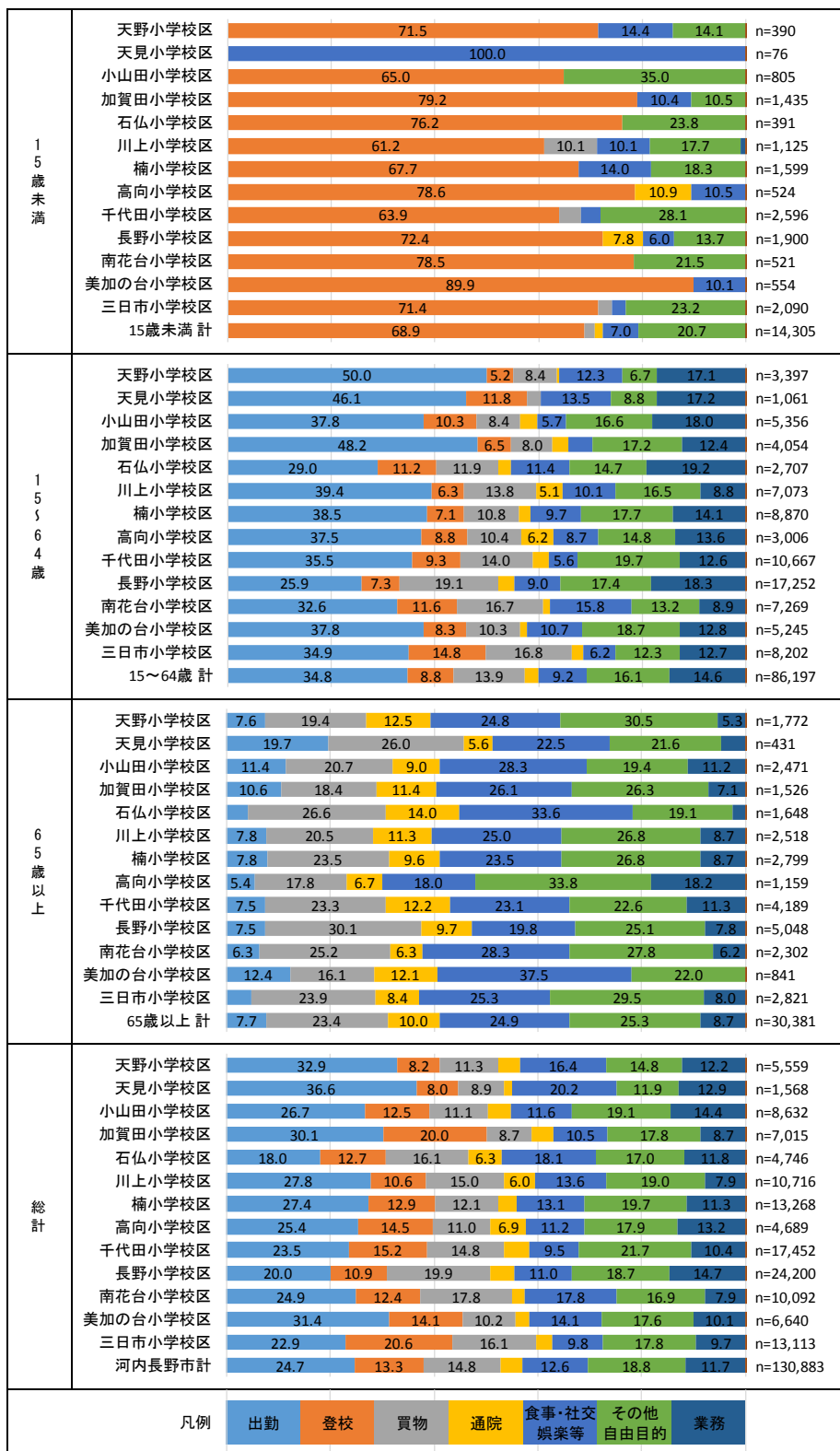
※15歳未満の天見小学校区はサンプルなし

資料：平成22年近畿圏パーソントリップ調査結果

(2) 地域別の移動目的

平日の移動目的は、15歳未満は“登校”、15～64歳は“出勤”が多くなっており、65歳以上は“買物”、“通院”、“食事・社交・娯楽”、“その他自由目的”が混在している。

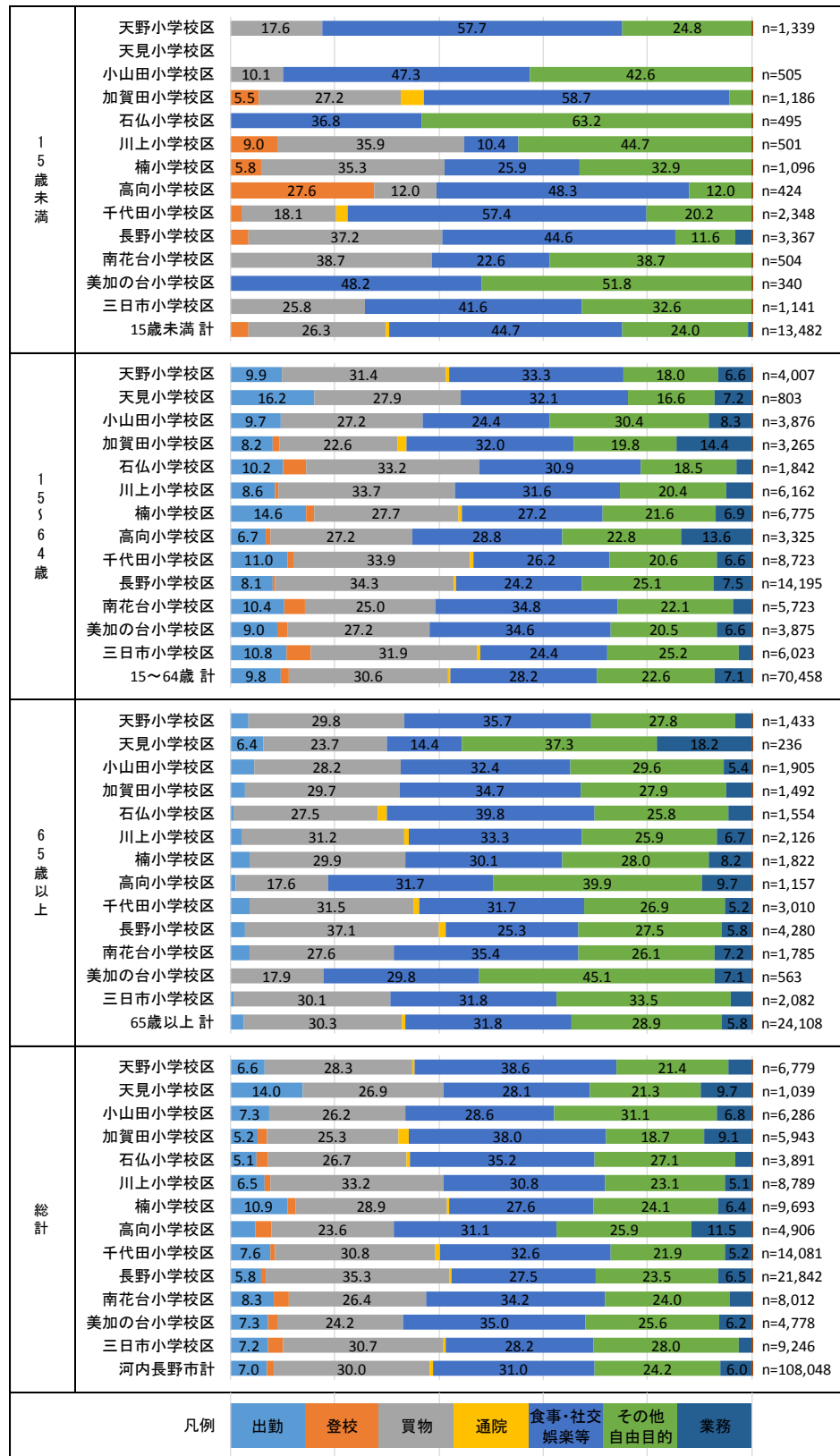
<平日（単位：%）>



※河内長野市で発生したトリップを対象に集計
資料：平成22年近畿圏パーソントリップ調査結果

休日の移動目的は平日に比べると年齢層別の差が小さく、“買物”、“食事・社交・娯楽”、“その他自由目的”が混在している。

<休日（単位：％）>



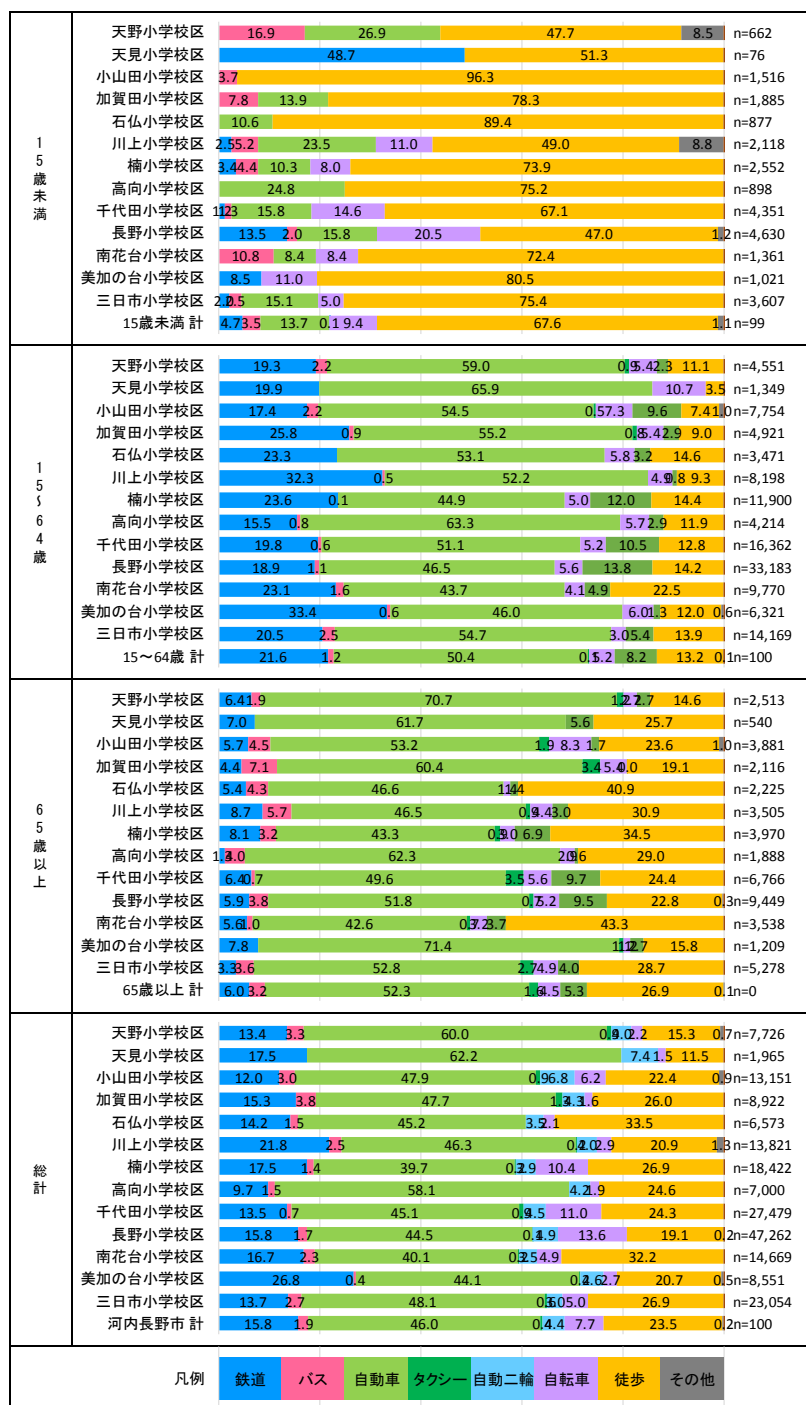
※15歳未満の天見小学校区はサンプルなし
 ※河内長野市で発生したトリップを対象に集計
 資料：平成22年近畿圏パーソントリップ調査結果

(3) 地域別の移動手段

平日の移動手段は、15歳未満は徒歩が多くなっているが、天野小学校区、川上小学校区、高向小学校区では自動車が2割を越えており、天見小学校区では鉄道が約半数となっている。また、バスは天野小学校区では約2割、南花台小学校区では約1割存在している。長野小学校区では自転車約2割存在している。

15～64歳は自動車が最も多くなっており、次いで鉄道や徒歩が多くなっている。65歳以上は自動車が最も多いが、15～64歳に比べて鉄道が少なく徒歩が多くなっている。

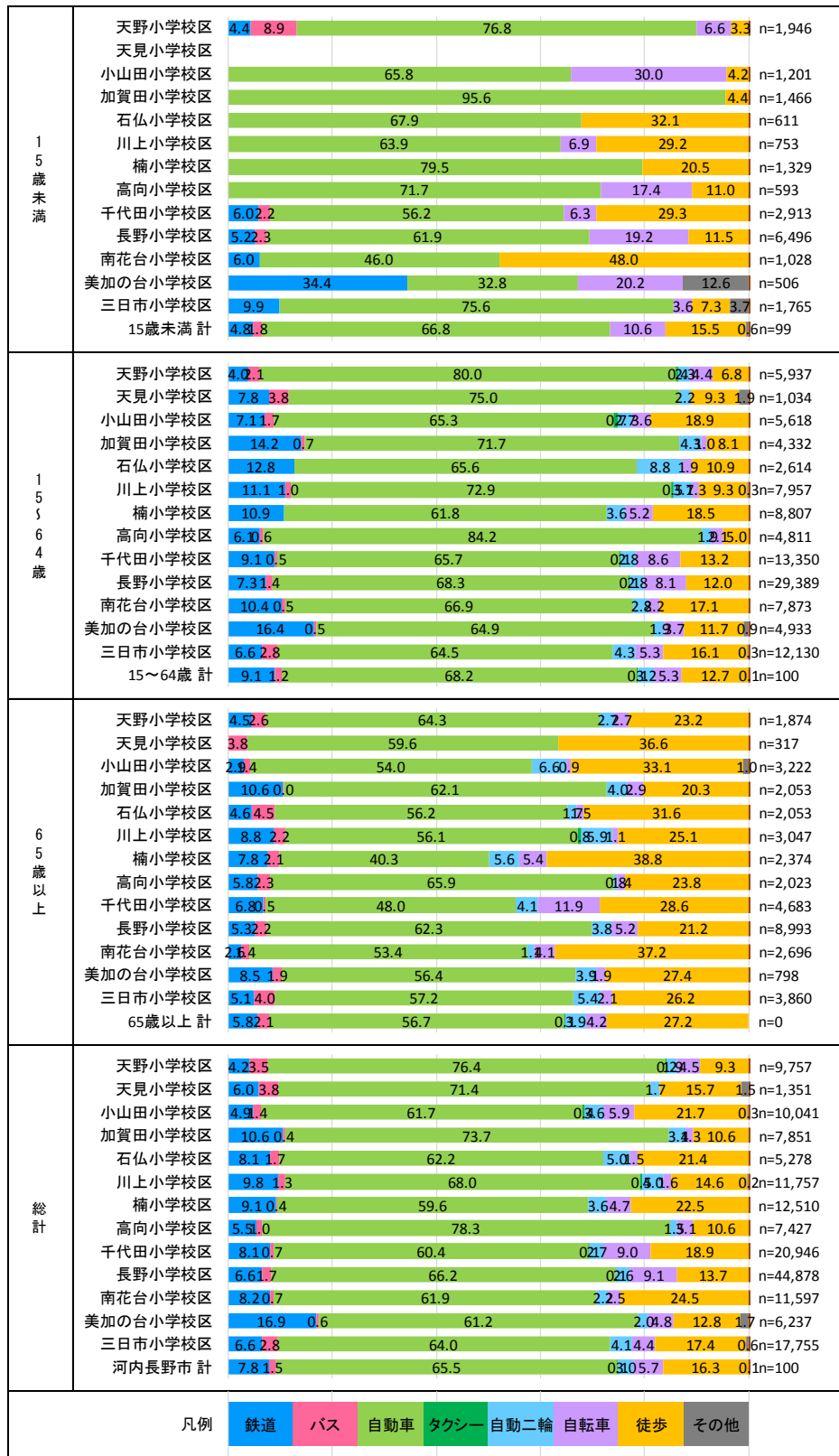
<平日(単位:%)>



※河内長野市で発生したトリップを対象に集計
資料:平成22年近畿圏パーソントリップ調査結果

休日の移動手段はいずれの年齢層でも自動車が多くなっており、鉄道、バスは1割程度の地域が多くなっている。

<休日（単位：％）>



※15歳未満の天見小学校区はサンプルなし

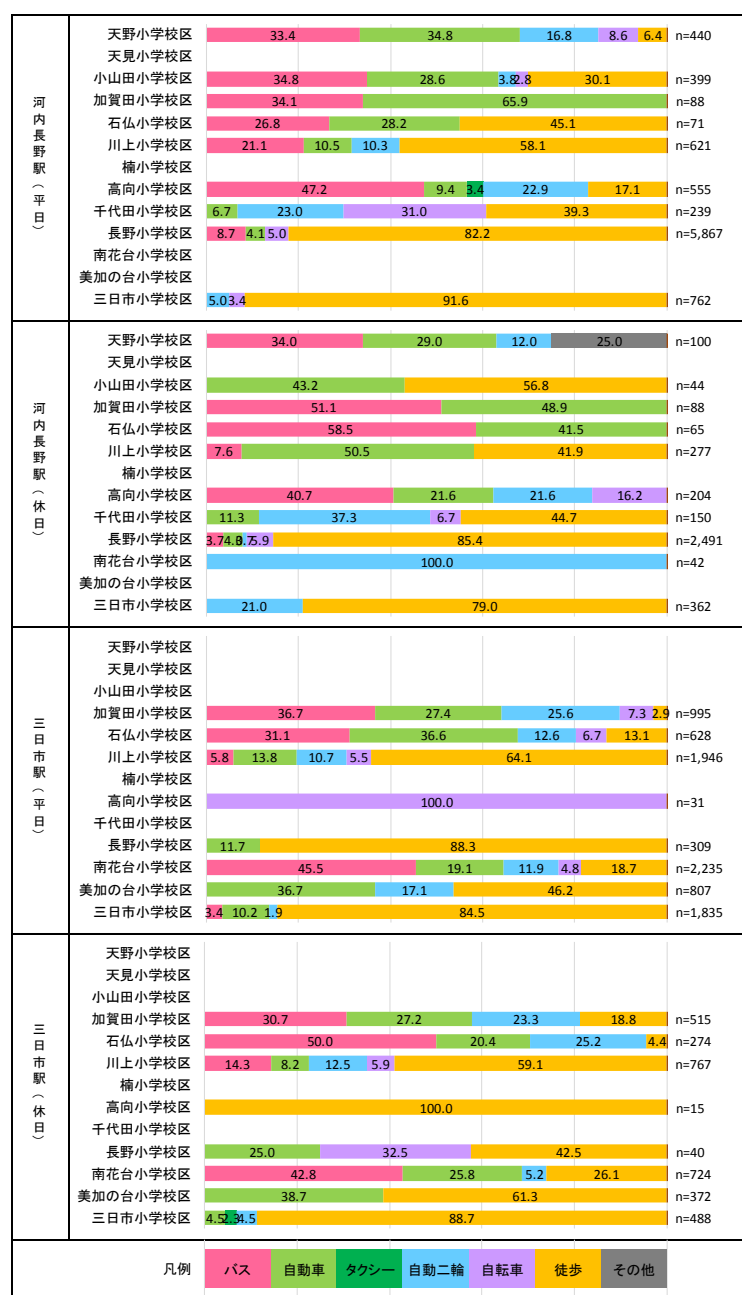
資料：平成22年近畿圏パーソントリップ調査結果

(4) 駅へのアクセス手段

平日の河内長野駅へのアクセス手段は、三日市小学校区、長野小学校区、川上小学校区、石仏小学校区、千代田小学校区で徒歩が最も多く、高向小学校区、小山田小学校区ではバスが最も多くなっている。休日は長野小学校区、三日市小学校区、小山田小学校区、千代田小学校区で徒歩が最も多く、石仏小学校区、加賀田小学校区、高向小学校区、天野小学校区ではバスが最も多くなっている。加賀田小学校区、石仏小学校区では平日、休日ともバスと自動車両方存在しており、バスへの転換可能性があると考えられる。

三日市駅は平日、休日とも長野小学校区、三日市小学校区、川上小学校区、美加の台小学校区で徒歩が最も多く、南花台小学校区、加賀田小学校区はバスが最も多くなっている。

＜駅へのアクセス手段（単位：％）＞

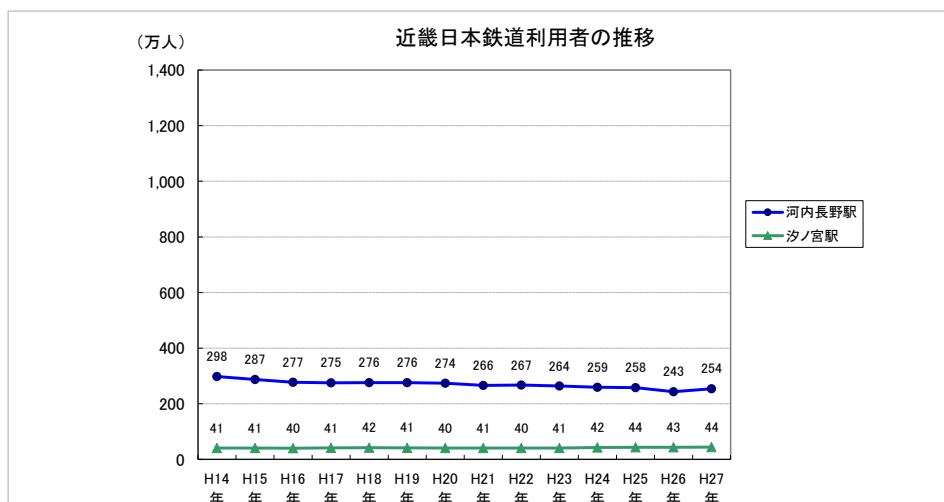
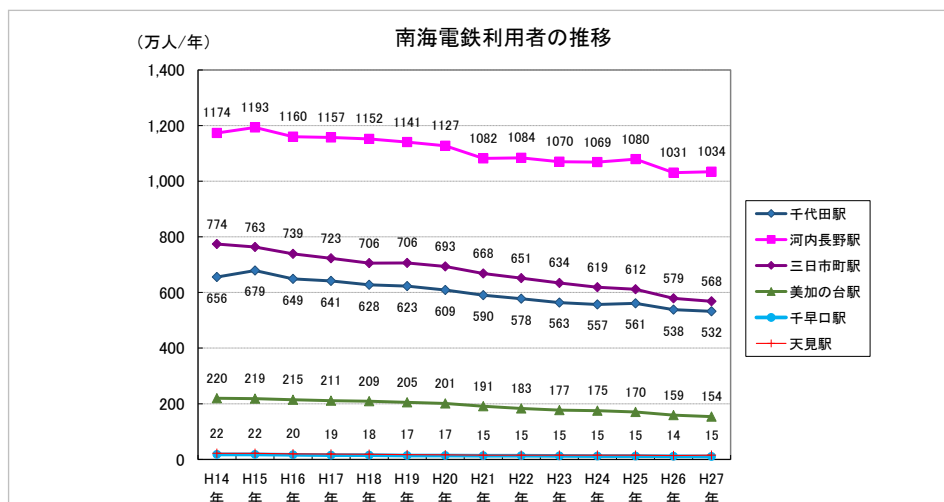


※天見小学校区等グラフの値が無い箇所はサンプルなし
資料：平成 22 年近畿圏パーソントリップ調査結果

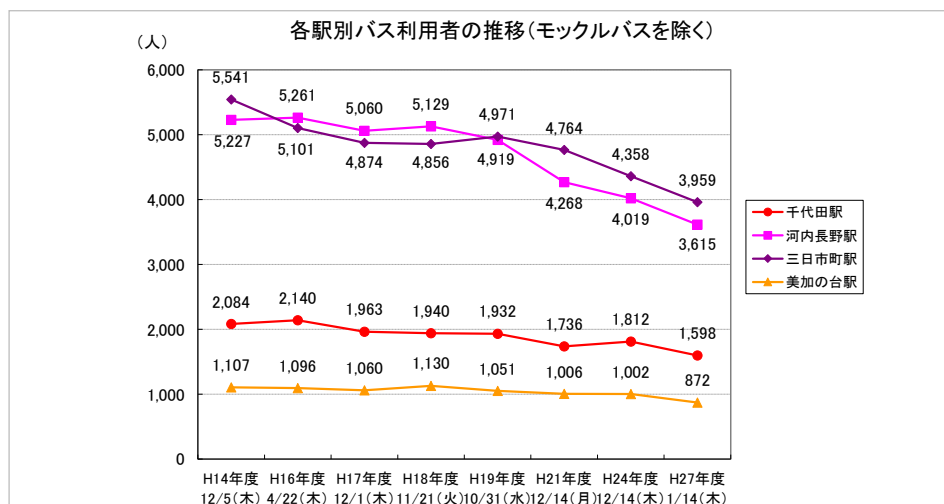
(5) 駅別の鉄道、バス利用者数の推移

駅別の鉄道利用者数は南海河内長野駅が最も多く、一部前年に比べて微増している年もあるものの、長期的には減少傾向が続いている。また、三日市町駅、千代田駅、近鉄河内長野駅も同様の傾向となっている。

バスの利用者数も全体的に減少傾向となっており、特に河内長野駅、三日市駅は平成19年度以降の減少が加速している。



資料:河内長野市統計書

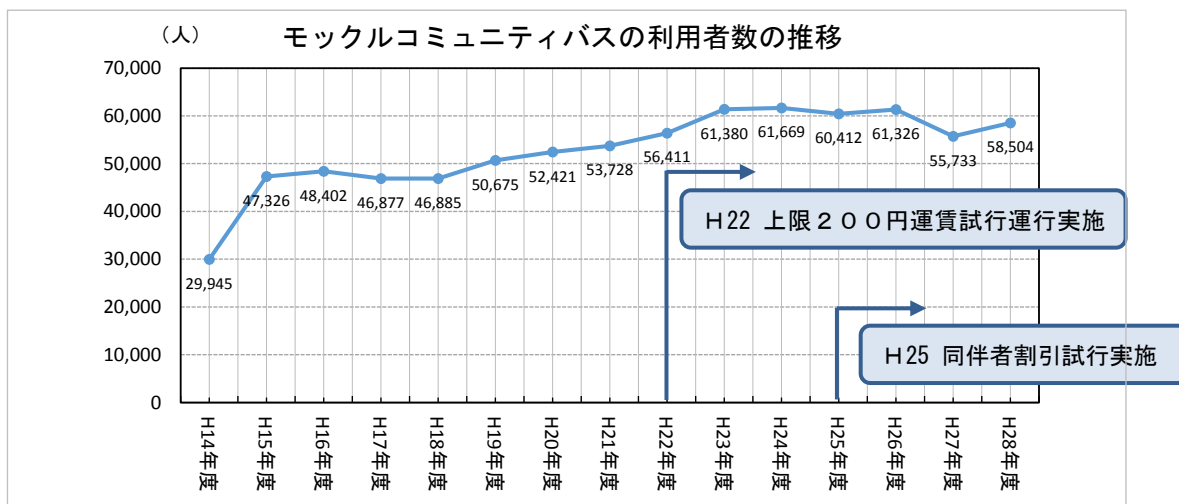


資料:南海バス

(6) モックルコミュニティバスの利用状況

1) 利用者数の推移

モックルコミュニティバスでは、平成 22 年 4 月より上限 200 円運賃の試行運行を実施し、利用者数は増加していたが、近年は微増・微減を繰り返している。

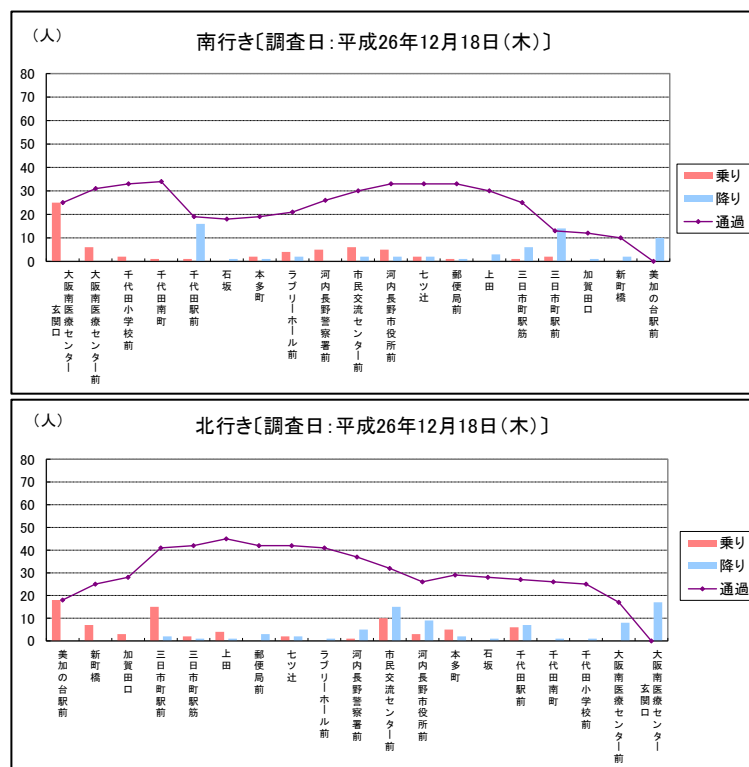


資料:河内長野市調べ

2) 利用状況〔平日・休日別〕

南行きは大阪南医療センター玄関口や市民交流センターで乗車が比較的多く、三日市町駅や美加の台駅、千代田駅といった鉄道駅で降車が多くなっている。また、北行きは美加の台駅、三日市町駅、市民交流センター前での乗車が多く、大阪南医療センター玄関口、市民交流センター前、河内長野市役所前での降車が多くなっている。

【平日】

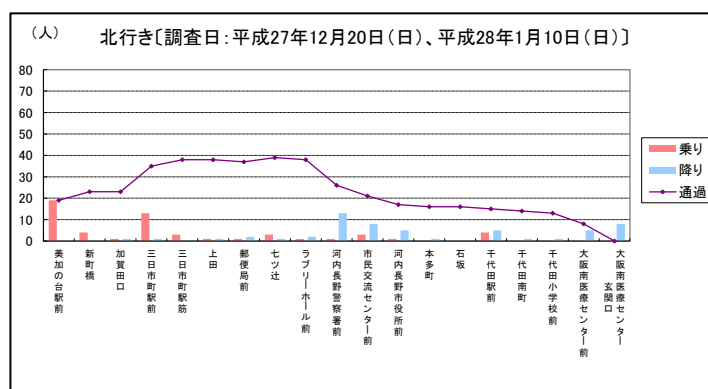
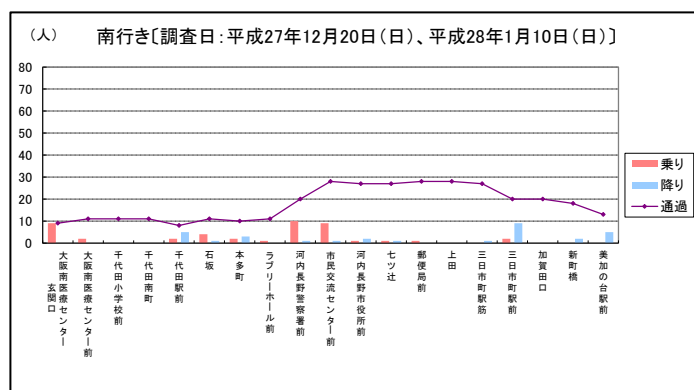


※ラブラリーホール、河内長野警察署前、市民交流センター前は合算値

資料:河内長野市調べ

休日は平日に比べて乗降人数が少なく、南行きは河内長野警察署前、市民交流センター、大阪南医療センター玄関口での乗車が多く、三日市町駅前や美加の台駅での降車が多くなっている。また、北行きは美加の台駅や三日市町駅前での乗車が多く、河内長野警察署前、市民交流センター前、大阪南医療センター玄関口での降車が多くなっている。

【休日】

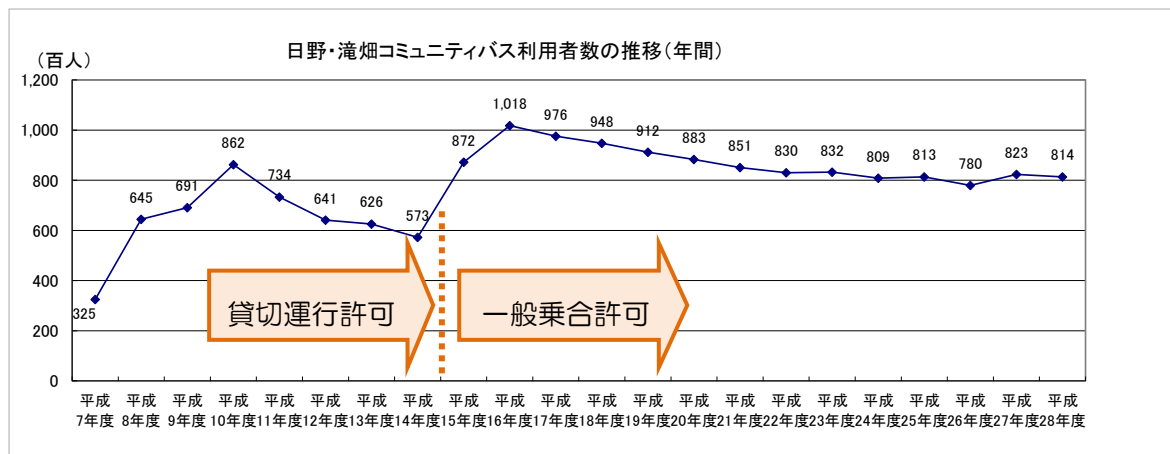


※ラブリールホール、河内長野警察署前、市民交流センター前は合算値

資料：河内長野市調べ

(7) 日野・滝畑コミュニティバスの利用者数の推移

日野・滝畑コミュニティバスの利用者数は、平成10年度以降減少し、平成15年6月より貸切運行許可から一般乗合許可へ変更したことにより、平成14年度から15年度にかけては増加している。平成17年度以降は、再び減少傾向となっているが、近年は沿線施設との連携により観光利用のPRを積極的に展開することにより、微増になっている年もある。



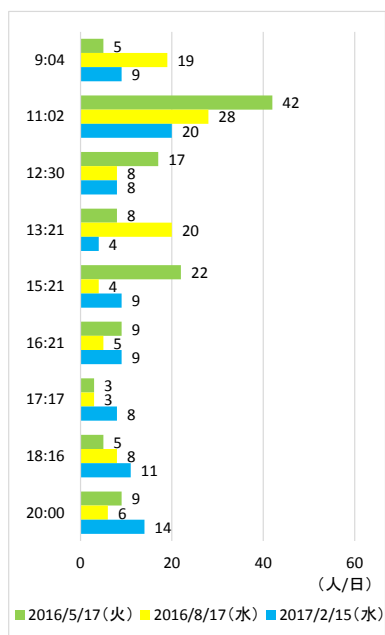
資料:河内長野市調べ

平日の滝畑ダム行きはいずれの季節（5月、8月、2月）も午前中の11時台が最も多くなっている。河内長野駅行きでは、春（5月）は13,14時台、夏（8月）は16,17時台が比較的多くっており、季節によって利用状況が異なっている。

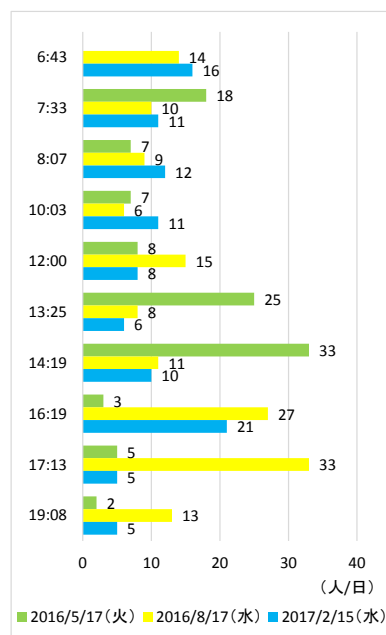
休日の滝畑ダム行きは9時台が特に多くなっており、河内長野駅行きは16時台が最も多く、次いで14時台が多くなっている。このことから、朝に滝畑ダムや岩湧山などの行楽地へ向かい、午後から夕方にかけては河内長野駅へ戻るパターンが多いことが見受けられる。

【平日】

○滝畑ダム行き

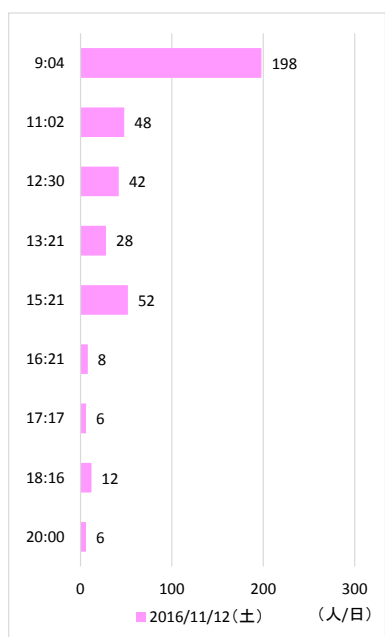


○河内長野駅行き

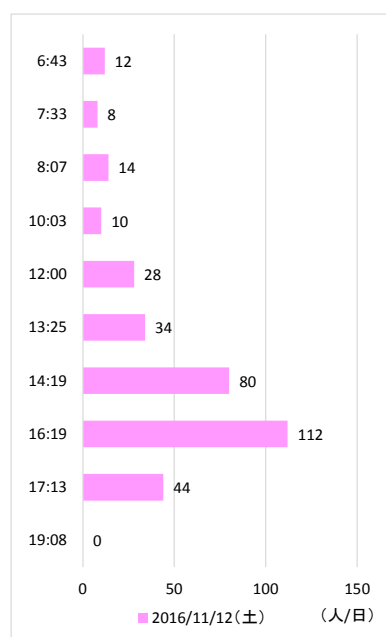


【休日】

○滝畑ダム行き



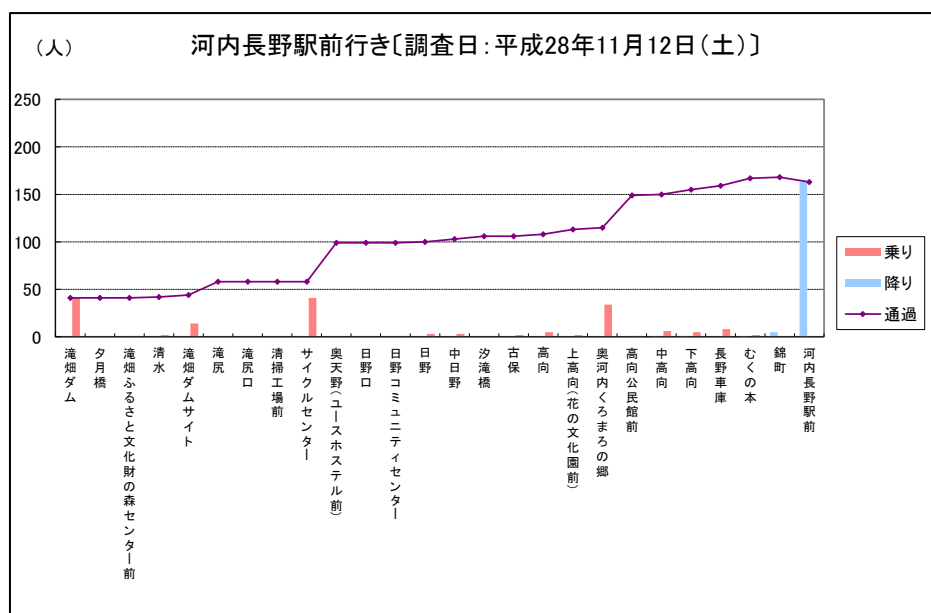
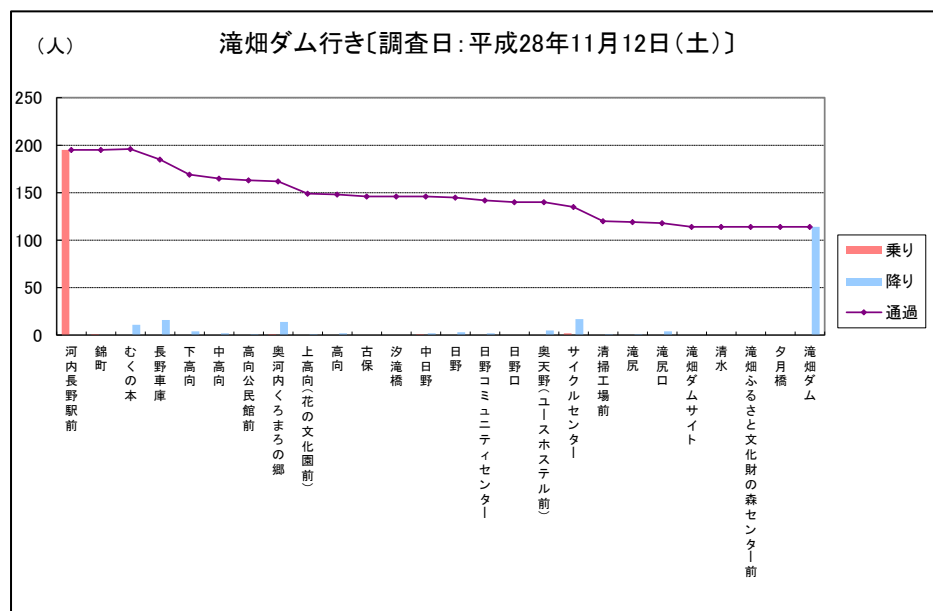
○河内長野駅行き



資料:河内長野市調べ

バス停別の利用状況は、平日の滝畑ダム行きは河内長野駅前で大半が乗車した後、長野車庫や奥河内くろまろの郷、サイクルセンター、終点の滝畑ダムでの降車が比較的多くなっている。

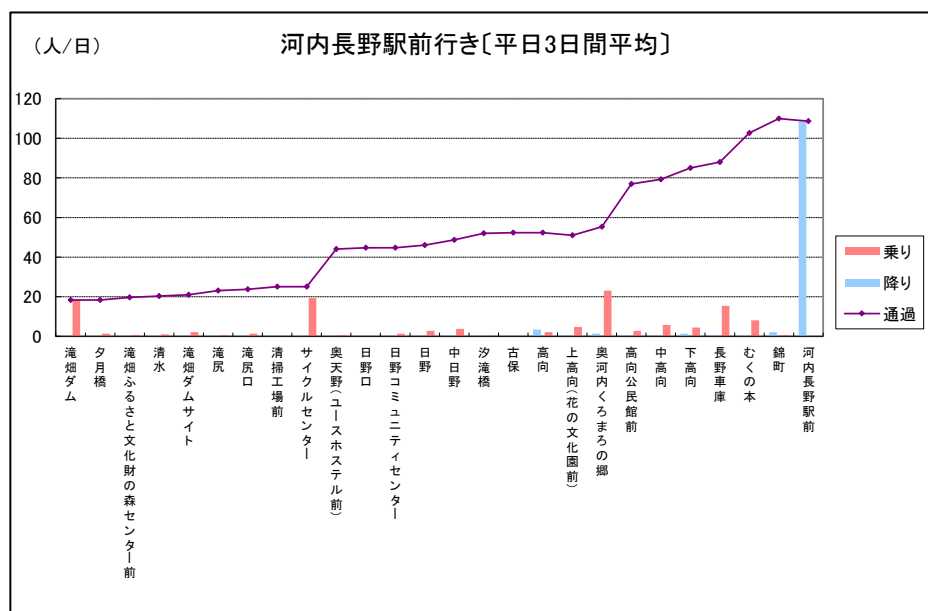
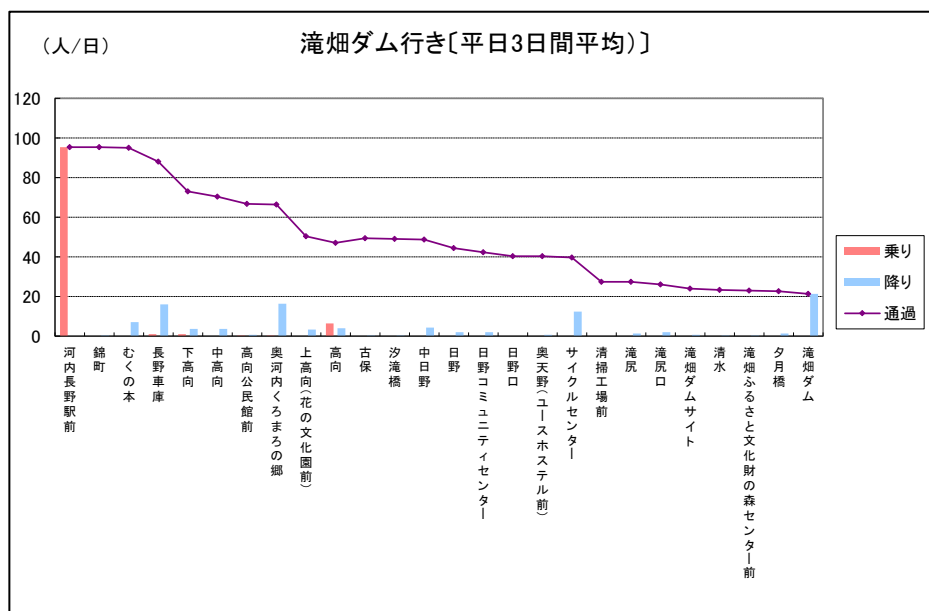
河内長野駅行きは概ねその逆となっており、各バス停で乗車した後、河内長野駅での降車が大半となっている。



※5/17(火)河内長野駅行きの6:02発、6:43発データなし、8/17,2/15の河内長野駅行き6:02発、滝畑ダム行きは3回とも最終便の21:38発がデータなし
資料：河内長野市調べ(調査日：平成28年5月17日(火)、8月17日(水)、平成29年2月15日(水))

休日の滝畑ダム行きは、平日と同様に河内長野駅前で大半が乗車しているが、降車は終点の滝畑ダムが多く、途中の停留所での降車は少数となっており、沿線住民の生活路線ではなく観光路線としての傾向が見受けられる。

河内長野駅行きは、滝畑ダムの他、サイクルセンターや奥河内くろまろの郷等で乗車が見られ、降車は河内長野駅が大半となっており、当路線の沿線に集客力のある施設が点在していることがわかる。

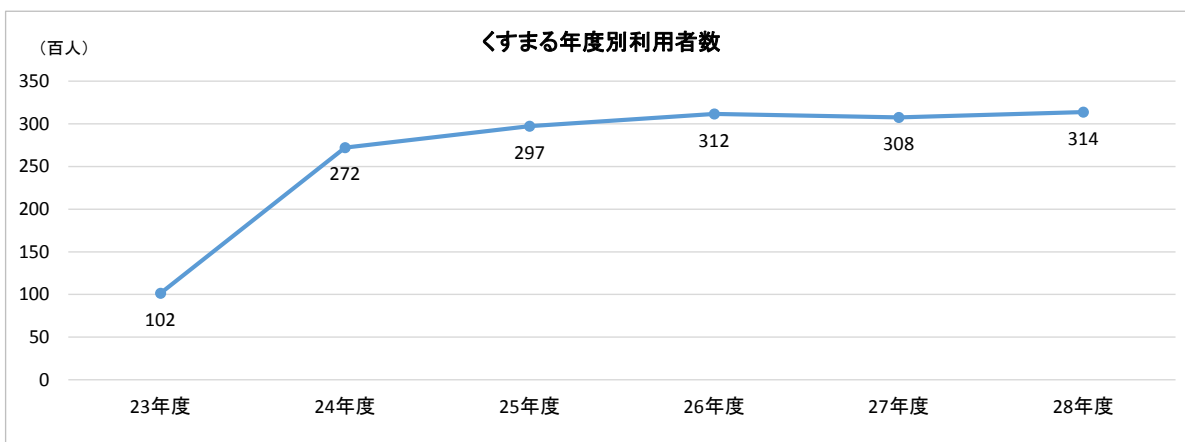
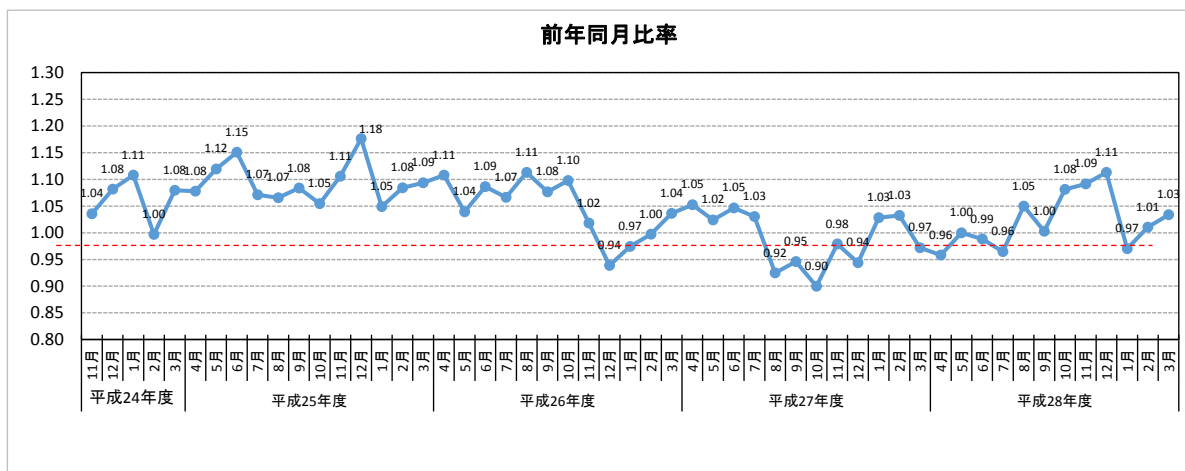
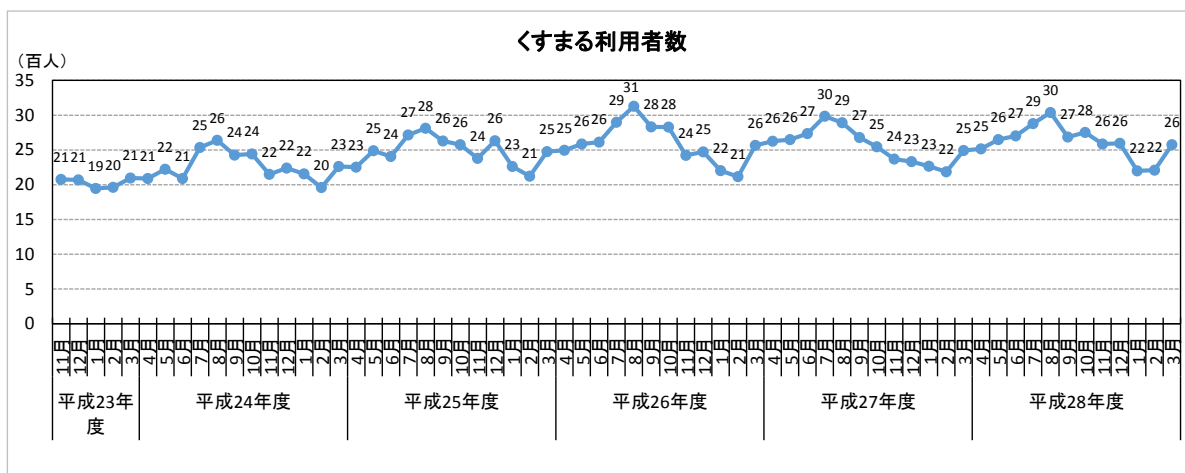


※11/12の河内長野駅行き6:02発、滝畑ダム行き最終便の21:38発がデータなし

資料:河内長野市調べ

(8) 楠ヶ丘地域乗合タクシーの利用者数の推移

楠ヶ丘地域の乗合タクシーは、夏場の7、8月が最も多く、2月が最も少なくなっている。前年同月と比較すると、概ね1.0以上となっており、平成27年度以降は前年を下回る月が出てくるようになってきている。ただし、直近の平成28年度は、過去最高の利用者数となっている。

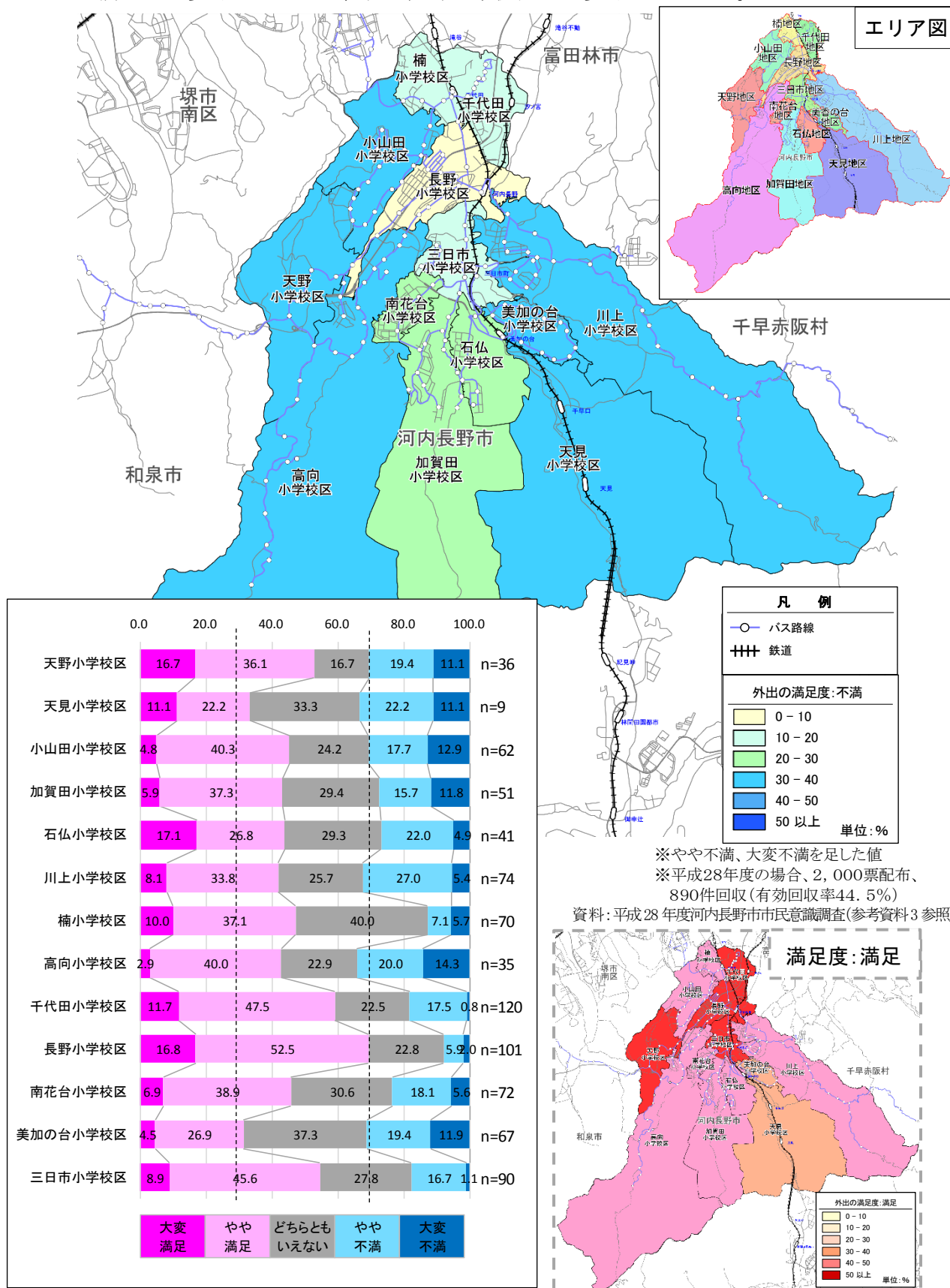


資料:河内長野市調べ

(9) 日常生活の外出や公共交通の満足度・意向等(市民意識調査結果 ※参考資料3に調査票を掲載)

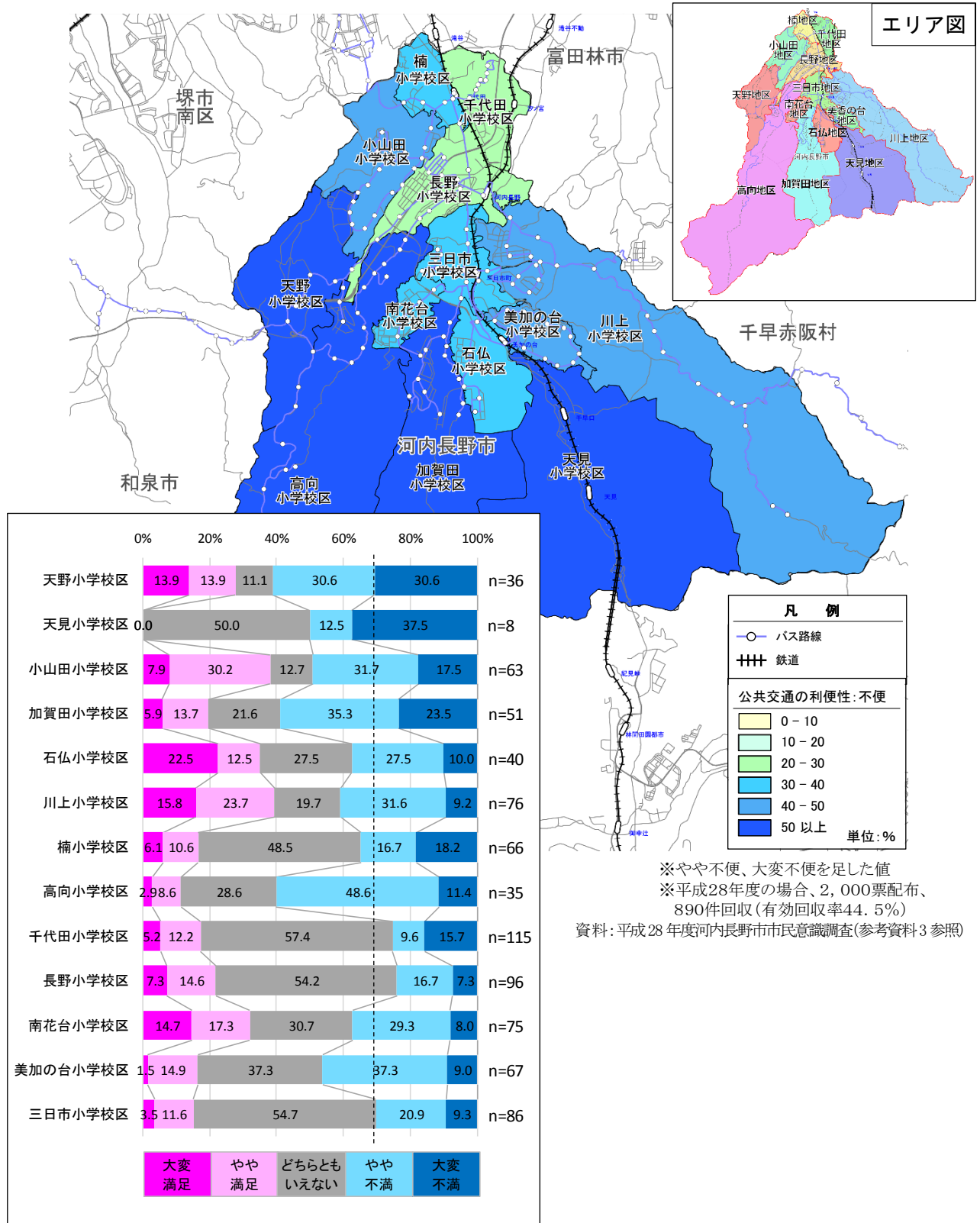
1) 日常生活における外出の満足度

日常生活における外出の満足度について、南部を中心に多くの地域で“大変満足”と“やや満足”を合わせると3割を超えている。ただし、“それ以上に大変満足”“やや満足”が多くなっており、特に長野小学校区では多くなっている。



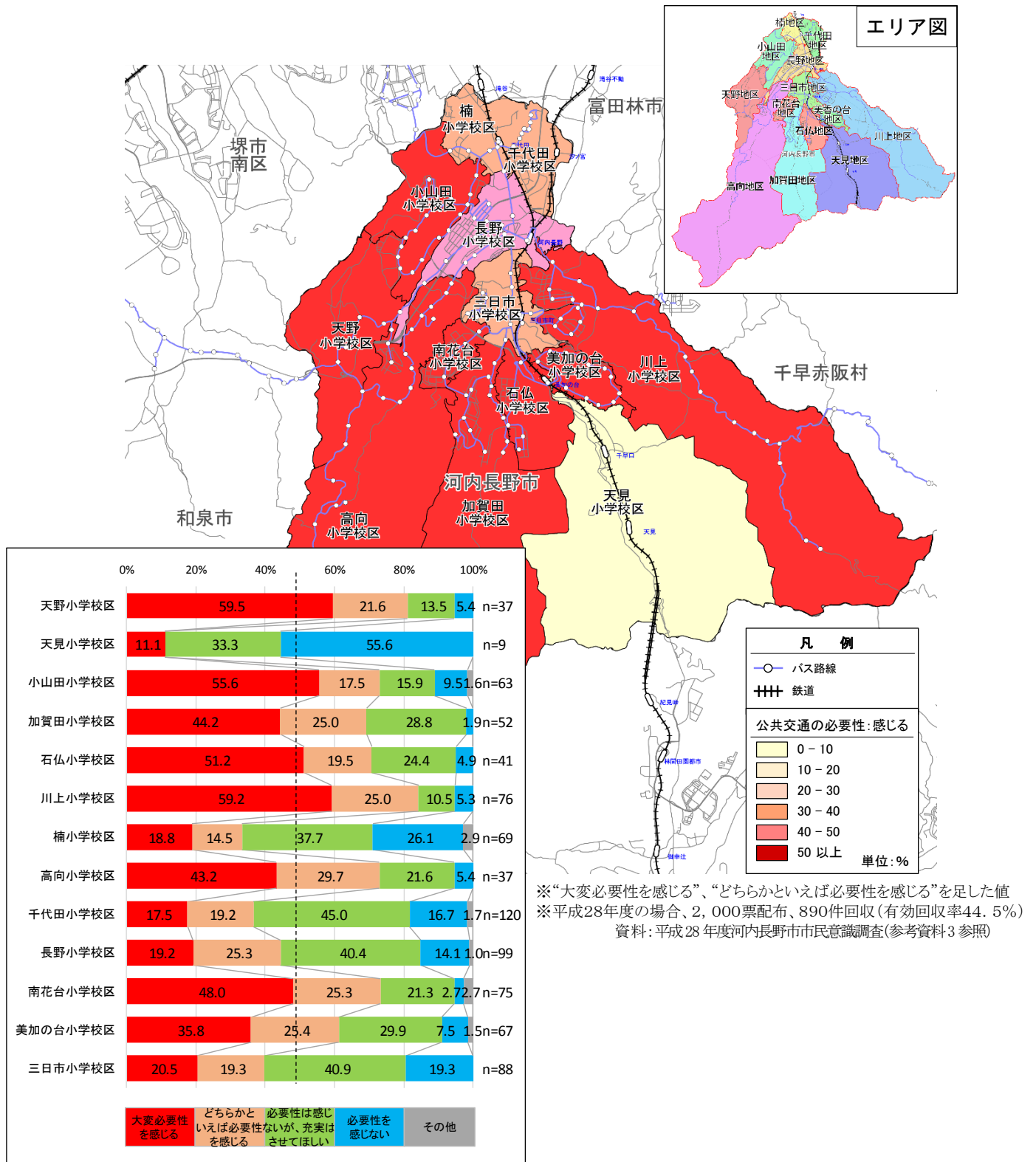
2) 公共交通の利便性

公共交通の利便性について、天野小学校区、天見小学校区で“大変不便”が3割を超えており、“大変不便”と“やや不便”を合わせると、天野小学校区、加賀田小学校区、高向小学校区。天見小学校区と山間部を含む地域で約5割以上と高くなっている。



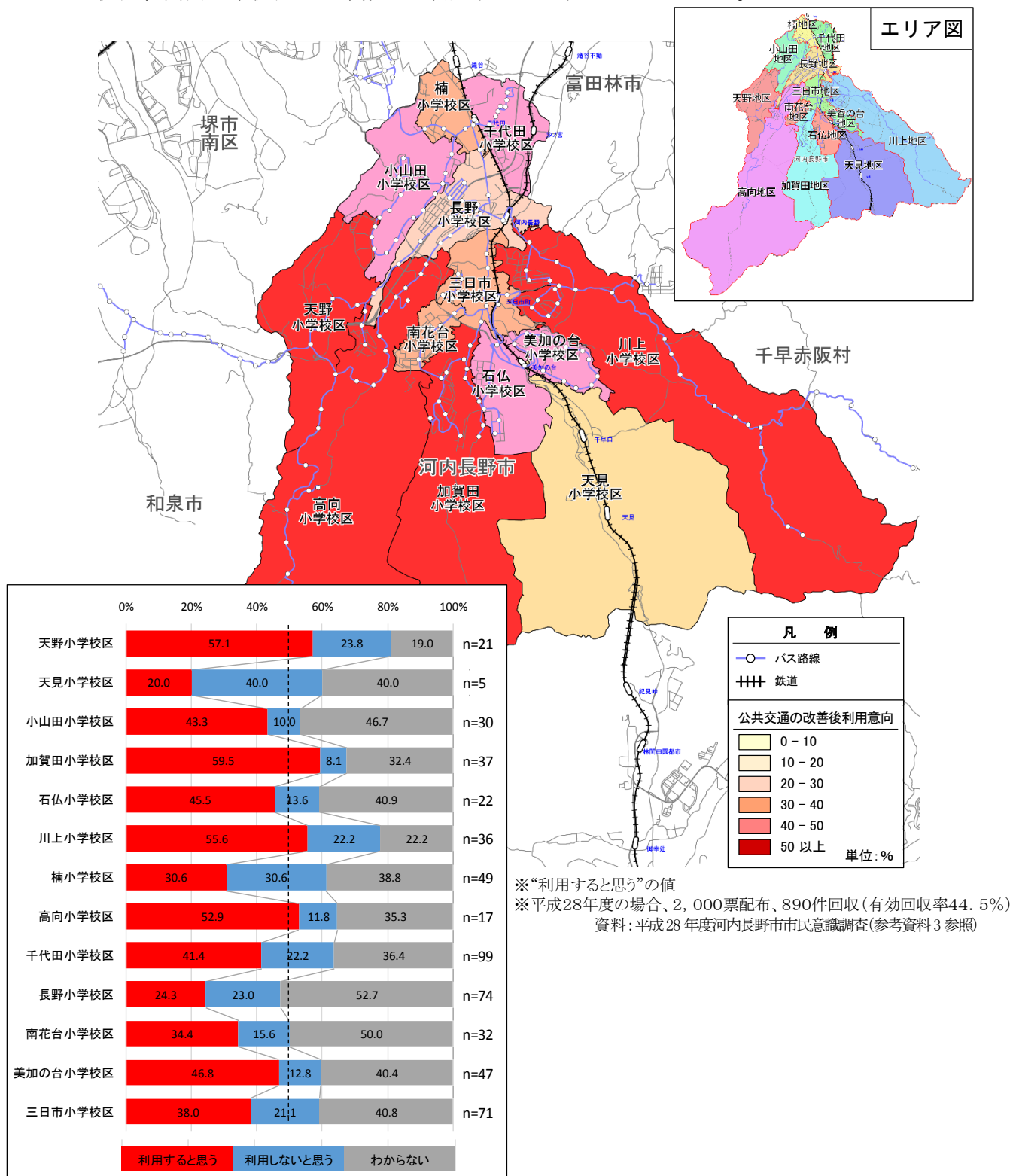
3) 公共交通の必要性

公共交通の必要性は全体的に必要なと感じている小学校区が多く、天野小学校区、小山田小学校区、石仏小学校区、川上小学校区で“大変必要性を感じる”が5割を超えている。



4) 公共交通の改善後利用意向

公共交通を改善した場合の利用意向は、天野小学校区、加賀田小学校区、川上小学校区、高向小学校区で過半数が“利用すると思う”となっている。



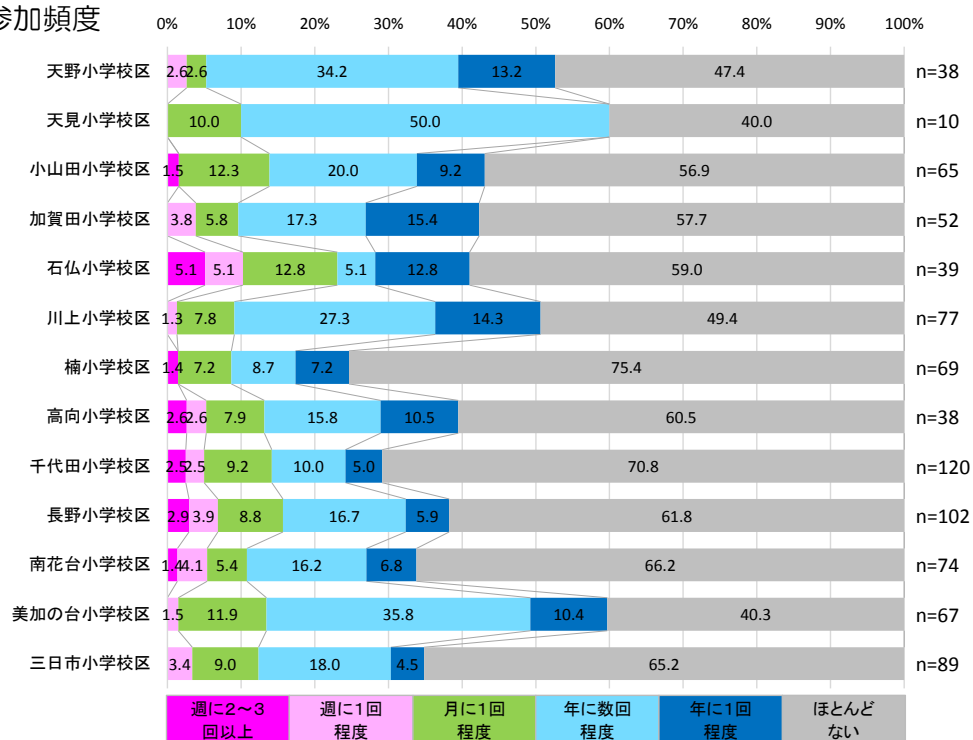
5) 地域のまちづくりへの参加頻度と参加意向

地域のまちづくりへの参加頻度は、多くの地区で過半数が“ほとんどない”となっている。

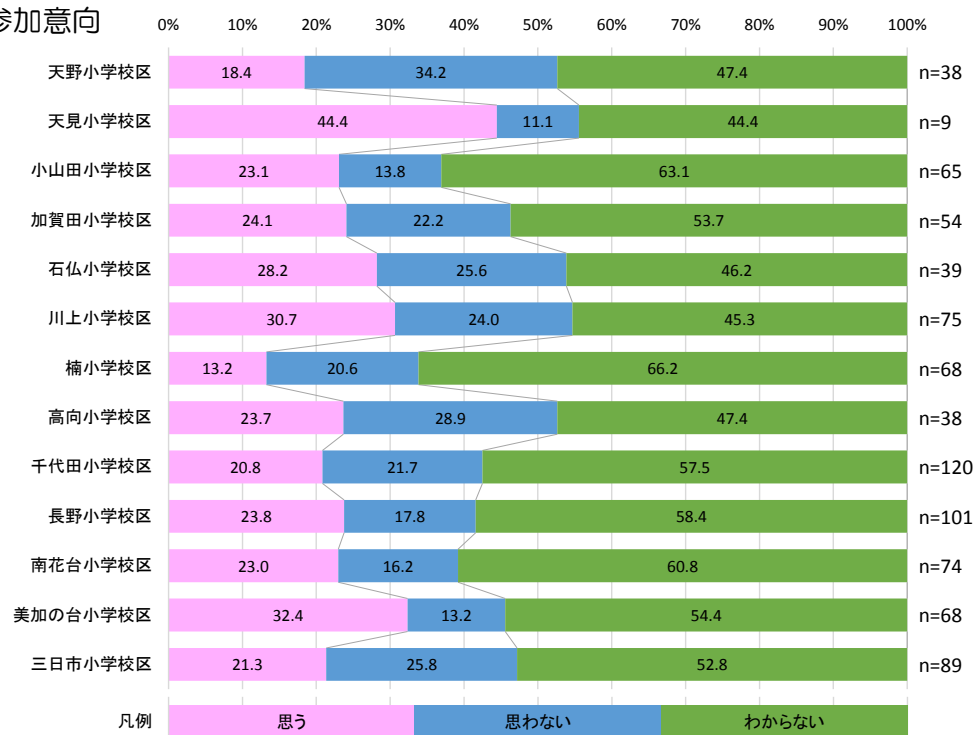
“週に2～3回以上”～“年に1回程度”まで含めると、天野小学校区や天見小学校区、川上小学校区、美加の台小学校区で過半数を超えている。

参加意向は、天見小学校区、川上小学校区、美加の台小学校区で3～4割となっているが、他の小学校区では3割未満となっている。

ア) 参加頻度



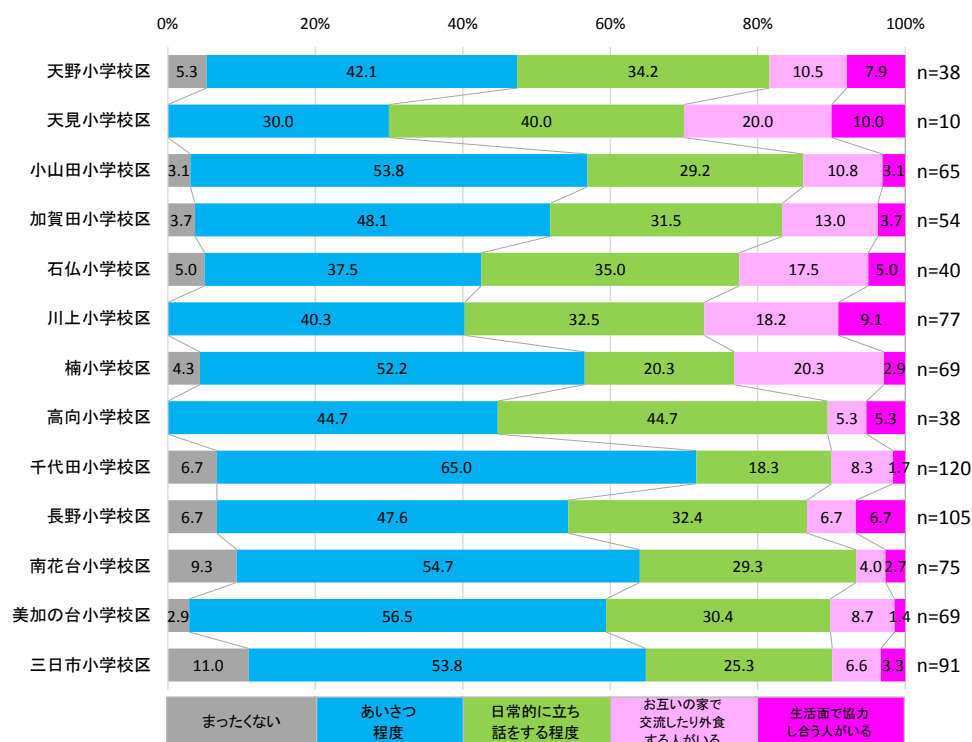
イ) 参加意向



資料:河内長野市市民意識調査

6) 近所付き合いの程度

近所付き合いの程度は、“あいさつ程度”が最も多い地区が多くなっており、“生活面で協力し合う人がある”と“お互いの家で交流したり外食する人がある”を合わせると、天見小学校区、石仏小学校区、川上小学校区、楠小学校区で2割を超えている他は、いずれも2割未満に留まっている。



資料:河内長野市市民意識調査

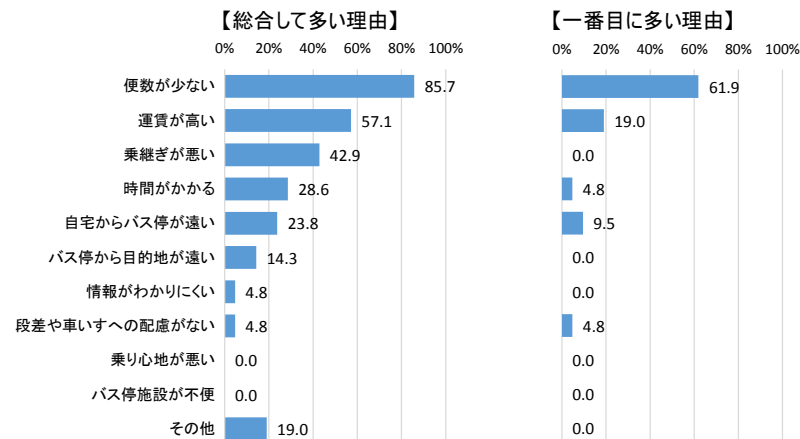
7) 小学校区別の意向

ア) 天野小学校区

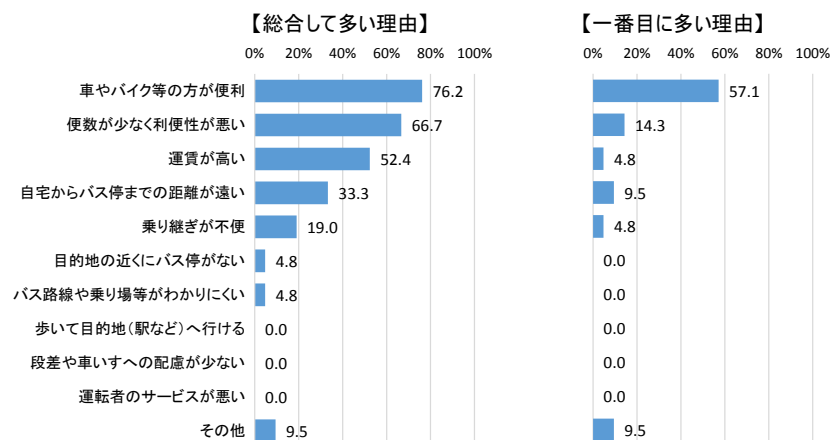
天野小学校区の“不便を感じる理由”は“便数が少ない”が約9割と最も多く、次いで“運賃が高い”となっている。“バスを利用しない理由”は“車やバイクの方が便利”が約8割と最も多く、次いで“便数が少なく利便性が悪い”が約7割となっている。

バスの改善希望は“運行時間帯”が6割と最も多く、次いで“運賃”、“便数”となっているが、一番目に多い理由としては“便数”が約4割と最も多くなっている。

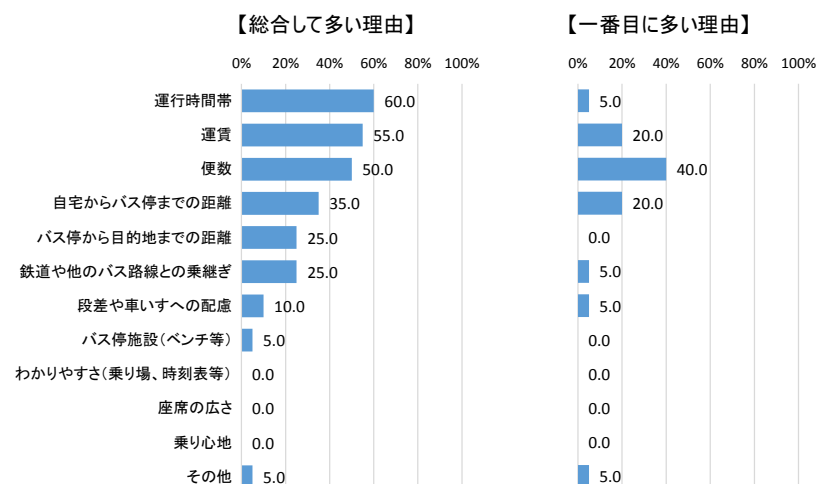
○不便を感じる理由



○バスを利用しない理由



○バスの改善希望

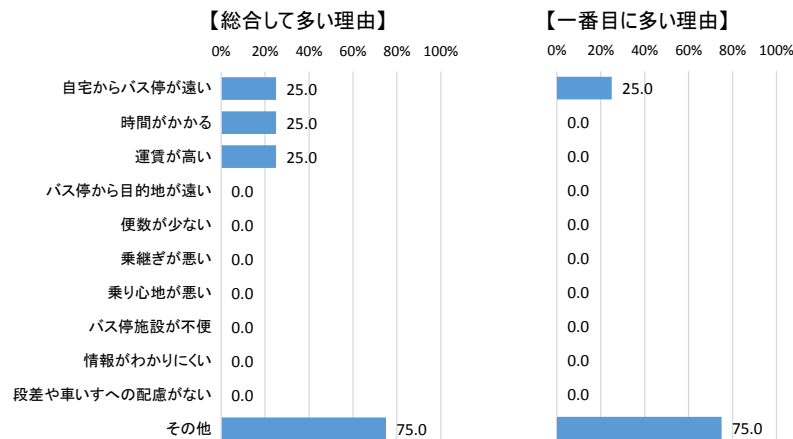


イ) 天見小学校区

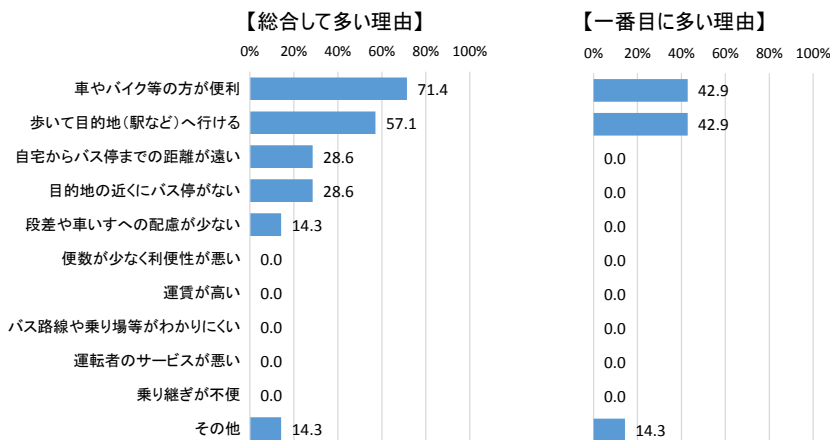
天見小学校区は“不便に感じる理由”は“その他”を除くと1番多い理由が”自宅からバス停が遠い“が最も多くなっている。“バスを利用しない理由”は“車やバイクの方が便利”が約8割と最も多く、次いで“歩いて目的地（駅など）へ行ける”が約6割となっている。

バスの改善希望は“自宅からバス停までの距離”と“段差や車いすへの配慮”が約4割と最も多くなっている。

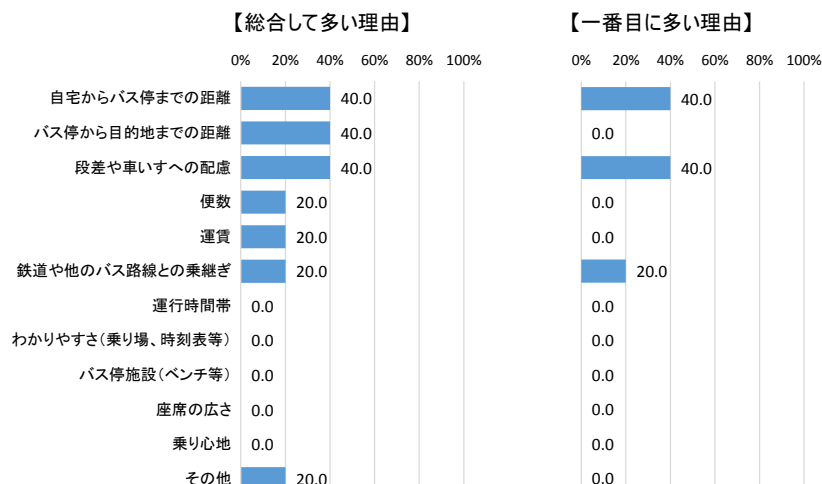
○不便に感じる理由



○バスを利用しない理由



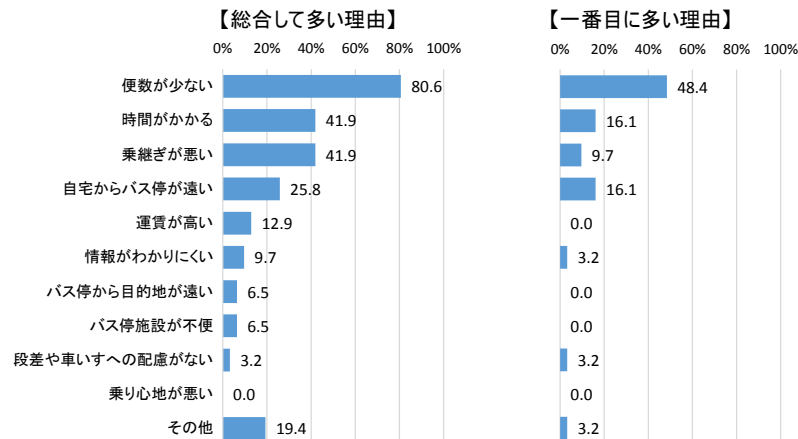
○バスの改善希望



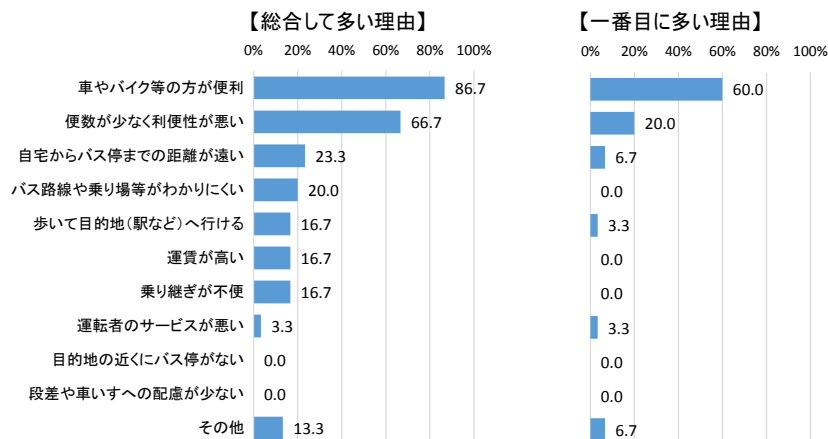
ウ) 小山田小学校区

小山田小学校区の“不便に感じる理由”は“便数が少ない”が約8割と最も多く、次いで“時間がかかる”と“乗継ぎが悪い”が多くなっている。“バスを利用しない理由”は“車やバイクの方が便利”が約9割と最も多く、次いで“便数が少なく利便性が悪い”が約7割となっている。バスの改善希望は“便数”が約8割と最も多くなっている。

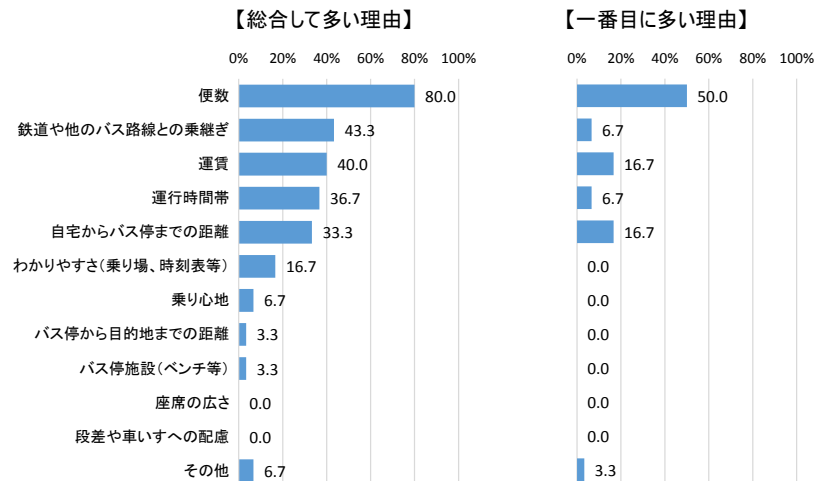
○不便に感じる理由



○バスを利用しない理由



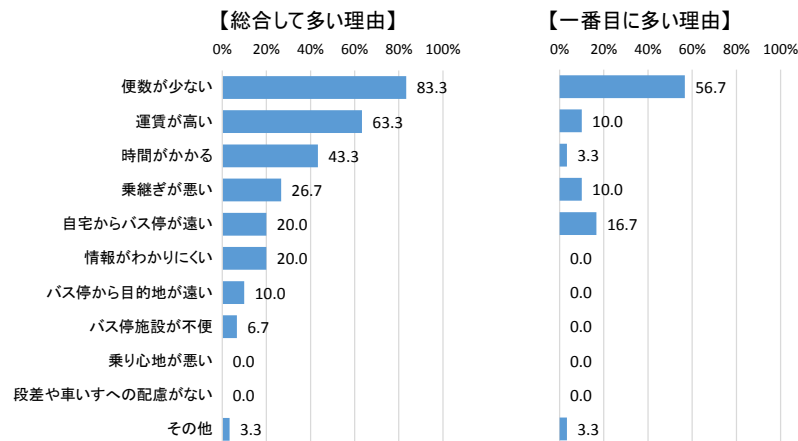
○バスの改善希望



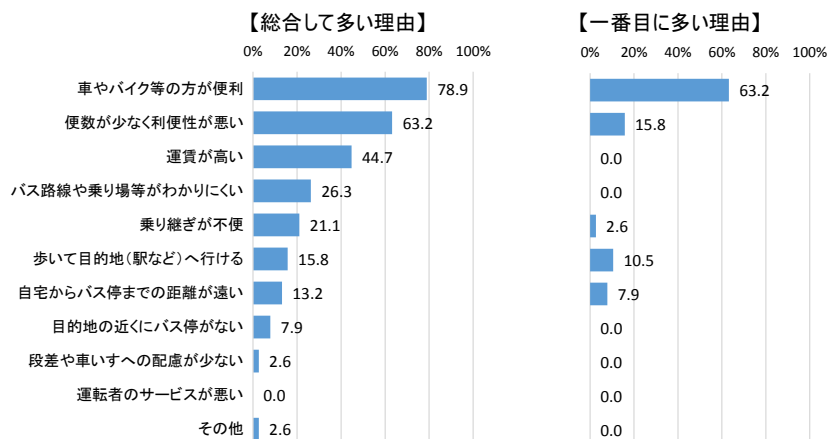
エ) 加賀田小学校区

加賀田小学校区の“不便に感じる理由”は“便数が少ない”が約8割と最も多く、次いで“運賃が高い”となっている。“バスを利用しない理由”は“車やバイクの方が便利”が約8割と最も多く、次いで“便数が少なく利便性が悪い”が約6割となっている。バスの改善希望は“便数”が約7割と最も多く、次いで“運賃”が多くなっている。

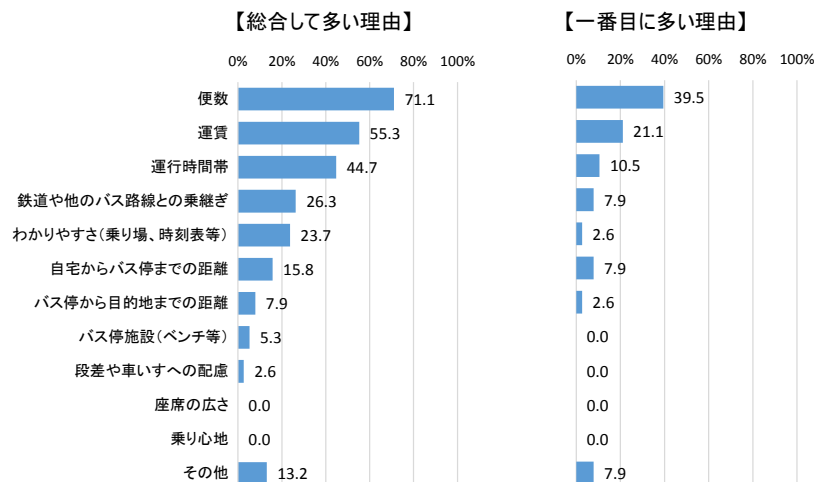
○不便に感じる理由



○バスを利用しない理由



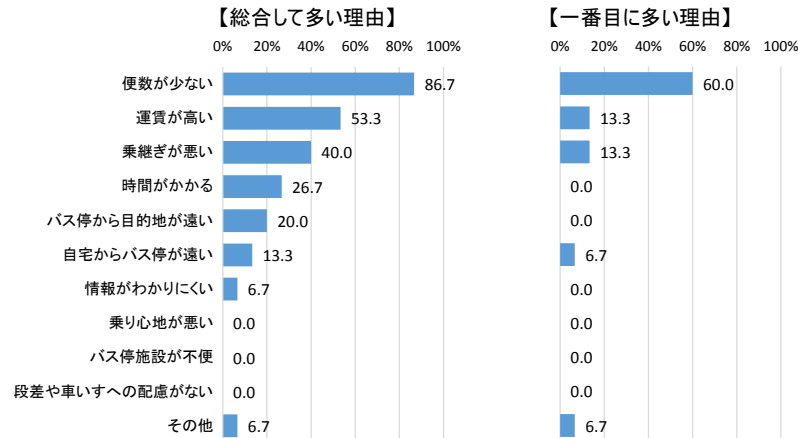
○バスの改善希望



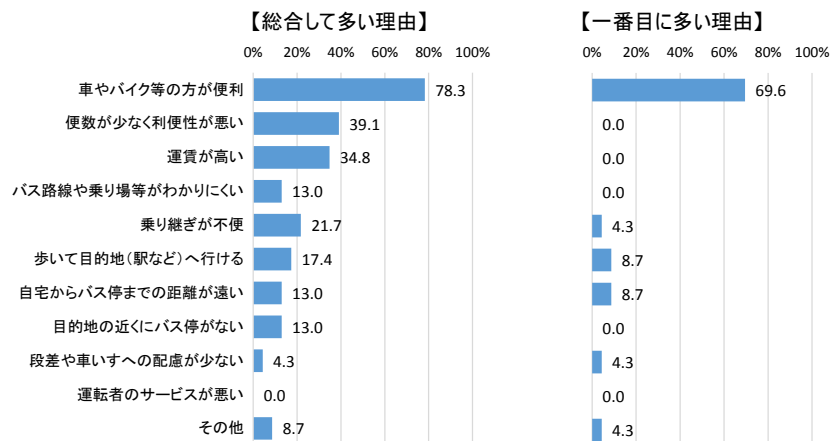
才) 石仏地小学校区

石仏小学校区の“不便に感じる理由”は“便数が少ない”が約9割と最も多く、次いで“運賃が高い”となっている。“バスを利用しない理由”は“車やバイクの方が便利”が約8割と最も多くなっている。バスの改善希望は“便数”が約8割と最も多く、次いで“運賃”が多くなっている。

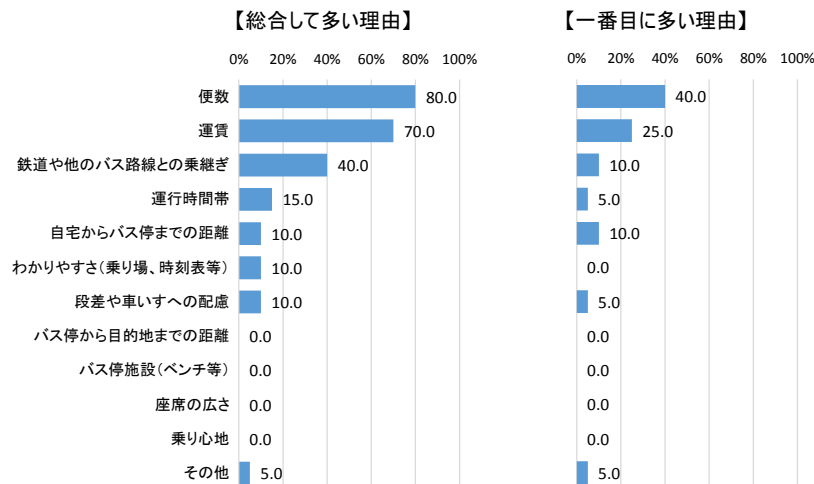
○不便に感じる理由



○バスを利用しない理由



○バスの改善希望

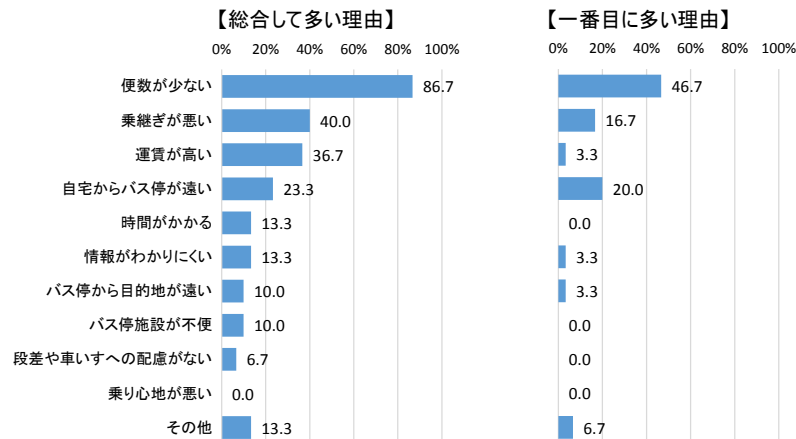


カ) 川上小学校区

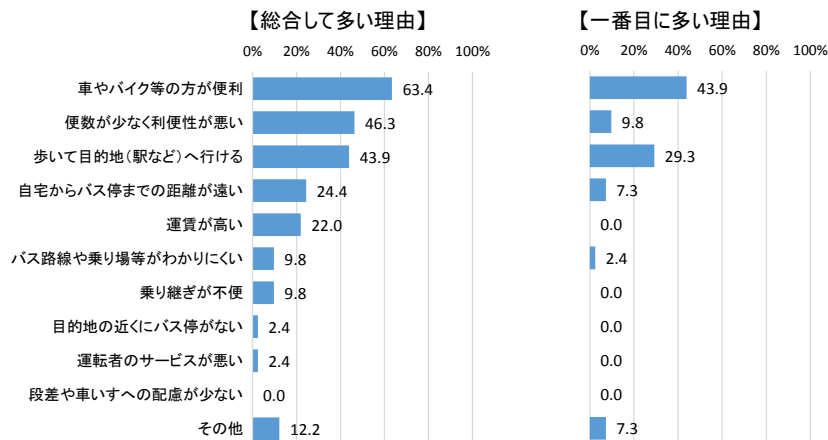
川上小学校区の“不便に感じる理由”は“便数が少ない”が約9割と最も多くなっている。“バスを利用しない理由”は“車やバイクの方が便利”が約6割と最も多く、次いで多いのは“一番目に多い理由”では“歩いて目的地（駅など）へ行ける”となっている。

バスの改善希望は“便数”が約6割と最も多く、次いで“運行時間帯”となっている。

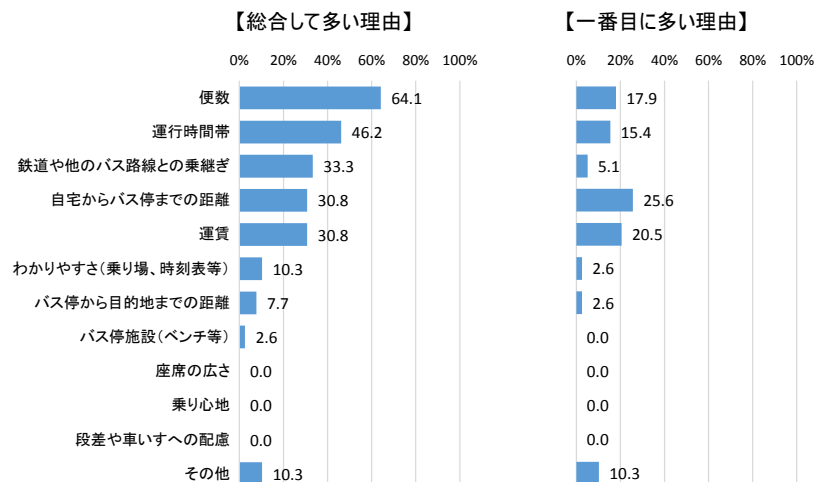
○不便に感じる理由



○バスを利用しない理由



○バスの改善希望

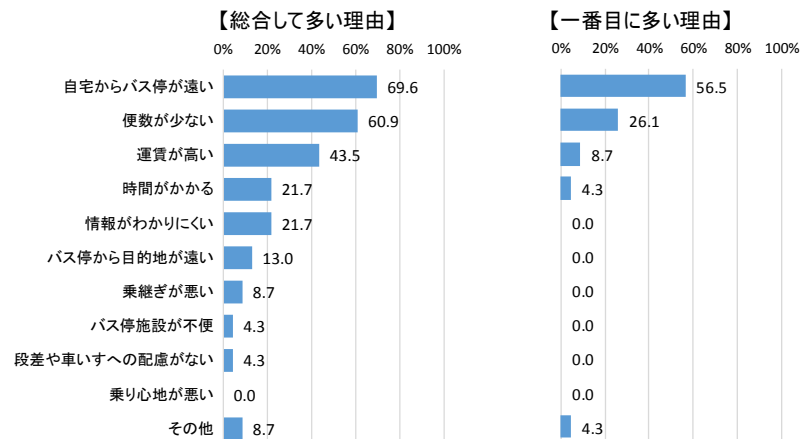


キ) 楠小学校区

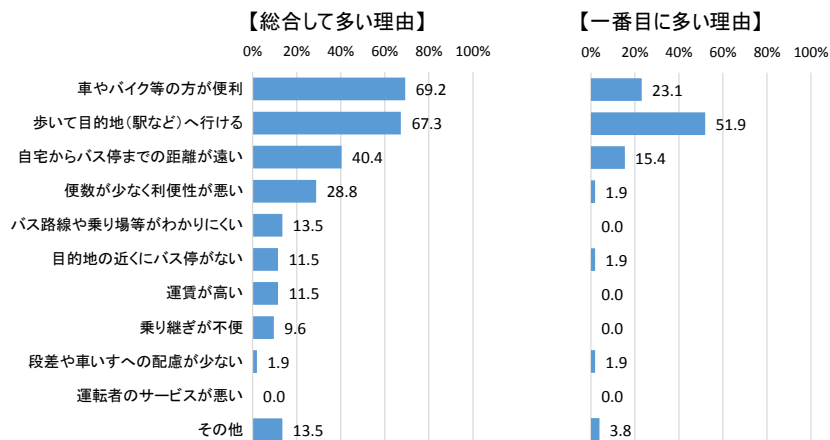
楠小学校区の“不便に感じる理由”は“自宅からバス停が遠い”が約6割と最も多く、次いで“便数が少ない”が多くなっている。“バスを利用しない理由”は総合では“車やバイクの方が便利”が約7割と最も多くなっているが、“一番目に多い理由”では“歩いて目的地（駅など）へ行ける”となっている。

バスの改善希望は“自宅からバス停までの距離”が最も多く、次いで“便数”といずれも約6割となっている。

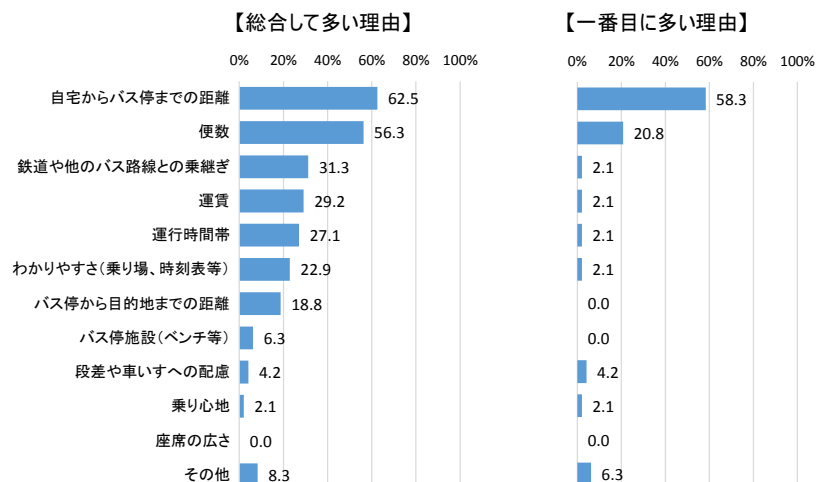
○不便に感じる理由



○バスを利用しない理由



○バスの改善希望

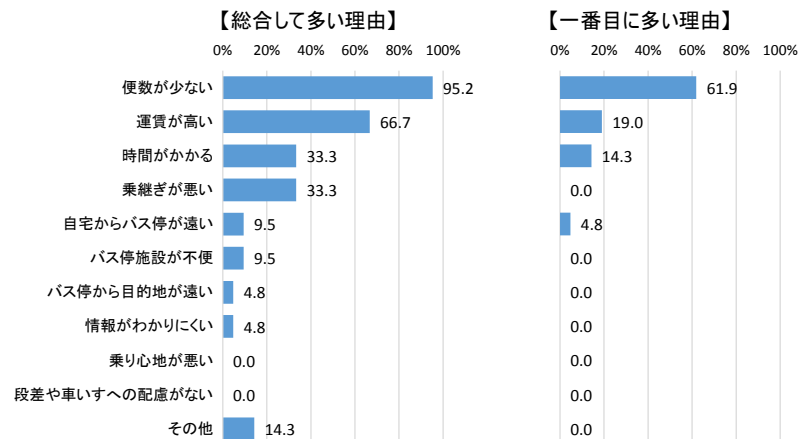


ク) 高向小学校区

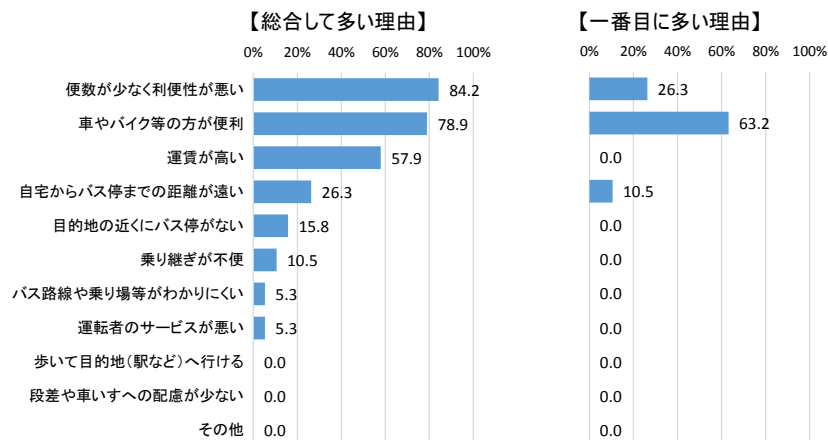
高向小学校区の“不便に感じる理由”は“便数が少ない”が約 9 割を超えて最も多く、次いで“運賃が高い”が多くなっている。“バスを利用しない理由”は総合では“便数が少なく利便性が悪い”が約 8 割と最も多くなっているが、“一番目に多い理由”では“車やバイクの方が便利”となっている。

バスの改善希望は“便数”が約 9 割と最も多く、次いで“運賃”“運行時間帯”といずれも 6 割を超えている。

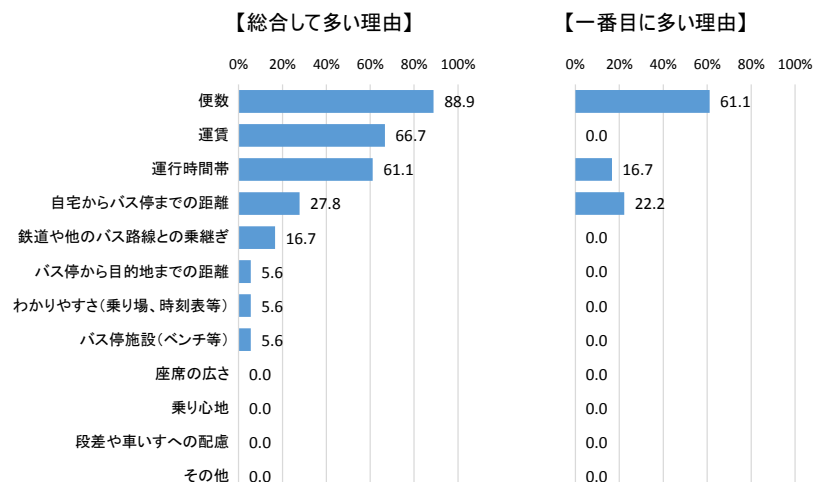
○不便に感じる理由



○バスを利用しない理由



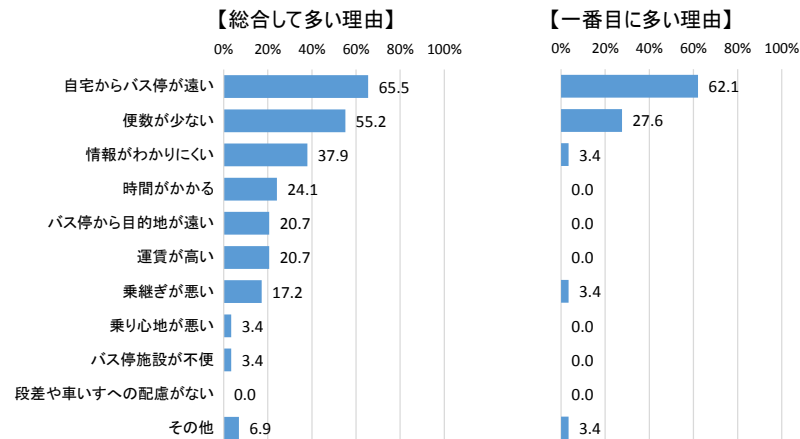
○バスの改善希望



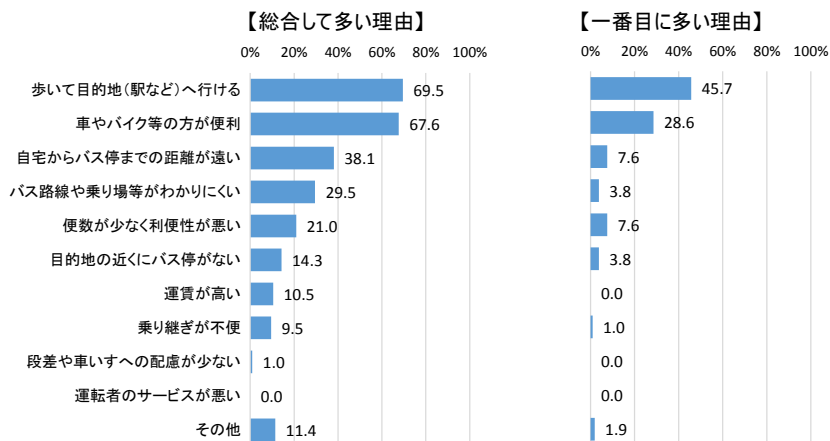
ケ) 千代田小学校区

千代田小学校区の“不便に感じる理由”は“自宅からバス停が遠い”が約7割と最も多く、次いで“便数が少ない”となっている。“バスを利用しない理由”は“歩いて目的地（駅など）へ行ける”が最も多く、次いで“車やバイクの方が便利”が多く、いずれも約7割となっている。バスの改善希望は“自宅からバス停までの距離”が約6割と最も多く、次いで“便数”が多くなっている。

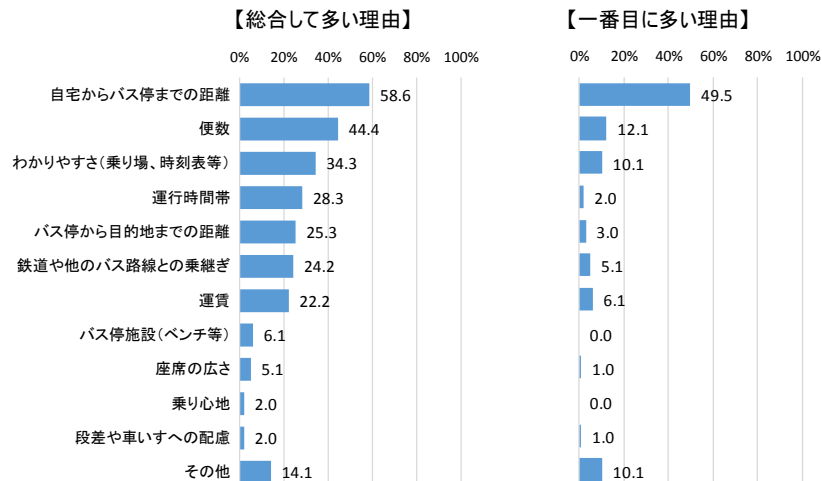
○不便に感じる理由



○バスを利用しない理由



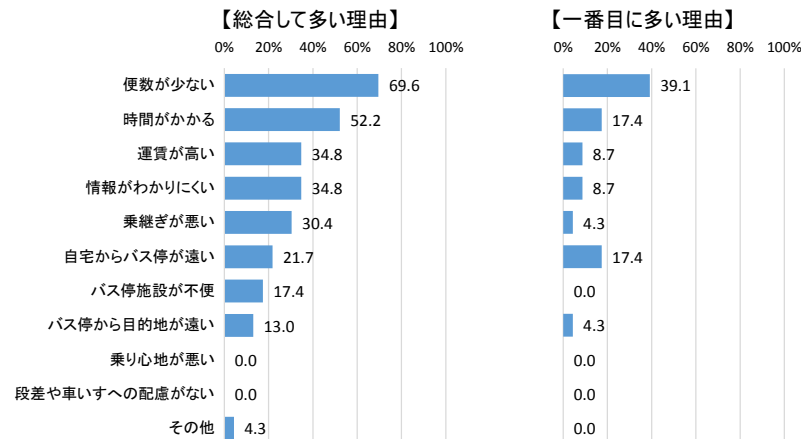
○バスの改善希望



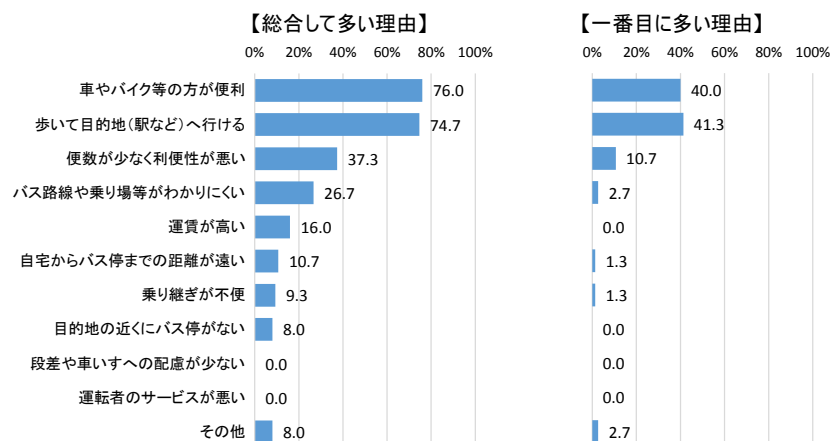
コ) 長野小学校区

長野小学校区の“不便に感じる理由”は“便数が少ない”が約7割と最も多く、次いで“時間がかかる”となっている。“バスを利用しない理由”は“車やバイクの方が便利”が最も多く、次いで“歩いて目的地（駅など）へ行ける”が多く、いずれも7割を超えている。バスの改善希望は“便数”が約6割と最も多く、次いで“運行時間帯”

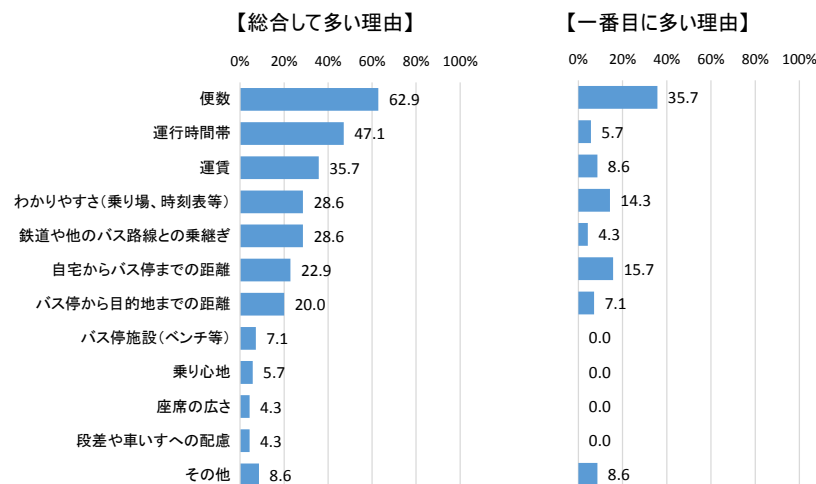
○不便に感じる理由



○バスを利用しない理由



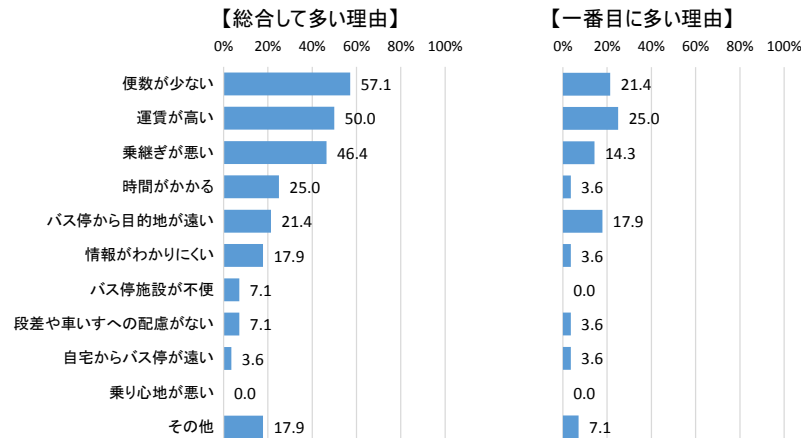
○バスの改善希望



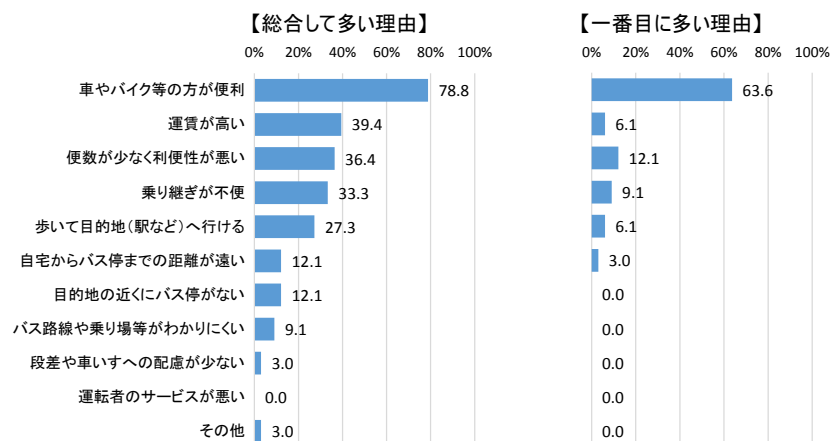
サ) 南花台小学校区

南花台小学校区の“不便に感じる理由”は“便数が少ない”が約6割と最も多く、次いで“運賃が高い”となっている。“バスを利用しない理由”は“車やバイクの方が便利”が最も多く、約8割となっている。バスの改善希望は“運賃”が約8割と最も多く、次いで“便数”が多くなっている。

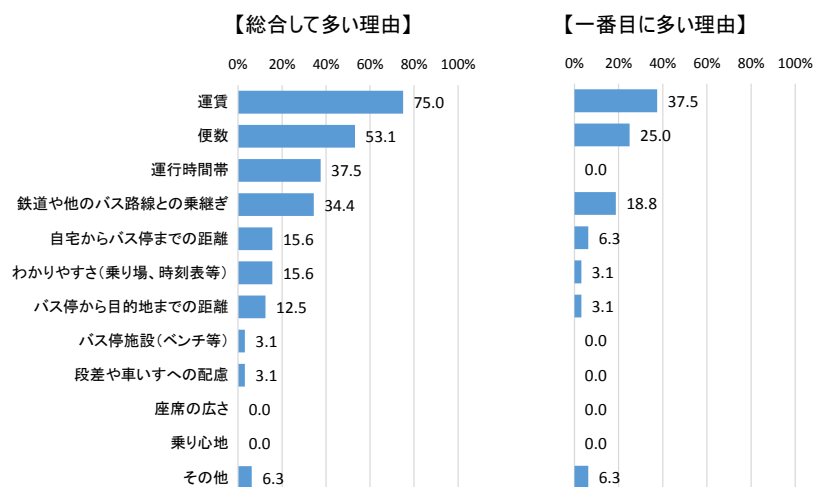
○不便に感じる理由



○バスを利用しない理由



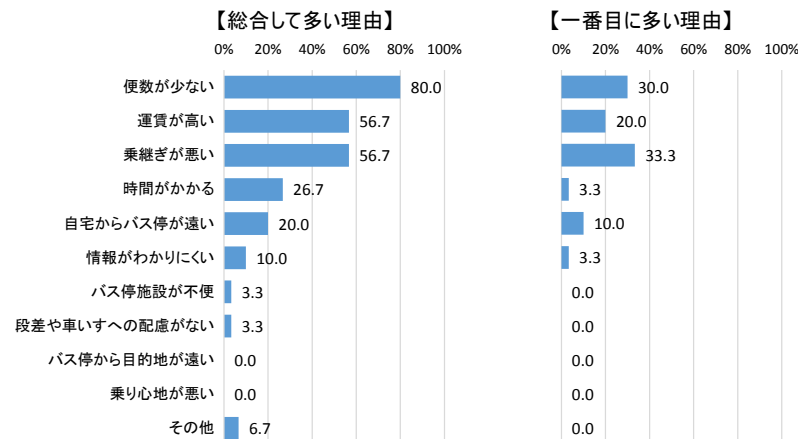
○バスの改善希望



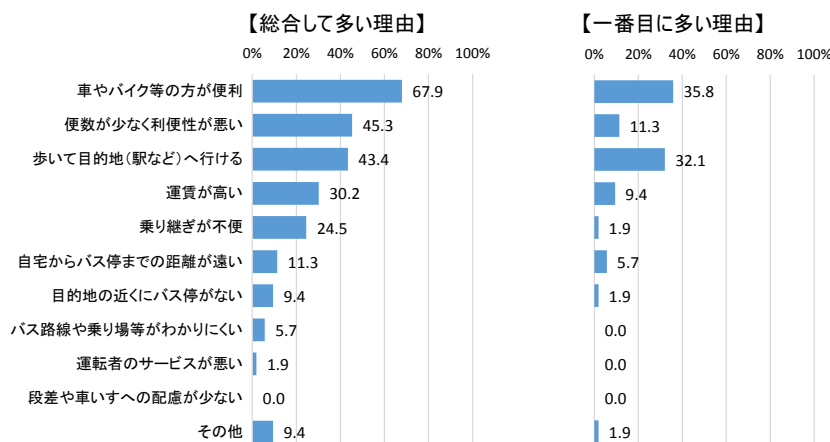
シ) 美加の台小学校区

美加の台小学校区の“不便に感じる理由”は“便数が少ない”が約8割と最も多く、次いで“時運賃が高い”と“乗継ぎが悪い”が約6割と多くなっているが、一番目に多い理由としては“乗継ぎが悪い”が多くなっている。“バスを利用しない理由”は“車やバイクの方が便利”が最も多く、約7割となっている。バスの改善希望は“便数”が約6割と最も多く、次いで“運賃”、“鉄道や他のバス路線との乗継ぎ”が約5割と多くなっている。

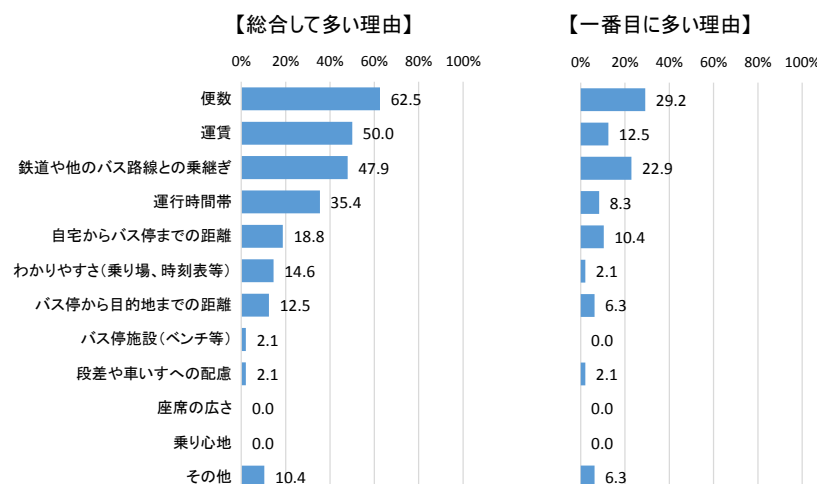
○不便に感じる理由



○バスを利用しない理由



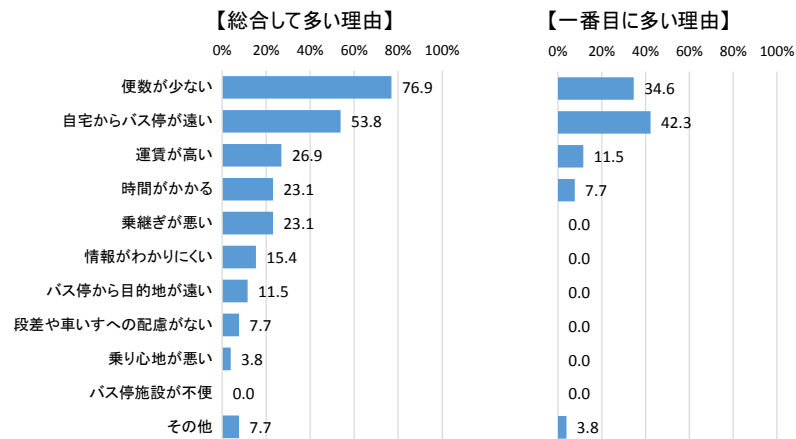
○バスの改善希望



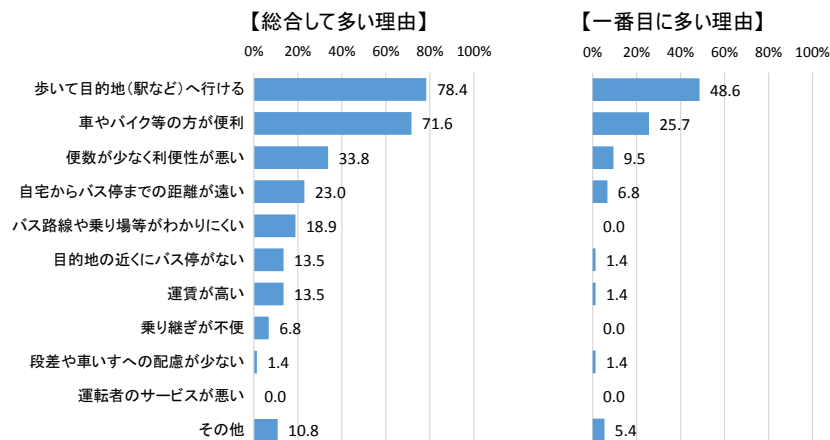
ス) 三日市小学校区

三日市小学校区の“不便に感じる理由”は“便数が少ない”が約8割と最も多く、次いで“自宅からバス停が遠い”となっているが、一番目に多い理由は“自宅からバス停が遠い”となっている。“バスを利用しない理由”は“歩いて目的地（駅など）へ行ける”が約8割と最も多く、次いで“車やバイクの方が便利”が多くなっている。バスの改善希望は“便数”が約6割と最も多く、次いで“自宅からバス停までの距離”が多くなっている。

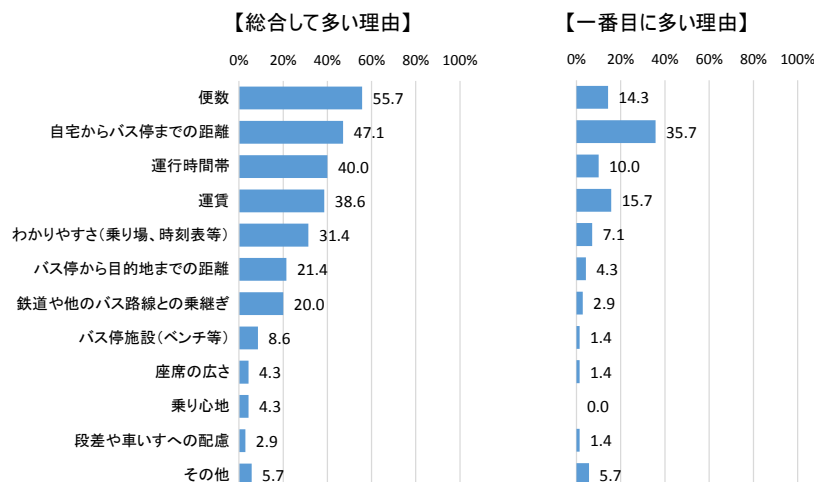
○不便に感じる理由



○バスを利用しない理由

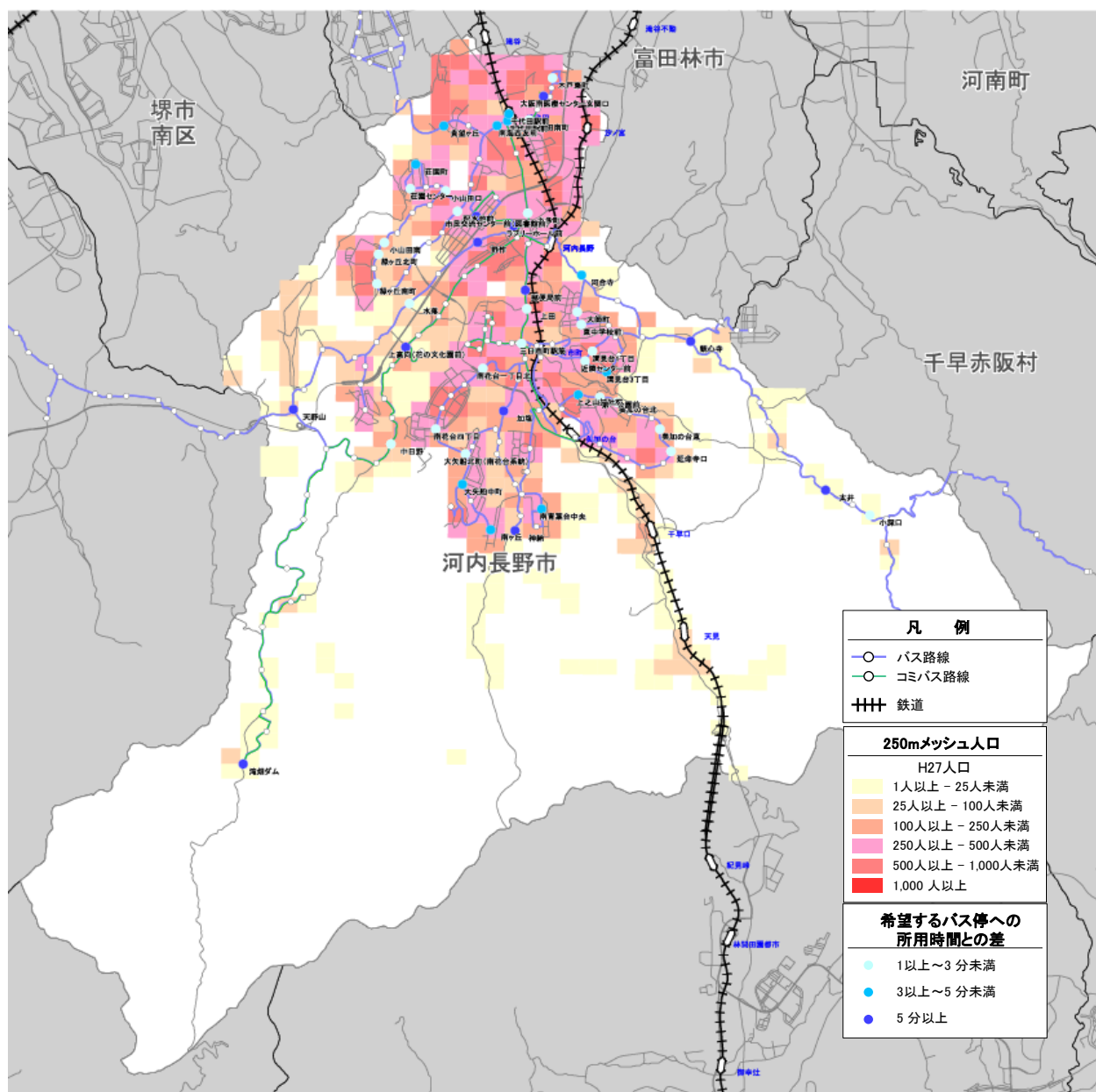


○バスの改善希望



8) バス停までの実際時間と希望時間の差

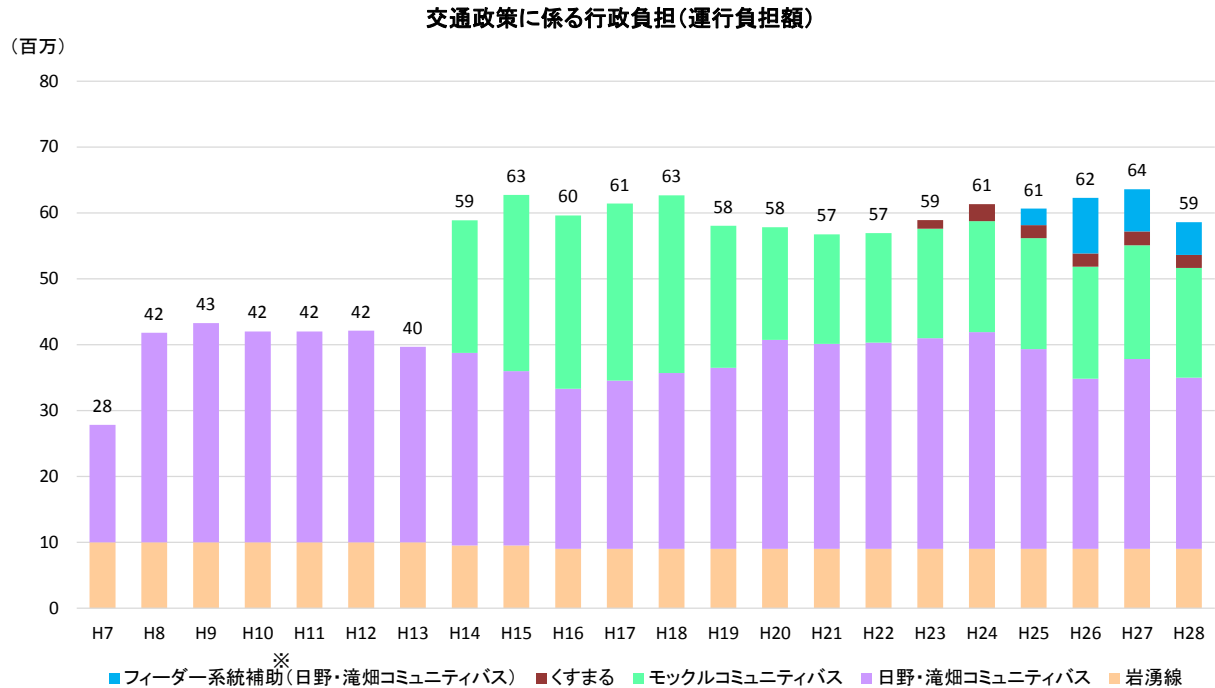
バス停までの実際の所要時間と希望時間の差が5分以上のバス停は、市内各地域に点在している。隣接バス停までの間隔が長いものの間に居住人口が存在している地域もあり、バス停の新設等によって利便性向上が期待される。



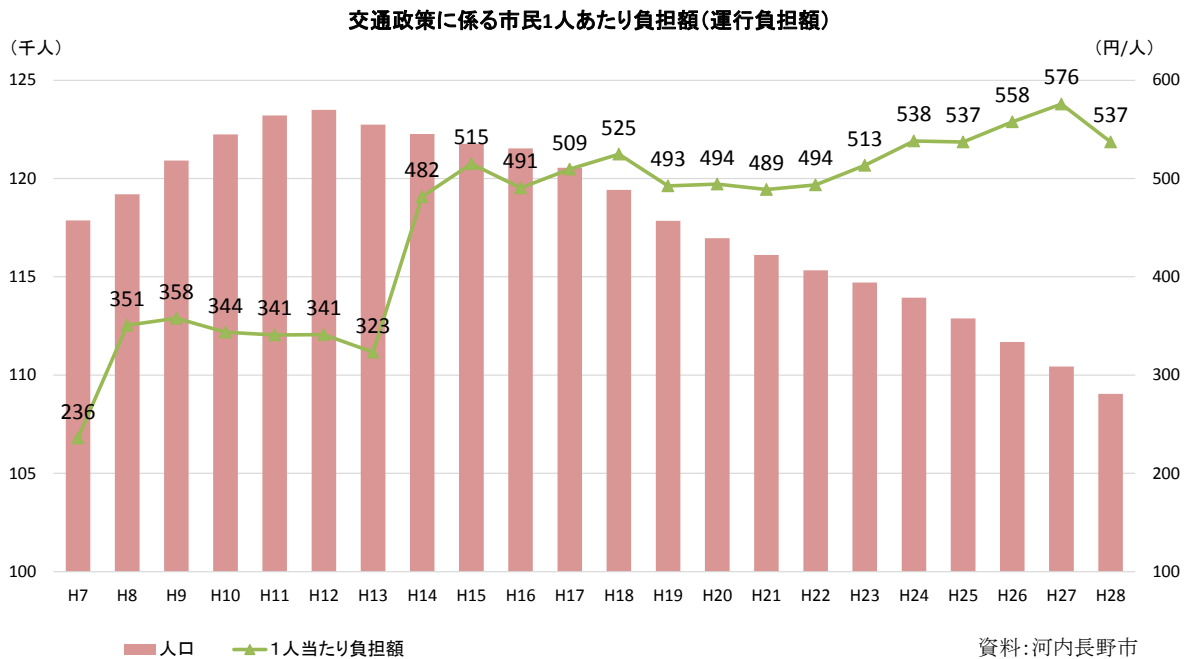
資料:国土数値情報、平成27年国勢調査、南海バス(株)調べ

(10) 行政負担額

交通政策に係る行政負担額（運行負担額）は平成 21 年以降増加傾向となっていたが、平成 28 年には減少している。主な変動要因は、日野滝畑コミュニティバスとモックルコミュニティバスとなっている。市民 1 人当たりの負担額に着目すると、平成 28 年には減少しているものの、平成 21 年から 27 年までは増加している。



※フィーダー系統補助とは、国の補助（地域公共交通確保維持改善事業費補助金）の1つで、地域の特性や実情に応じた生活交通ネットワークを確保・維持し、高齢者等の生活を支えるため、地域内の一定の生活交通等の運行に対して支援されるもの。



参考資料2 公共交通に関するこれまでの取り組み実績

1 網形成計画に基づく取り組みの概要と評価

河内長野市地域公共交通網形成計画（平成 27 年度～平成 29 年度）で策定した取り組み概要と評価を下表に示す。

取り組み実績の評価
○実施できた △一部実施できた／検討はしたもの、実施までには至らなかった

対象	番号	具体的な取り組み	評価	備考
公共交通全般	1	(a)バスマップの作成・配布	○	◇総合時刻表入りバスマップ(H28.3) 50,000 部作成し全戸配布 ◇バスマップ(H29.3) 最新版 10,000 部の作成
	2	(b)モデル的な取り組みの他地域への啓発	○	◇桐ヶ丘地域住民による「くすまの体験乗車」と「地域間意見交換会」の実施(H27.12) ◇交通不便地域での勉強会 向野町: H28 年 3,5,10 月 桐ヶ丘: H27 年 7,9,10,11 月、H28 年 1,6,10,12,2,3 月、H29 年 4,9,10 月
	3	(c)公共交通イベントの実施	○	◇交通かんきょう教室(H27.8) ◇バスの乗り方教室(H28.11、H29.5、H29.11 予定)
	4	(d)観光資源と路線バスを活用した取り組みの実施	○	◇モックルカード PR チラシ、ポスターの作成(H28.3、H29.3、H30.3 予定) ◇市広報紙でバスでのお出かけルートを紹介予定(H29.3) ◇庁内検討会議にて意見交換の実施
	5	(e)商業施設等との連携	○	◇モックルカード PR チラシ、ポスターの作成(H28.3、H29.3、H30.3 予定) ◇広報にて、モックルカードPRチラシへの利用特典協力者を募集 ◇モックルカード利用者への特典を大幅に拡大(H28 年5事業者→H29 年 24 事業者)
	6	(f)周辺市との連携による効率的、効果的なバス路線構築の可能性検討	○	◇近隣市との情報交換
	7	(g)ニーズに即した改善策の検討	○	◇コミュニティバス乗込み調査の実施(モックルコミュニティバス、日野滝畑コミュニティバス) ◇庁内検討会議にて意見交換の実施 ◇モックルコミュニティバスの改善策検討
路線バス	8	(a)IC カードの普及促進	○	◇H27 年度より全国交通系 IC カードの導入支援 ◇H28 年 10 月～プリペイド式ICカード(なっち)の導入支援 ◇プリペイド式ICカード導入のPR(H28.10 月号広報)
	9	(b)乗継運賃値下げの検討	△	◇観光担当と連携し、お得に市内移動が可能な企画乗車券の提案を検討
	10	(c)千代田線における上限 200 円運賃の試行運行継続と、他路線への展開を検討	△	◇千代田線は引き続き実施 ◇他路線への展開は検討
	11	(d)バスロケーションシステム導入の検討	○	◇H29 年 4 月より導入 ◇使い方PR(H29.6 月号広報、バスマップ裏面、ホームページ、市 Facebook)
	12	(e)携帯電話等に対応した時刻表、ルート図などの提供を検討	○	◇H29 年 4 月からバスロケ導入支援により、リアルタイムのバス位置情報の提供 ◇普及促進のため、H29 年 8 月末登場の専用アプリを H29 年 11 月広報にて紹介
	13	(f)深夜バスの運行を検討	○	◇H27 年 12 月～千代田駅前→緑ヶ丘北町への運行 ◇H28 年 7 月～三日市町駅東→美加の台エリアに「金曜日限定深夜バス」の運行
	14	(g)路線バスの運行を検討	○	◇H27 年 12 月～清見台団地線の三日市町駅西側ロータリーでの全便発着 ◇H27 年 12 月～鉄道ダイヤ改正に合わせたダイヤ編成 (市庁舎線の通勤時間帯のダイヤ変更など) ◇H28 年 7 月～天野山線の再編(旭ヶ丘系統・榎尾中学校系統の統合系統の新設) ◇H29 年 4 月～看護学校開校にむけた輸送調整 ◇H29 年 8 月～鉄道ダイヤ改正に合わせたダイヤ編成
モックルコミュニティバス	15	(a)車内での PR	○	◇運行状況の掲出 ◇市関係部局開催のイベント情報の掲出 ◇小学生が描いた絵画の展示(毎年 3 月)
	16	(b)市役所、バス停周辺施設、店舗等での PR	○	◇広告事業者の協力による時刻表作成、新聞折り込み配布

対象	番号	具体的な取り組み	評価	備考
	17	(c)上限 200 円運賃の本格運行への移行を検討	○	◇H22.4 から施行運行を開始し、H29 年度中に本格運行への移行を検討中
日野・滝畑コミュニティバス	18	沿線観光施設、商業施設等との連携による割引特典等を活用した利用促進	○	◇モックルカード PR チラシ、ポスターの作成 (H28.3、H29.3 予定) ◇協力施設とタイアップし、日野滝畑沿線のイベントカレンダーをバス車内に掲出 ◇沿線施設へモックルカード PR チラシへの特典協力を依頼 ◇H29 年 3 月号市広報にて、バスを利用したお出かけモデルコースを紹介
公共交通全般	19	ノンステップバス導入の推進	△	◇事業者とも連携し、新車両導入予定がある際には導入支援 (H24 年度以降 2 台導入)
路線バス	20	フリー乗降導入指針の作成及びフリー乗降の展開	△	◇既に導入済みの莊園町、南青葉台では引き続き実施 ◇他地域での展開のためにも、導入による効果や実績を事業者とともに検討していく予定
モックルコミュニティバス	21	同伴者割引拡大の検討	△	◇H25.10～実施 ◇効果検証を継続的に実施 (乗り込み調査によるアンケート実施など)
地域に合った公共交通の検討	22	(a)地域主体の公共交通の運行継続条件の検討 (運行維持のための継続した取り組み)	△	◇楠ヶ丘地域乗合タクシー「くすまる」は5年連続で高い収支率を維持 ◇くすまる5周年記念式典を地域が主体となって企画し、新たな利用者開拓にも力を入れている ◇運行継続条件の検討は、新たな公共交通導入に合わせて地域の声も取り入れながら検討していく
	23	(b)地域に合った公共交通の試行運行を検討	○	<u>桐ヶ丘地域</u> ◇H26 年度実施のアンケート結果を踏まえた上で、利用予測や収支率の試算、試行運行のルート案等を地域が検討 ◇話し合いが進む中で、早急に事を運ばず試行実施までに十分な準備や周囲の理解がさらに必要との判断 ◇H28 年度は新たな委員も加わったことで、再び試行運行へ向けた機運が徐々に高まりつつある状況 ◇H29 年度は周辺の自治会にも勉強会への参加を呼びかけ、再度、地域公共交通導入にむけた意向調査を実施予定 <u>向野地域</u> ◇今すぐは必要ではないが、将来を見据え、不定期で意見交換や情報提供をしていく

バスマップの作成・配布 No.1

H27年度 総合時刻表作成



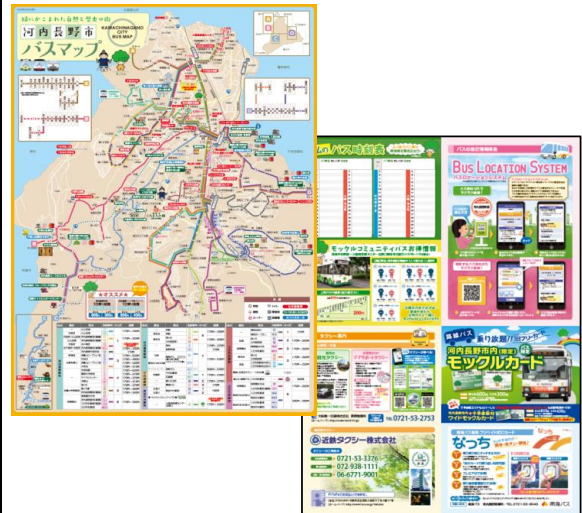
南海バス 時刻表

河内長野駅

路線	1	2	3	4	5	6
1	10:00	10:10	10:20	10:30	10:40	10:50
2	10:10	10:20	10:30	10:40	10:50	11:00
3	10:20	10:30	10:40	10:50	11:00	11:10
4	10:30	10:40	10:50	11:00	11:10	11:20
5	10:40	10:50	11:00	11:10	11:20	11:30
6	10:50	11:00	11:10	11:20	11:30	11:40

・50,000部作成し、全戸配布

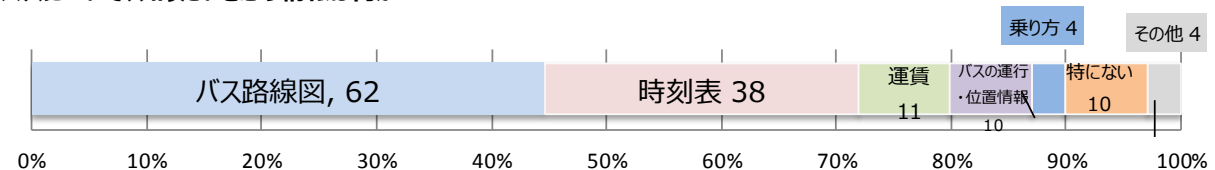
H28年度 バスマップ作成



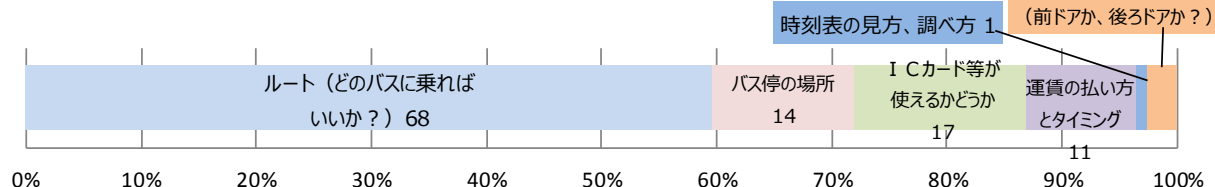
・10,000部作成し、市民まつりや市内公共施設で配布

- ◆平成28年11月20日開催の商工祭で、市広報（H28年4月号）に折り込み配布した河内長野ナビ（総合時刻表）についてのアンケートを実施。アンケート回答者の23%が河内長野ナビの存在を知っていると回答。
- ◆実際に利用したページについては、多い順に電車の時刻表、バスの路線図、バスの時刻表という結果になった。
- ◆さらに、「利用者がどのような情報を知りたいと思っているのか」や「利用する上で分からないこと」を質問したところ、下記グラフのとおりとなった。
- ◆アンケート結果から、印刷物に掲載した内容と利用者が必要としている情報に共通している部分が多くあることが確認できた。

バスについて、知りたいと思う情報は何か？



バスの乗り方等、利用する上で分からないことは何か？



- 課題：①情報発信手段の拡大（印刷物だけでなく、市ホームページやSNS等でも発信）
- ②ダイヤ改正時の即時対応

モデル的な取り組みの他地域への啓発 No.2

「くすまる体験乗車」と「楠ヶ丘地域との意見交換会」の実施



◆日時：平成27年12月10日

◆内容：地域主体交通の導入を検討している桐ヶ丘地域住民による「くすまる体験乗車」と「楠ヶ丘地域との意見交換会」の実施

◆目的：新たな公共交通の導入のための意識醸成

◆効果：①地域が主体的に取り組む必要があるという意識の芽生えが見られた。

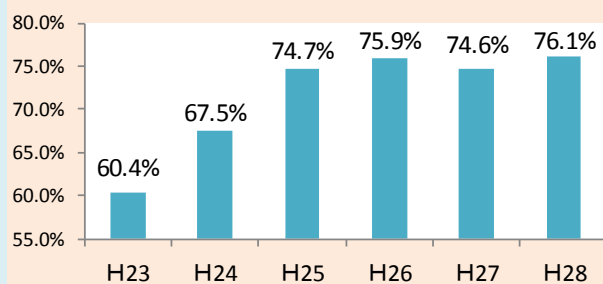
：②地域自らの希望として、今後も桐ヶ丘地域にて新たな公共交通導入にむけた勉強会を継続開催していくことになった。

➤ 課題：①地域の主体性や自主性の確保と意識醸成

➤ ：②地域のモチベーションの維持

モデル的な取り組み：楠ヶ丘地域乗合タクシーくすまる

地域・事業者・市の3者協働により、平成23年11月から本格運行を開始。5年以上が経過する現在も高い利用率を維持し、地域の住民生活には欠かせない移動手段となっている。



※写真は平成28年10月31日に開催された5周年記念式典の様子

公共交通イベントの実施 No.3

①交通かんきょう教室

1日交通かんきょう教室
参加費 無料
～これからは もっと楽しく バス・電車～

かんきょうにやさしいバスや電車、
その役割や良いところを知って公共交通を
賢く安全に利用しよう！
バスに乗っての移動や、電車の車内見学もできるよ！

●日時：8月21日（金） 10:00～16:00
場所：午前会場 河内長野市立市民交流センター（キックス）
午後会場 南海電車 千代田工場
※午前会場から午後会場へはバスで移動します
※集合場所と解散場所が異なりますのでご注意ください
対象：市内在住の小学生1～6年生と保護者のペア
定員：25組（50名）★申し込み多数の場合は抽選
参加費：無料

●当日の予定（内容については変更することがあります）
午前：10:00～12:00 キックス
☆大卒の先生による交通とかんきょうのお話
講師：神田尚典先生（京都大学大学院 工学研究科 助教）
☆クイズ形式で楽しくバスを知ろう
休憩：12:00～13:00 わが会議室内で昼食（弁当持参）
13:00 バスに乗って移動（南海千代田工場へ）
午後：13:30～16:00 南海電車千代田工場
☆南海電車のどきどきのお話
☆千代田工場で電車見学ツアー

※申込方法・注意事項は裏面へ※

主催：国土交通省河内長野運輸 河内長野市 河内長野市地域公共交通協議会
協力：南海電気鉄道株式会社 南海バス株式会社



②バス乗り方教室



③公共交通のPR



- ◆日時：①交通かんきょう教室 平成27年8月21日
②市商工祭 平成28年11月20日
③市民まつり 平成29年5月14日
- ◆目的：①次世代を担う子ども達に、交通を取り巻く環境問題や電車・バス等の役割を理解してもらうため
②③多くの方に公共交通に慣れ親しんでもらうため
- ◆内容：①交通と環境のお話、バスのクイズ大会、バス体験乗車、鉄道工場見学等
②バスの乗り方教室、車内でのクイズ大会、乗務員の制服着用による記念撮影等
③バス・タクシーの車両展示や乗務員体験（記念撮影）、バスぬりえコーナー等
- ◆実績：①市内在住の小学生と保護者のペア21組42名が参加
：②バス事業者提供のバスの乗り方下敷き約500枚配布。
公共交通アンケートも合わせて実施（回収数147枚）
：③タクシー事業者の協力も得て、バスとタクシーの情報発信を実現

➤ 課題：イベント開催時の関心は高いが、その後の利用に繋がっているかどうかは不明瞭

観光資源と路線バスを活用した取り組みの実施 No.4 商業施設等との連携 No.5

バス1日放題 P R チラシ (H27,28作成)

市広報H29年3月号でのバス特集

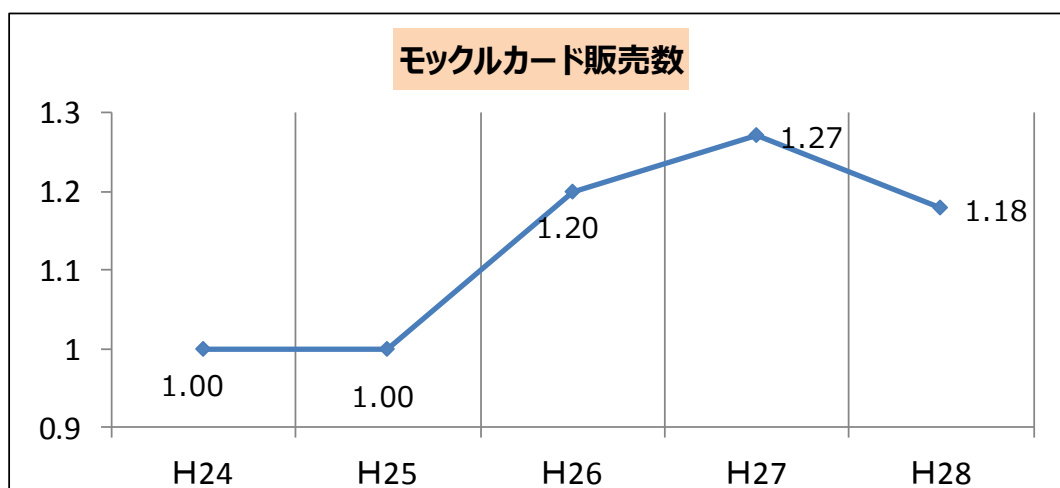


※国の地域公共交通確保維持改善事業費補助金を活用

- ◆ H25年度以降、企画乗車券バス1日乗り放題「モックルカード」のP R チラシを作成
- ◆ 同時に「モックルカード」利用者への割引特典を沿線施設の協力により用意
- ◆ 2施設からスタートした割引特典の協力施設数も、H28年度作成チラシでは24施設へ拡充
- ◆ 配布先は施設への配架だけでなく、市内小中学校や老人会への直接配布なども実施
- ◆ 市広報で観光資源へのモデルルートやアクセス方法を紹介



利用者がバスに乗ってお得感や楽しみを感じられるような工夫をした結果、モックルカードの販売数は増加傾向



※バス1日乗り放題「モックルカード」P R チラシ作成以前のH24年度を1とした場合

- 課題：①観光部局や観光施設との更なる連携
- ：②情報発信の機会や媒体の拡大
- ：③引き続き魅力のある特典の検討と協力事業者の募集

周辺市との連携による効率的、効果的な バス路線構築の可能性検討 No.6

H28年度 近隣市のコミュニティバス延伸の協議



※資料：大阪狭山市ホームページより

H29年度 本市のバスマップが参考に



※資料：富田林市ホームページより

- ◆近隣市で運行するコミュニティバスを本市の隣接する地域に延伸できないか協議
- ◆課題があり実現には至らなかったものの、情報や課題の共有に役立った

- ◆本市で作成したバスマップを参考に、近隣市でもバスマップを発行
- ◆本市の実績ではないが、近隣市でのバスの利用促進に間接的に貢献

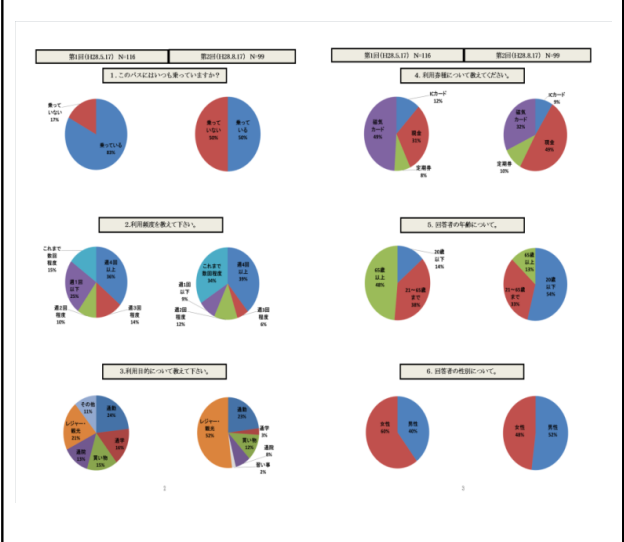
- 課題：①広域でのバス運行については、所要時間・ルート・経費負担等の調整が大前提
- ：②ニーズ把握
- ：③観光レジャー利用での効率的・効果的なバス路線網の構築の可能性を引き続き検討

ニーズに即した改善策の検討 No.7

H28年2月～7月 庁内検討会議

[illegible][illegible]

コミュニティバス乗込み調査



- ◆福祉・観光部局と担当レベルで連携を図り、交通施策に関する情報共有や利用促進策の検討を行うことを目的に6回開催
- ◆担当者レベルで利用促進策や交通弱者対策を検討
- ◆H29年度は2施策について予算化
 - ・モックルコミュニティバスの観光ルート実証運行
 - ・日野滝畑コミュニティバスへの観光ボランティア同乗

- ◆モックルコミュニティバス乗込み調査
H27年度 12/20（日）、1/10（日）
- ◆日野滝畑コミュニティバス乗込み調査
H28年度 5/17（火）、8/17（水）
11/12（土）、2/15（水）
- ◆日曜日限定の同伴者割引については同伴者がいると偶発的な寄り道が発生しやすく、消費行動に期待がもてるといった結果や、同伴者がいると外出の頻度が増える傾向が見られた
- ◆モックルコミュニティバスの利用者からの声として、朝の始発時間の繰り上げや路線バスとの乗継ダイヤの改善といった生の声あり
- ◆日野滝畑コミュニティバスは、生活路線より観光路線としての利用が多く、天候や季節の影響を受けやすい
- ◆観光利用と生活利用ではニーズが大きく異なった

【モックルコミュニティバス】

- 課題：①始発時間や乗継ダイヤの改善といったニーズへの対応
- ：②市役所や病院が休みとなる日曜日の効率的、効果的な運行の検討
- ：③高齢化の進展に応じた運行形態の検討

【日野・滝畑コミュニティバス】

- 課題：①生活利用と観光利用では、需要の多い時間帯が真逆
- ：②行楽シーズンには臨時便が必要となるが、天候不順の際は利用が激減
- ：③運行距離が長く所要時間がかかるため、今以上に運行回数を増やすことが難しい

- 【モックルコミュニティバス】
- 課題：①始発時間や乗継ダイヤの改善といったニーズへの対応
 - ：②市役所や病院が休みとなる日曜日の効率的、効果的な運行の検討
 - ：③高齢化の進展に応じた運行形態の検討
- 【日野・滝畑コミュニティバス】
- 課題：①生活利用と観光利用では、需要の多い時間帯が真逆
 - ：②行楽シーズンには臨時便が必要となるが、天候不順の際は利用が激減
 - ：③運行距離が長く所要時間がかかるため、今以上に運行回数を増やすことが難しい

【モックルコミュニティバス】

- 課題：①始発時間や乗継ダイヤの改善といったニーズへの対応
- ：②市役所や病院が休みとなる日曜日の効率的、効果的な運行の検討
- ：③高齢化の進展に応じた運行形態の検討

【日野・滝畑コミュニティバス】

- 課題：①生活利用と観光利用では、需要の多い時間帯が真逆
- ：②行楽シーズンには臨時便が必要となるが、天候不順の際は利用が激減
- ：③運行距離が長く所要時間がかかるため、今以上に運行回数を増やすことが難しい

- 【モックルコミュニティバス】
- 課題：①始発時間や乗継ダイヤの改善といったニーズへの対応
 - ：②市役所や病院が休みとなる日曜日の効率的、効果的な運行の検討
 - ：③高齢化の進展に応じた運行形態の検討
- 【日野・滝畑コミュニティバス】
- 課題：①生活利用と観光利用では、需要の多い時間帯が真逆
 - ：②行楽シーズンには臨時便が必要となるが、天候不順の際は利用が激減
 - ：③運行距離が長く所要時間がかかるため、今以上に運行回数を増やすことが難しい

I Cカードの普及促進 No.8

H27年3月号広報



4月からICカードで
バスに乗りできます
電車への乗り継ぎも便利に

H28年10月号広報

バス専用のプリペイド式 I Cカードができました

10月1日から南海バス専用のプリペイド式ICカード「なっち」が登場します。このカードは事前にお金をチャージ（補充）するプリペイド式なので、PitaPa（ピタパ）のように磁気式で乗車をを行うクレジットカード決済に抵抗のあった人でも手軽にご利用いただけます。



一度購入すれば、お金をチャージして繰り返しご利用いただけます。また、チャージ額1000円ごとに120円（普通割引）・200円（昼間休日割引）のプレミアム（割増）が加算されます。

なお、プリペイド式ICカードの導入により、従来の磁気式「なんかいバスカード」の販売は10月末で終了します（販売終了後もまだは続き利用可）。※モリッカード、ワイドモリッカード、キッズカードは引き続き販売します。「なっち」販売場所 バス車内、南海バス営業所、河内長野駅バス定期券発売所（初回購入時はカード裏がら金500円が必要）問い合わせ 南海バス乗客課（☎072-221-0781）

バスマップ裏面

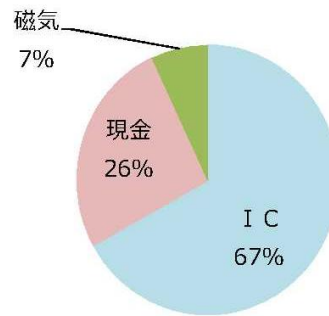


- ◆ H26年度に市内のバスでも、ピタパやスイカ等の交通系 I Cカードが使えるようにシステムの導入支援を実施。
- ◆ 導入後のH27年度以降は市広報やホームページ、バスマップの裏面等を活用し、普及促進に努めた。
- ◆ 南海バス専用の I Cカード「なっち」がH28年10月に登場した際も、市広報紙で周知を図った。

H28年7月



H29年7月



※データ：南海バス提供

➤ 課題：利用者数は順調に増加しており、引続き普及促進に努める

乗継運賃引き下げの検討 No.9

現在の導入されている運賃施策



南海バス
画像：南海バスホームページより

バスカード乗り継ぎ割引サービスのご案内

バスカード乗り継ぎ割引サービス

1回乗り継ぐごとに運賃を大人1人につき**50円割引!!** (小児は20円)

南海バス・南海ウイングバスでは、なんかいバスカードをご利用のお客さま対象に1回乗り継ぐごとにバス運賃を大人1人につき50円(小児は20円)を割引くサービスを実施しております。

バスカード乗り継ぎ割引ですますお得な「南海バス・南海ウイングバス」をどうぞご利用下さい。

**モックルカードで
市内全域600円**



河内長野市内(限定)
バス1日フリー乗車券
バス乗車モックルカード

Kawachinagano City
One Day Free Ticket

600 (大人: 600円)

- ◆市内でバス同士を乗継ぐ場合は、バス事業者にて乗継割引を導入済。
- ◆バス1日乗り放題モックルカードを使えば、市内全域が600円で移動可能であり乗継負担の軽減が図られている。
- ◆鉄道とバスの乗継割引は実現に至っていない。
- ◆観光部局と連携し、鉄道も含めて市内をお得に移動できる企画乗車券等の検討を実施。

- 課題：①バス同士の乗継だけでなく、鉄道⇄バス間等の多様な移動手段の乗継割引の検討を進めるため、
- 他市事例の調査研究
- ：②財源の確保
- ：③観光と連携した魅力ある企画乗車券の継続した検討



画像：高松市ホームページより

【他市等の参考事例】

- ◆高松市
ICカード「イルカ」による公共交通機関（鉄道⇄バス）相互の乗継割引を20円から100円に拡大し、拡大分の運賃差額等を市が負担。
- ◆大阪市営交通
ICカードや磁気カード利用でバス⇄地下鉄間の乗継が100円引き

千代田線における上限200円運賃の試行運行継続 と他路線への展開を検討 No.10

H25年10月26日～千代田線で上限200円継続



平成25年 10月26日(土)より実施

南海バス 千代田線 の上限200円運賃の試行運行等について

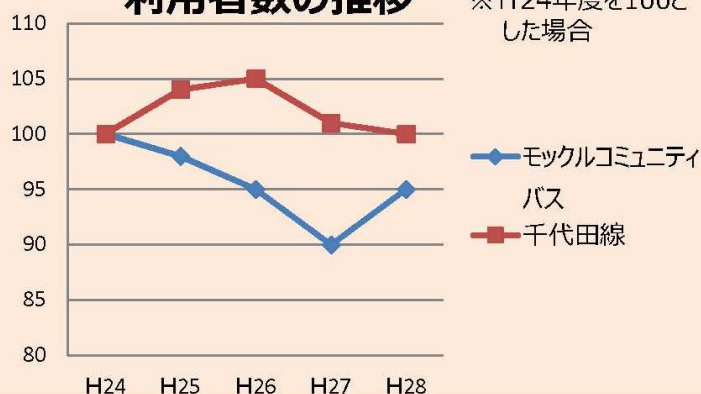
南海バス千代田線(河内長野駅前～木戸東町)において、平成25年10月26日より、

① 上限200円運賃の試行運行 ② 大阪南医療センター玄関口への乗り入れ を実施いたします。

① 河内長野駅 ⇄ 大阪南医療センターの運賃が **200円** になります。

利用者の推移

※ H24年度を100とした場合



- ◆ ルートの半分程度がモックルコミュニティバスと輻輳する路線バス千代田線では、モックルコミュニティバスで上限運賃制を導入して以降、料金不均衡が発生。そこでその問題を解消するため、平成25年10月末からコミュニティバス同様に上限200円運賃の試行運行を開始。
- ◆ 乗込み調査では「どちらのバスに乗っても同じ運賃なので助かる」といった声があった。
- ◆ 千代田線の利用者実績も上限200円の試行を開始したH25、H26年度で利用者数の増加が見られた。
- ◆ 利便性向上やサービス改善ができたと言える。



利便性の向上やサービス改善につながった

- ◆ 一方、他路線への展開については、千代田線とモックルコミュニティバスのように相互に補完し合った関係となる路線の候補が見当たらず、実施には至っていない。

- 課題：運賃不均衡の解消や利便性の向上等には繋がったが、一方でモックルコミュニティバス側の利用者数は減少しており、バス路線ネットワーク全体での総合的な効果検証が必要。

バスロケーションシステム導入の検討 No.11 携帯電話等に対応した時刻表、ルート図などの 提供を検討 No.12

H29年4月1日からの導入支援および普及促進



※河内長野市公式
Facebookより

こんにちは。猛暑で夏バテ気味のモックルです。
今日はスマホを使ってバスロケーションシステム初体験。モックルも
「便利くる〜」と大喜び。
皆さん、バスロケーションシステムをご存知でしょうか？市内バス停に
設置されたバスロケーションシステムQRコードを読み取れば、バスの
接近情報が確認できます。... もっと見る

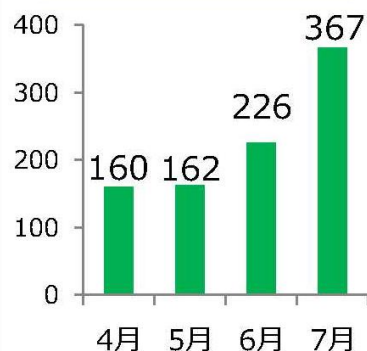


いいね！ コメントする



※データ：南海バス提供

Bus-visionアクセス 件数の推移（千件）



- ◆バスは道路事情の影響を受けやすく、遅延が発生しやすいことが敬遠の一因とされてきた。
- ◆情報化の進展により、パソコンやスマートフォンでも簡単に情報を確認することが可能に。



- ◆H28年度に補助金による導入支援を実施し、H29年4月1日から運用開始。
- ◆導入後もバス事業者とともに普及促進に努めた結果、バスロケーションシステムのサイト「Bus-vision」へのアクセス件数も増加している。

- 課題：①更なる普及促進
- ②より使いやすいバスロケーションシステムにするための情報収集や検証

深夜バス、路線バスの 運行を検討 No.13,14

ノンステップバス導入の 推進 No.19

鉄道に合せたダイヤ改正等

- ◆鉄道のダイヤ改正に合せた見直し
 - ・H27年12月から、清見台団地線の三日市町駅西側ロータリーでの全便発着
 - ・H27年12月から、鉄道ダイヤ改正に合せたダイヤ編成（市庁舎線の通勤時間帯のダイヤ変更など）
 - ・H28年7月から、天野山線の再編（旭ヶ丘系統・榎尾中学校系統の統合系統の新設）
 - ・H29年4月から、看護学校開校にむけた輸送調整
 - ・H29年8月から、鉄道ダイヤ改正に合せたダイヤ編成
- ◆深夜バスの運行
 - ・H27年12月から、千代田駅前～緑ヶ丘北町への運行
 - ・H28年7月～三日市町駅東～美加の台エリアに「金曜日限定深夜バス」の運行



7/15より 金曜日限定 はなきんバス 深夜バス 運行開始!

三日市町駅東 美加の台

南海バス 河内長野営業所 ☎0721-53-9043

新規車両導入時に随時支援

- ◆河内長野市ノンステップバス導入補助金交付要綱に基づき、バス事業者で新規車両導入時に補助を実施

- ◆平成25年3月時点で低床化率100%達成



出典：南海バスホームページ

- ◆バス事業者において、バスと基幹交通である鉄道への結節強化の観点から、鉄道ダイヤの改正に合せた見直しや三日市町駅～美加の台駅間で新たに深夜バスの運行を開始する等、ニーズに合わせた運行を実施。

- ◆ノンステップバスの導入支援としては、バリアフリー化の一環として、バス事業者が新車を購入する際に補助を実施することとし、高齢者や障害者等誰もが使いやすい環境整備を目指している。
- ◆今後も車両更新時に継続的に推進する。

- 課題：①事業者との連携
- ：②ニーズに合わせた柔軟な変更

モックルコミュニティバス

・車内でのP R No.15

・市役所、バス停周辺施設、店舗等でのP R No.16

バス車内や公共施設でのP R

今年度も引き続き上乗200円運賃で運行します！
通常より最大で150円もお得です！

モックルコミュニティバス

日曜限定 同乗者割引も引き継ぎ
実施中！
日曜日の乗車料金が1人100円
（乗車料金が1人100円以下の場合）

みなさまの積極的なご利用をお願いします！！

毎月の利用者速報

第8回 モックルコミュニティバス
絵画展

schedule

- 1 展覧 2/8(水)～2/13(月)：国府田小学校・国府田中学校
- 2 展覧 2/15(水)～2/20(月)：国府田小学校・国府田中学校
- 3 展覧 2/22(水)～2/27(月)：小山田小学校・千代田小学校
- 4 展覧 3/1(水)～3/6(月)：国府田小学校・石仏小学校
- 5 展覧 3/8(水)～3/13(月)：川上小学校・東部の森小学校
- 6 展覧 3/15(水)～3/20(月)：東部の森小学校・三日月小学校
- 7 展覧 3/22(水)～3/27(月)：天野小学校

バス車内での学生の
絵画を展示しています！

2017年2月8日(水)～3月27日(月)

バス車内の絵画展の告知

沿線施設でのP R

本多町 バス時刻表 平成29年8月26日改正												
河内長野駅 方面												
行先	時	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
平日	7:00 河内長野駅前	51	51	8	8	8	38	23	8	38	23	8
土休日	7:00 河内長野駅前	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
千代田駅前、近畿大学病院前、泉ヶ丘駅 方面												
行先	時	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
平日	7:00 泉ヶ丘駅	32	32	32	2	47	2	32	17	2	47	32
平日	7:00 近畿大学病院前	2	2	2								
土休日	7:00 泉ヶ丘駅	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32
モックルコミュニティバス 準定年給 (12月29日～1月3日) は運休												
行先	時	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
全日	美加の台駅前 (南行き)	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46
全日	大南南医療センター玄関口 (北行き)	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18

本多町バス停の時刻表
(沿線施設掲示用)

広告事業者による時刻表作成

モックル コミュニティバス 時刻表
日野・滝知

平成29年8月26日改正

バス1日フリーカード
河内長野市内限定
モックルカード

モックルカードならこんなにお得★
河内長野駅前～滝知まで
往復1,000円(片道500円)の乗車券
モックルカードなら600円(片道300円)!!

モックル コミュニティバス 時刻表

2017年2月8日(水)～3月27日(月)

バス車内での学生の
絵画を展示しています！

コミュニティバス時刻表

【車内でのP R】

- ◆毎月の利用状況の掲出。
- ◆市開催のイベント情報の掲出。
- ◆市内の小学生の絵画展示の実施。

【市役所、バス停周辺施設、店舗等でのP R】

- ◆毎月の利用状況の掲出。
- ◆沿線の施設には市で作成したバスの時刻表を提供し、施設内での掲示を依頼。
- ◆民間の広告事業者の協力によるコミュニティバスの時刻表の作成と配布。

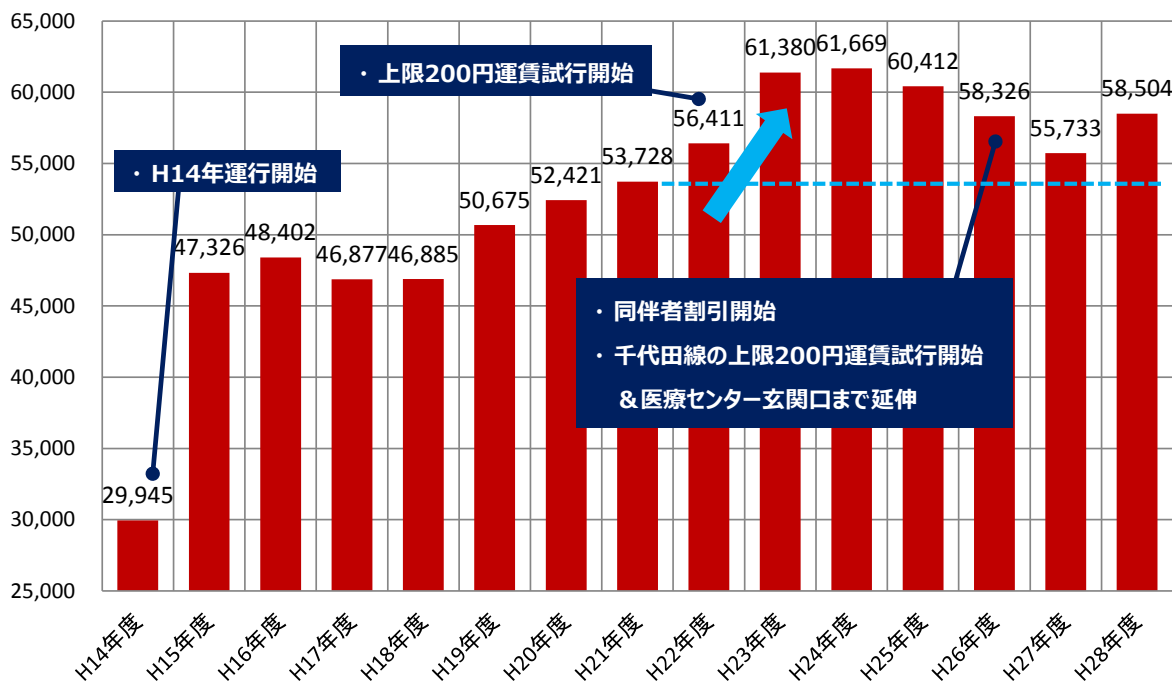
- 課題：①習慣的になってきており、新規性に乏しい
- ②内容の充実

モックルコミュニティバス

・上限200円運賃の本格運行への移行を検討 No.17

・同伴者割引の拡大検討 No.21

試行の本格運行への移行検討、同伴者割引の平日拡大検討



日曜利用者数の推移 (人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
日曜	5,219	5,281	5,266	5,271
日曜以外	55,193	53,045	50,467	53,233

同伴者割引利用者数 (件)

H26年度	H27年度	H28年度
417	366	434

【上限200円運賃の本格運行への移行を検討】

- ◆ H22年の上限200円運賃試行開始後、利用者数が増加。
- ◆ 料金不均衡の解消ため、並走路線である千代田線でも上限200円運賃試行を導入して以降は、利用者の分散によりモックルバス側はいったん減少。
- ◆ 但し、H25年度以降減少もみられるが、直近H28年度実績でも上限200円運賃施行前（H21）と比較すると増えている（対H21年度比108.9%）。

【同伴者割引の拡大検討】

- ◆ 日曜日限定の利用者1人につき同伴者1人無料という同伴者割引は、年間の利用件数が400前後。
- ◆ H27年度アンケート結果では約6割が同伴者割引を知っていると回答し、認知度についてまだ改善の余地がある。
- ◆ 一方で、日曜日以外の利用者数が増減を繰り返す中で、日曜日の利用数はほぼ一定であり、同伴者割引による固定客の確保に繋がっている。
- ◆ 乗込み調査からも、日曜日の同伴者割引は夫婦で買物に行くのに助かっているといった声もあり、外出の機会創出の効果が見られる。

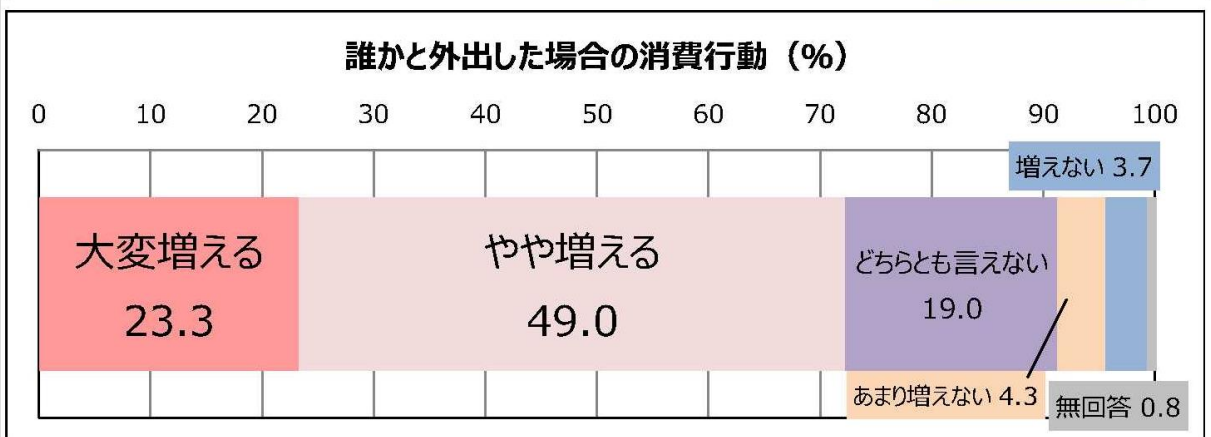
モックルコミュニティバス

・上限200円運賃本格運行への移行を検討 No.17

・同伴者割引の拡大検討 No.21

上限200円運賃試行および同伴者割引の効果検証

※グラフ：H28年度市民意識調査結果より



◆H27年度実施のバス乗込み調査で、同伴者がある場合は偶発的に食事や買物などの寄り道をする傾向があることが分かっている。また、その傾向は、H28年度市民意識調査でも見て取れる。



- ◆上限200円運賃の試行はより利用しやすい環境の整備に繋がっていることが推測される。また、同伴者割引についても周知不足や利用者数の伸びがあるものの、利用者が増えればまちの活性化に繋がるものと思われる。
- ◆但し、60歳以上になると滞在時間や消費行動が増えないと答えた回答率も増えるため、その高齢者の外出支援になるかどうかや、また、特に平日の朝一の便は30名程度の利用があり、同伴者割引の適用にはバスの乗務員の負担や、降車時の混雑等も予想され安全運行に支障をきたすことも考えられることから、平日への拡大は、今後も効果と課題を研究していくものとする。

- 課題：上限200円運賃の本格運行への移行
- ：同伴者割引の平日拡大の引き続き効果と課題の研究

日野・滝畑コミュニティバス

沿線観光施設、商業施設等との連携による割引特典等を活用した利用促進 No.18

沿線観光施設、商業施設等との連携による割引特典等を活用した利用促進

10月 イベント情報

9(日) 高向だんらん祭り
16(日)~30(日) ハロウィンイベント
29(土) 30(日) 前大庭アロハフェスティバル
1(土) 2(日) 8(土) 22(土) 23(日) 塩干物販売
11(火) 農物の特売 18(火) 野菜の特売
21(金)~31(月) ハロウィンイベント

12(水)~16(日) 光と影のランタナ展
15(土) 16(日) ROSE TEATIME(ハロウィンでテーマパーク)
22(土) 23(日) FLOWER PARTY(ハロウィン 花の文化園)
29(土) 30(日) ハロウィンイベント

17(土) 全県大会「観心寺がつくった中世世界」
22(土) エントランス展示「今年も、あわわの縁がとれたよ！」
この縁の歴史博物館(あわわの縁がとれたよ！)開催中！

27(木) ホエクラアトス・マルチアック
水曜館 本館前
河内長野駅 7番のりば

10月 イベント情報

10月 イベント情報

10月 イベント情報

10月 イベント情報

沿線施設イベントカレンダー

11月 イベント情報

1(火)~30(水) くらまの郷 秋の共進スタンダード
おささびパン工房 秋のパン祭り
13(日) 第2回 奥河内ロサイエンス大会
26(土) 27(日) くらま2周年 秋の大収穫祭
おささびパン工房 ビュッフェレストラン奥河内 あさかてくるで

5(土) 6(日) ROSE TEATIME(ハロウィンでテーマパーク)
15(火)~20(日) 秋の共進スタンダード
22(火)~27(日) 本館前
~27(日) 土・日・祝 みどころガイドツアー(10:30~、13:00~)

26(土) 27(日) 縁の家でつくった中世世界(無料)
観心寺がつくった中世世界
観心寺 今年も、あわわの縁がとれたよ！

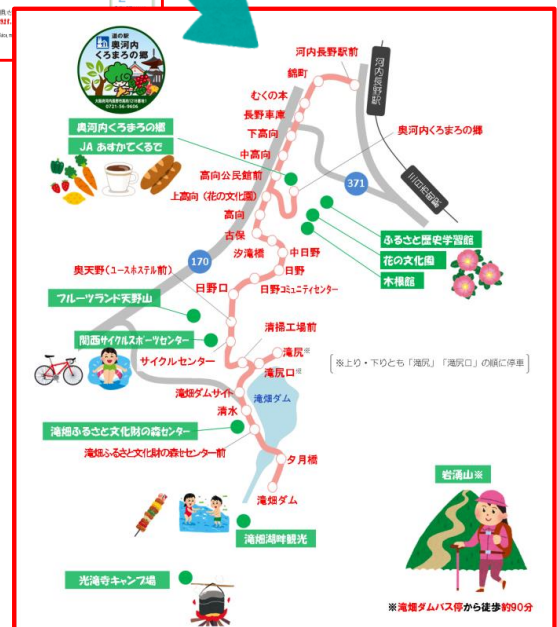
24(木) ホエクラアトス・マルチアック
水曜館 本館前
河内長野駅 7番のりば

11月 イベント情報

11月 イベント情報

11月 イベント情報

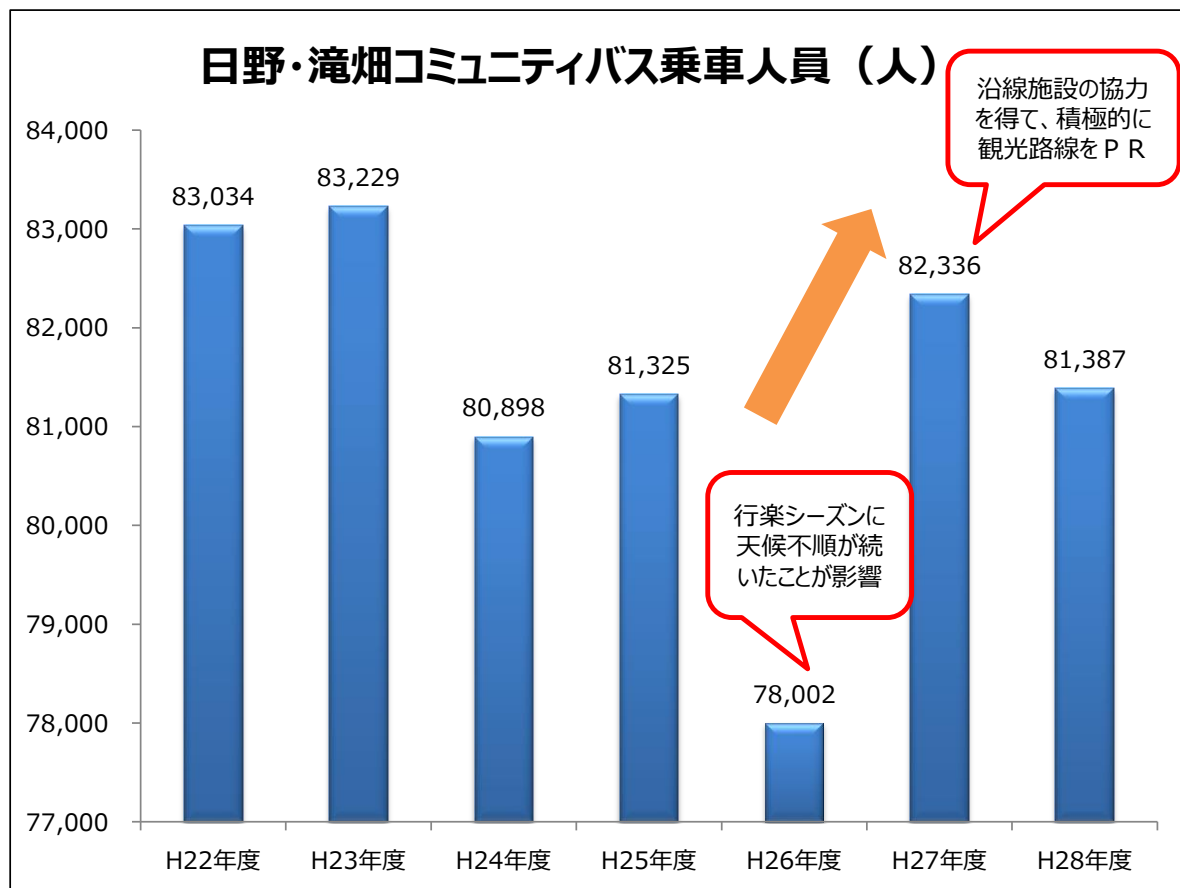
11月 イベント情報



- ◆割引特典等を活用した利用促進として、企画乗車券バス1日乗り放題カードのP Rチラシを作成。
チラシは「商業施設等の連携 No.5」とおり。
- ◆H28年11月号、H29年11月号広報で利用特典協力者の募集記事を掲載し、広く協力事業者を募集。
- ◆日野・滝畑コミバスの沿線には、H29年度に道の駅として登録された「奥河内くらまの郷」や「関西サイルスポートセンター」等の商業・観光施設が充実しており、昨今、観光利用のP Rに力を入れていることで、生活路線としての役割だけでなく、観光路線としての役割も担うようになってきている。→地域の活性化に貢献。
- ◆沿線施設とタイアップ作成したイベントカレンダーをバス車内に掲出。
- ◆文字が多かった市のHPを図やイラストを活用して見やすく改良し、外からの来訪者にも分かりやすいように工夫。
- ◆H29年3月号広報で、バスを利用したお出かけモデルルートを紹介

日野・滝畑コミュニティバス 沿線観光施設、商業施設等との連携による割引 特典等を活用した利用促進 No.18

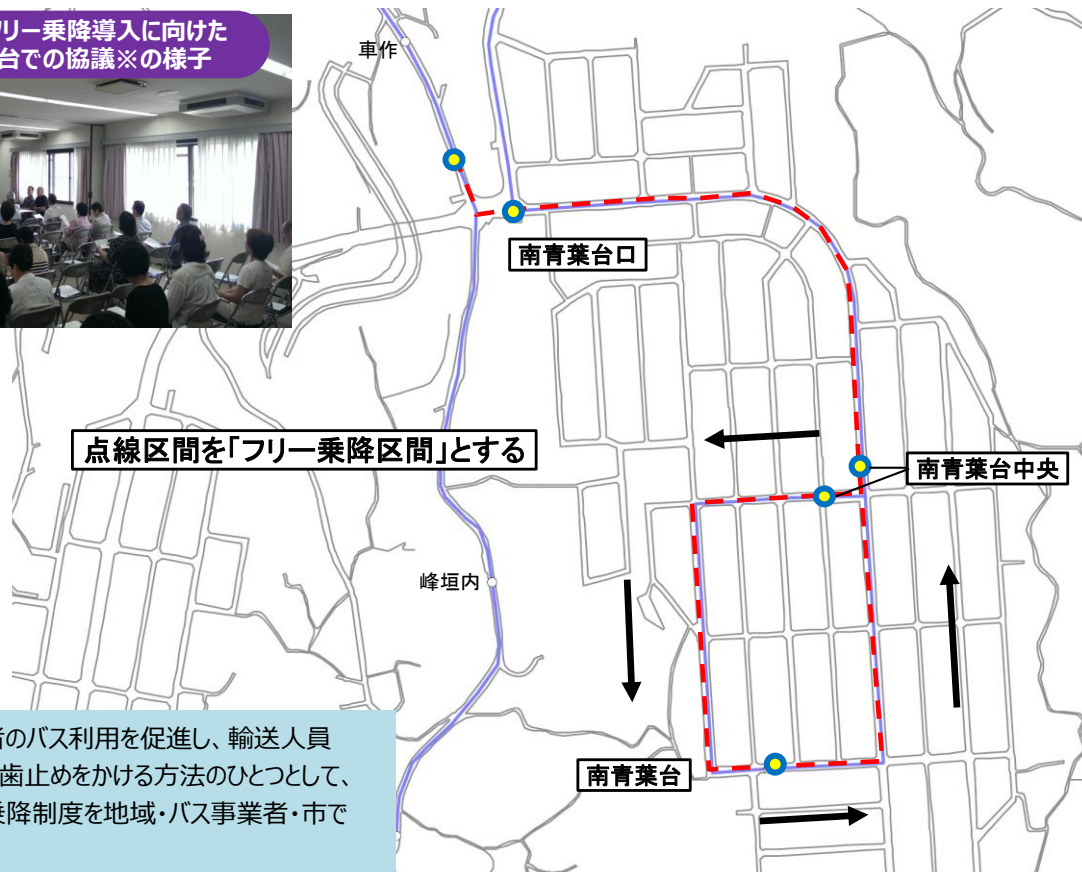
沿線観光施設、商業施設等との連携による割引特典等を活用した利用促進



- 課題：①生活路線として維持するために、さらに観光利用での魅力を増加させる
- ：②生活路線としての利便性向上

フリー乗降導入指針の作成 及びフリー乗降の展開 No.20

南青葉台でのフリー乗降について



※高齢者のバス利用を促進し、輸送人員減少に歯止めをかける方法のひとつとして、フリー乗降制度を地域・バス事業者・市で検討

- ◆フリー乗降は足腰が弱くなった高齢者が、より目的地や自宅の近くでバスお乗り降りできるという利点がある反面、バス停以外の場所で止まるため、後続車やバス利用者の安全確保、乗務員の負担増が課題。
- ◆また、地域の理解がなければ実施できないため、まずは地域の総意として一定以上の声が高まる必要がある。その上で交通安全の観点からも利用者や後続車の安全が確保できるという場所であれば導入にむけた協議ができる。



- ◆今地域で固まったお声が届いているところがないため、他地域への展開には至っていないが、導入による効果や実績を事業者とともに引き続き検討していく予定。
- ◆導入指針についても、地域の特性や道路事情によって左右される部分が多いため、新たにフリー乗降の展開が進む際に作成していく予定。

- 課題：①安全性の確保と地域の総意。
- ②高齢化への対応策となるため、引き続き導入できる箇所の調査研究。

【参考】市の主な公共施設

調査票12ページから13ページの記述回答のうち、「施設名または公共施設の種類」の記入については、下記一覧表の「1」から「28」より選んで記入してください。

公共施設の種類	具体的な施設名
市庁舎	1. 市庁舎
小中学校	2. 小学校、中学校
千代田台保育園	3. 千代田台保育園
三田市幼稚園	4. 三田市幼稚園
子ども子育て総合センター（あいっく）	5. 子ども子育て総合センター（あいっく）
フォレスト三田市（健康増進支援センター）	6. フォレスト三田市（健康増進支援センター）
河内長野市	7. 河内長野市
滝畑ふるさと文化財の森センター（研修宿泊施設）	8. 滝畑ふるさと文化財の森センター（研修宿泊施設）
奥河内くろまろの郷（ビジターセンター、レストラン）	9. 奥河内くろまろの郷（ビジターセンター、レストラン）
林業総合センター（木根館）	10. 林業総合センター（木根館）
市民公益活動支援センター（るーぷらざ）	11. 市民公益活動支援センター（るーぷらざ）
シルバー人材センター	12. シルバー人材センター
文化会館（ラブリホール）	13. 文化会館（ラブリホール）
図書館（キックス）	14. 図書館（キックス）
市民交流センター（キックス）	15. 市民交流センター（キックス）
市民センター	16. 河内長野市駅前市民センター（パティオ・7F、3F、2F、1F）
公民館	17. 公民館（川上、加賀田、高向、千代田、三田市、天見、天野、南花台）
コミュニティセンター	18. コミュニティセンター（小山田（あやた）、清見台（くすのか）、日野（みので）、滝畑）
福祉施設	19. 福祉センター（錦旗苑）、地域福祉センター（小山田（あやた）、清見台（くすのか））
障がい者福祉施設	20. 障がい者福祉センター（あかみね、あかみね分館）
医療・健康施設	21. 保健センター、休日急病診療所、フォレスト三田市（乳幼児健診センター）
スポーツ施設	22. 武道館、市民総合体育館、赤峰市民広場、寺ヶ池公園プール
資料館	23. ふるさと歴史学習館（くろまろ館）、滝畑ふるさと文化財の森センター（資料館）
学校給食センター	24. 学校給食センター
寺ヶ池公園管理事務所	25. 寺ヶ池公園管理事務所
消防施設	26. 消防署（消防本署、北出張所、南出張所）
市営住宅	27. 市営住宅（桜ヶ丘、栄町、昭栄、三田市西）
環境衛生施設	28. 市営斎場、衛生処理場

◎上記の施設は延床面積300㎡以上を表記しています。市では上記のほか、事務所や車庫・倉庫、公衆トイレなどの小規模な施設を保有しています。

第43回河内長野市民意識調査

あなたの声を市政に

市政アンケート調査のお願い

市民のみなさんには、日頃から市政に対し、何かとご理解とご協力をたまわりありがとうございます。

さて、今年も「市民の声」を市政に反映するため、18歳以上の市民のみなさんの中から2,000人の方々を無作為に選ばせていただき、アンケート調査を実施させていただきます。

今年は、2つのテーマ＜公共交通＞と＜公共施設＞について、市民のみなさんの率直なご意見を伺うことで、各施策をすすめるうえでの今後の参考資料にしたいと考えております。

アンケートの回答については、すべて統計的に処理し、報告書として市のホームページ、情報センターや図書館で閲覧していただくことができます。（報告書の公開は来年2月頃予定です。）また、この調査の目的以外には使用いたしません。

ご多忙の折とは存じますが、8月22日（月）までにご回答くださいますよう、ご協力のほどをお願い申し上げます。

※別紙＜市政モニター募集のご案内＞もご覧ください。

平成28年8月

河内長野市長



ご記入にあたってのお願い

●このアンケート調査は、平成28年6月30日現在の住民基本台帳から無作為に抽出した個人を対象としていますので、本人による記入が困難な場合を除き、封筒のあて名の方がご自身でご記入ください。

●回答は問1から順に、質問ごとに用意してある答えの中から、あなたのお答えにあてはまる番号、または項目に○をつけてください。「その他」に○をつけた場合は、（ ）内へ具体的に記入してください。

●記入後は同封の返信用封筒に入れて封をし、名前を書かず郵便ポストへご投函ください。切手は不要です。（市政モニターに申し込みをされる方は、別紙用紙も同封してください。）

●このアンケート調査についてのお問い合わせなどがありましたら、下記までご連絡ください。

＜お問い合わせ先＞ 河内長野市役所（代表電話番号）0721-53-1111

設問 1～10 総合政策部 都市魅力戦略課（内線 567）

設問 11～31 都市づくり部 都市創生課（内線 540）

設問 32～36 総務部 資産活用課（内線 482）

設問 37・38 総合政策部 都市魅力戦略課（内線 567）

I. あなたご自身についておうかがいします

問1 あなたの性別についてお答えください。

1. 男性 2. 女性

問2 あなたの年齢についてお答えください。(○は1つ)

1. 18・19歳 2. 20～24歳 3. 25～29歳
4. 30～34歳 5. 35～39歳 6. 40～44歳
7. 45～49歳 8. 50～54歳 9. 55～59歳
10. 60～64歳 11. 65～69歳 12. 70～74歳
13. 75～79歳 14. 80～84歳 15. 85歳以上

問3 あなたの家族構成についてお答えください。(○は1つ)

1. 単身(ひとり暮らし) 2. 夫婦のみ世帯
3. 親子2世代世帯 4. 親子孫3世代世帯
5. その他(具体的に)

問4 あなたは、現在、結婚されていますか。(○は1つ)

1. はい(婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻関係にある場合も含む)
2. いいえ

問5 あなたのご職業についてお答えください。(○は1つ)

1. 勤め人(常勤) 2. 勤め人(非常勤・パートタイム・アルバイトなど)
3. 商工・サービス業などの自営業・自由業 4. 農林漁業
5. 家事専従 6. 学生
7. 無職 8. その他(具体的に)

【問5で「7. 無職」を選んだ方におうかがいします。それ以外の方は問6へお進みください。】

問5-1 日常の自由時間に何かされていますか。(○はい/つくても)

1. 地域のまちづくり活動※ 2. 趣味・娯楽 3. 散歩・運動 4. 孫の面倒
5. 庭いじり・家庭菜園 6. 家事の手伝い 7. 特に何もしていない
8. その他(具体的に)

※地域のまちづくり活動：自治会・町内会、PTA、教育、青少年、環境、美化、福祉など、有償・無償を問わず、幅広く社会貢献活動のことをさしています

【全員の方におうかがいします。】

問6 あなたはこの1年に地域のまちづくり活動※にどの程度参加されましたか。(○は1つ)

1. 週に2～3回以上 2. 週に1回程度 3. 月に1回程度
4. 年に数回程度 5. 年に1回程度 6. ほとんどない

※地域のまちづくり活動：自治会・町内会、PTA、教育、青少年、環境、美化、福祉など、有償・無償を問わず、幅広く社会貢献活動のことをさしています

問7 地域のまちづくり活動に参加したいと思いますか。

1. 思う 2. 思わない 3. どちらとも言えない

問8 住んでおられる地区は、次のどれに該当しますか。記入例を参考に地区名を1つ選び、右側の囲み内のあてはまる町名に○をつけてください。

〔記入例〕

地区名	町名
9 千代田地区	市町、木戸町、 木戸東町 、木戸1～3丁目、汐の宮町、千代田南町、向野町

地区名	町名
1 天野地区	天野町、下里町、緑ヶ丘北・中・南町
2 天見地区	天見、岩瀬、清水、流谷
3 小山田地区	小山田町、荘園町、千代田台町
4 加賀田地区	大矢船北・中・南・西町、加賀田、唐久谷、南ヶ丘
5 石仏地区	石仏、北・南青葉台
6 川上地区	石見川、太井、神方丘、河合寺、清見台1～5丁目、小深、寺元、鳩原、大御町、日東町
7 楠地区	あかしあ台1・2丁目、北・南真望ヶ丘、桐ヶ丘、楠町東・西、自由ヶ丘、松ヶ丘東・中・西町、木戸西町1～3丁目
8 高向地区	旭ヶ丘、滝畑、高向、日野
9 千代田地区	市町、木戸町、木戸東町、木戸1～3丁目、汐の宮町、千代田南町、向野町
10 長野地区	上原町、上原西町、菊水町、寿町、栄町、昭栄町、未広町、長野町、錦町、西代町、西之山町、野作町、原町、原町1～6丁目、古野町、本多町、本町
11 南花台地区	南花台1～8丁目
12 美加の台地区	美加の台1～7丁目
13 三日市地区	上田町、小坂町、中・西・東片添町、喜多町、楠ヶ丘、三日市町

問9 あなたが河内長野市にお住まいになって通算で何年になりますか。(○は1つ)

1. 5年未満 2. 5～10年未満 3. 10～20年未満
4. 20～30年未満 5. 30～50年未満 6. 50年以上

問10 現在地にお住まいになられる前は、どちらにお住まいでしたか。(○は1つ)

1. 生まれてからずっと現在地に住んでいる
2. 現在地以外の河内長野市
3. 河内長野市以外の南河内地域 (富田林市・大阪狭山市・羽曳野市・藤井寺市・松原市・河南町・太子町・千早赤阪村)
4. 堺市
5. 大阪市
6. その他の大阪府 (府域外)
7. 大阪府以外の都道府県または海外 (具体的な都道府県名、国名)

問11 ご近所の方との程度つながりを持っていますか。(○は1つ)

1. 付き合いはまったくない
2. あいさつ程度の最小限の付き合いしかない
3. 日常的に立ち話をする程度の付き合いをしている
4. 時々、お互いの家で交流したり、外で一緒に食事を楽しんだりする人がいる
5. 互いに色々相談したり、生活面で協力し合う人がいる

問12 あなたは、この1年にご近所の方と一緒に出かけられたことがありますか。(○は1つ)
ある方は、主にどちらに行かれたかを具体的に教えてください。

1. ある (どこへ (具体的に))
2. ない

問13 ご近所で困っておられる方がいた場合、ご自身ならどのような行動を行えると思いますか。(○は1つ)

1. 自分のできることなら、何らかのお手伝いをしてあげたい
2. 近所づきあいが少ないため、困っておられるかどうか気づくのがむずかしい
3. 特に何も行動しない

問14 あなたは運転免許を持っていますか。(○はいくつでも)

1. 普通免許
2. 自動二輪
3. 原動機付自転車 (原付)
4. 返納した
5. 取得したことがない

問15 車・バイクの保有状況について。(○はいくつでも)

1. 自分が自由に使える車がある
2. 自分が自由に使えるバイクがある
3. 家族に乘せてもらう車がある
4. 家族に乘せてもらうバイクがある
5. 車・バイクはない

Ⅱ. ふだんの外出状況についておうえいがいします

問16 日常生活での主な外出について、次の(1)～(8)の外出目的ごとに「①目的」 「②頻度」 「③利用交通手段」 「④同伴者の有無」のそれぞれについて該当するものの番号を記入するか、番号に○印をつけてください。

① 目的地 か下 記を 必ず 記入 する こと を 要 す	② 頻度 (○は1つ)												③ 利用交通手段 (○はいくつでも)								④ 同伴者																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	週に 1回 以上 6回 以下	週に 2回 以上 3回 以下	週に 4回 以上 5回 以下	週に 6回 以上 7回 以下	週に 8回 以上 9回 以下	週に 10回 以上 11回 以下	週に 12回 以上 13回 以下	週に 14回 以上 15回 以下	週に 16回 以上 17回 以下	週に 18回 以上 19回 以下	週に 20回 以上 21回 以下	週に 22回 以上 23回 以下	週に 24回 以上 25回 以下	バス	徒歩	自転車	自動車 (同乗)	自動車 (運転)	バイク・自転車	その他 (具体的に)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
その目的での外出 がなければ×を記 入してください。	2	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1

【目的地※一覧】

1. 千代田駅周辺
2. 河内長野駅周辺
3. 三田市町駅周辺
4. 市役所・ギックス周辺
5. 消防本部周辺・奥河内くろまろの郷周辺
6. 南花台地域周辺
7. 河内長野市内のその他の地域
8. 近隣市 (富田林市・大阪狭山市)
9. 堺市内
10. 大阪市内
11. それ以外

※第5次総合計画で掲げる拠点を参考に選定しています

【問16で回答された「同伴者の有無」のうち、1つでも「同伴者あり」に○印をつけられた方におうかがいします。それ以外の方は問21へお進みください】

問17 主にどなたと一緒に外出（移動）されますか。（○はいくつでも）

1. 配偶者	2. 父親・母親	3. 兄弟姉妹
4. 祖父・祖母	5. 子ども	6. 孫
7. 友人	8. 近所の人	9. その他（ ）

問18 1人で外出される場合と比べて、誰かと一緒に外出した場合、外での滞在時間は増えますか。（○は1つ）

1. 大変増える	2. やや増える	3. どちらとも言えない
4. あまり増えない	5. 増えない	

問19 1人で外出される場合と比べて、誰かと一緒に外出した場合、消費行動は増えますか。（○は1つ）

1. 大変増える	2. やや増える	3. どちらとも言えない
4. あまり増えない	5. 増えない	

問20 誰かと一緒にの外出について、感じられることはありますか。（○はいくつでも）

1. 安心	2. 楽しい	3. 割安	4. 煩わしい	5. 気疲れする
6. 割高	7. その他（具体的に）	8. 特にない		

問21 ご自宅から最寄りの鉄道駅及びバス停の名称と、現在の所要時間、望ましい所要時間をお答えください。また、鉄道については、最寄り駅までに行くためによく利用する交通手段の番号に○印をつけてください。

	最寄り駅・バス停の名称	現在の所要時間	望ましい所要時間	最寄りの鉄道駅までによく利用する交通手段（○は1つ）
鉄道駅		右で選択した交通手段で		1. バス 2. 自動車(運転) 3. 自動車(同乗) 4. バイク・自転車 5. 徒歩 6. タクシー 7. その他（ ）
バス停		徒歩で	分 分	

問22 あなたは、日常生活における外出（移動）についてどの程度満足されていますか。（○は1つ）

1. 大変満足	2. やや満足	3. どちらとも言えない
4. やや不満	5. 大変不満	→ 問22-1へ

【問22で「4. やや不満」もしくは「5. 大変不満」を選んだ方におうかがいします】
問22-1 不満を感じておられることについて、具体的に記入ください。

Ⅲ. 市内のバス交通についておうかがいします

移動手段としての公共交通には、鉄道、バス（路線バスやコミュニティバス等）、タクシー等がありますが、ここでは主に市内の身近な移動手段としての中心的な役割を担っているバス交通について、おうかがいします。

問23 あなたの日常生活において、路線バス等の利便性についてどのように感じていますか。（○は1つ）

1. 大変便利	2. やや便利	3. どちらとも言えない
4. やや不便	5. 大変不便	

【問23で「4. やや不便」もしくは「5. 大変不便」を選んだ方におうかがいします】
問23-1 不便に感じる理由は何ですか。下の選択肢の中から不便を強く感じているものを順に3つ選んで、下欄に番号を記入してください。

1 番目	2 番目	3 番目
------	------	------

1. 自宅からバス停が遠い	2. バス停から目的地が遠い
3. 時間がかかる	4. 便数が少ない
5. 運賃が高い	6. 鉄道や他のバスとの乗継ぎが悪い
7. 乗り心地が悪い	8. バス停施設（ベンチ等）が不便
9. 情報（乗り場、時刻表等）がわかりにくい	10. 段差や車いすへの配慮がない
11. その他（具体的に）	

【全員の方におうかがいします】
問24 あなたの現時点での日常生活において、路線バス等の地域公共交通の必要性を感じていますか。（○は1つ）

1. 大変必要性を感じる
2. どちらかといえば必要性を感じる
3. 必要性を感じないが、充実はしてほしい（あればいいと思う）
4. 必要性を感じない
5. その他（具体的に）

問25 本市では、主に鉄道駅を起点に各住宅団地へバス路線網が形成されています。あなたは、この路線網についてどのように感じていますか。(○はい/×いい)

1. 駅周辺の外出がいちばん多いのでよい

2. 駅周辺は人それぞれなので、駅周辺がよい

3. バス等を乗り継いで目的地に行く必要があり不便

4. 駅ではなく市内を循環するバスが欲しい

5. 就職・定年等により、駅へ行く機会が減り、現在の生活スタイルに合わない

6. 駅前よりも幹線道路沿いの商業施設等へ外出することが多く不便

7. その他(具体的に)

8. 特になし

9. わからない

【問26～問29までの質問は、ふだんバスを利用していない方におうかがいします。それ以外の方は問30へお進みください】

問26 あなたがバスを利用しない理由は何ですか。下の選択肢の中から理由として大きいものを順に3つ選んで、下欄に番号を記入してください。

1番目2番目3番目

1. 歩いて目的地(駅など)へ行ける

2. 車やバイクの方が便利

3. 自宅からバス停までの距離が遠い

4. 目的地の近くにバス停がない

5. 便数が少なく利便性が悪い

6. 運賃が高い

7. バス路線(どのバスに乗れば目的地へ行けるのか)や乗り場等がわかりにくい

8. 段差や車いすへの配慮が少ない

9. 運転者のサービスが悪い

10. 乗り継ぎが不便

11. その他(具体的に)

問27 あなたは、どのような点が改善されれば、バスを利用しますか。下の選択肢の中から利用するのに改善を強く望むものを順に3つ選んで、下欄に番号を記入してください。

1番目2番目3番目

1. 自宅からバス停までの距離

2. バス停から目的地までの距離

3. 便数

4. 運賃

5. 運行時間帯

6. わかりやすさ(乗り場、時刻表等)

7. バス停施設(ベンチ等)

8. 座席の広さ

9. 鉄道や他のバス路線との乗継ぎ

10. 乗り心地

11. 段差や車いすへの配慮

12. その他(具体的に)

問28 問27の点が改善され、あなたにとって利便性が高いと思われるバスが運行された場合、利用しますか。(○はい/×いい)

1. 利用すると思う

2. 利用しないと思う

3. わからない

【問28で「1. 利用すると思う」を選んだ方におうかがいします】

問29 あなたにとって利便性が高いバスを利用する場合、「①どのような目的で」「②誰と」「③どこに行くのに」「④いつ」「⑤どのくらいの頻度」で利用すると思いますか。主な利用目的を下から2つ選んで回答欄に記入してください。次にそれらのことに②～⑤について選択肢の中から該当する番号を選んで○印をつけてください。

①目的	②主に誰と(○は1つ)	③どこに行くのに(○は1つ)	④いつ	⑤利用頻度(○は1つ)
下記の目的一覧から番号を記入	自分ひとり	市内の他の地域(農村部)	平日	年に1回程度
6	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5
主目的1	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5
主目的2	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5

【目的一覧】

1. 通勤・通学

2. 買物

3. 通院

4. 銀行・郵便局等

5. 公共施設への用事

6. 遊び、趣味、娯楽等

7. 子育て関係の用事

8. その他

IV. 今後のまちづくりについておうかがいします

将来の人口減少が見込まれる中、まちの機能を維持・向上していくために、生活に必要な施設を集めた拠点と、一定の居住者がまとまって住む市街地が、公共交通ネットワークによってつながるまちづくりが求められています。

問30 あなたは、10年後、20年後も住み続けられるまちを考えたとき、どのような地域を拠点として施設を集めていくべきだと思いますか。（○は3つまで）

- 1. 電車やバスなどの公共交通の便が良い地域
- 2. 駐車場が多い、道路が広いなど自動車で利用しやすい地域
- 3. 日常生活に必要な店舗・病院や公共施設が、ある程度集まっている地域
- 4. 店舗等が少ない、住宅が集まっている地域
- 5. 学校や働く場所の周辺地域
- 6. 住民が多い地域や若い世代が多く、地域の活動が活発な地域
- 7. 住民の減少・高齢化が進んでおり、地域の活動・交流も少なくなってきた地域
- 8. 災害に強く、防犯対策もされた安心・安全な地域
- 9. その他（具体的に）
- 10. わからない

問31 次の都市機能の中で、徒歩圏（歩いて10分程度）内に必要な機能は何ですか。（○は3つまで）

- 1. 書類交付等が可能な身近な行政窓口機能
- 2. デイサービス等、高齢者の日々の介護、見守り等のサービスを提供できる機能
- 3. 保育所等、身近に使える子育て関連機能
- 4. コンビニ・スーパー等、日用品等の買い回りができる機能
- 5. 内科・外科・小児科等、日常的な診療を受けられることができる機能
- 6. 銀行ATM等の日々の引出、入金ができる機能
- 7. 地域における教育文化活動を支える公民館・図書館等の機能
- 8. その他（具体的に）
- 9. わからない

V. 公共施設のあり方についておうかがいします

現在、全国の自治体では、少子高齢化の影響により税収が減少する中、高度経済成長期に整備してきた公共施設が老朽化し、一斉に建替えや改修時期を迎え、建替えや改修にかかる多くの予算が必要になってきています。

また、医療・介護にかかる社会保障関係経費の増加がより一層進むと見込まれ、歳入は減少し、歳出が増加するという非常に厳しい財政状況となっています。

こうした状況は本市も例外ではなく、現在ある公共施設を将来に向け、現状のまま維持・保有し続けることは、多くの予算を必要とするため困難な状況となっています。

このため、本市の人口規模や財政状況に見合う公共施設を見出し、維持していくため、施設の縮減や機能集約・複合化について検討することが緊急の課題となっています。

【公共施設の利用状況について】

問32 あなたは過去1年間で、公共施設をどのくらい利用されましたか。公共施設の種類ごとに、該当する番号に○をつけてください。（○はそれぞれ1つ）

公共施設の種類	利用頻度【過去1年間】				
	ほぼ毎日 1回以上	1週間に 1回以上	1ヶ月に 1回以上	年に 数回程度	利用して いない
市庁舎	1	2	3	4	5
小中学校	1	2	3	4	5
千代田台保育所	1	2	3	4	5
三田市幼稚園	1	2	3	4	5
子ども子育て総合センター（あいっく）	1	2	3	4	5
フォレスト三田市（健康増進支援センター）	1	2	3	4	5
河内長野荘	1	2	3	4	5
滝畑ふるさと文化財の森せいか（研修宿泊施設）	1	2	3	4	5
奥河内くろまろの郷（びじゅてか、いしづか）	1	2	3	4	5
林業総合センター	1	2	3	4	5
市民公益活動支援センター（るーぶらざ）	1	2	3	4	5
シルバー人材センター	1	2	3	4	5
文化会館（アリーナ）	1	2	3	4	5
図書館（ヤガク）	1	2	3	4	5
市民交流センター（ヤガク）	1	2	3	4	5
市民センター ※	1	2	3	4	5
公民館 ※	1	2	3	4	5
コミュニティセンター ※	1	2	3	4	5
福祉施設 ※	1	2	3	4	5
障がい者福祉施設 ※	1	2	3	4	5
医療・健康施設 ※	1	2	3	4	5
スポーツ施設 ※	1	2	3	4	5
資料館 ※	1	2	3	4	5

※施設名の詳細については、別紙「市政アンケート調査のお願い」（裏面）一覧表をご参照ください

【問32で「年に数回程度」「利用していない」を選んだ方におうかがいします。】

問33 その理由に該当する番号に○印をつけてください。(○は3つまで)

1. 利用する機会がなかった
2. 施設自体を知らない
3. 交通アクセスが不便
4. 使用料に不満
5. 開始時間に不満
6. 施設に不満 (古い、狭い等)
7. サービスに不満 (利用したいものがない等)
8. 予約がいっぱいなどで使えない
9. 他市・民間の類似施設を利用している
10. その他 (具体的に)

【公共施設の今後について】

問34 本市では今後の人口減少、少子高齢化による市税収の減少や、医療・介護にかかる社会保障関係経費の増加などを踏まえ、今あるすべての公共施設を現状のまま将来にわたり維持していくことは困難となっています。

(1) 今後の公共施設の整備の方向性について、あなたの考えに近いものを1つ選び、該当する番号に○印をつけてください。(○は1つ)

1. 今ある公共施設を機能アップなどの改修をせず現在の状態のまま、将来の人口規模や財政状況に見合った施設数に減らし、維持管理していく
2. 今ある公共施設を市民ニーズや配置、管理方法などを考慮し、機能集約※や複合化※により、施設数を減らし、維持管理していく
3. 今ある公共施設は、市民のニーズにあっていないので、費用負担が増えてもニーズにあうように改修し、維持していく
4. 今ある公共施設は、適切な補修を行い、費用を抑え、できるだけ長く維持していく
5. その他 (具体的に)

※機能集約：同じ機能をもつ複数の施設を一つの施設に集約し、施設数を削減すること
※複合化：異なる機能をもつ施設を一つにまとめて複合的に利用すること。一つの施設でさまざまなサービスが受けられるなどのメリットがある

(2) 今後、業務の効率化や職員配置の適正化、維持管理費の削減などの取組みに加えて、さらなる対策が必要です。あなたの考えに近いものを選び、番号に○印をつけてください。(○は3つまで)

1. 公共施設の機能集約や複合化を行い、施設数を減らす
2. 公共施設を廃止し、代わりに民間施設を利用することに対して助成する
3. 施設の管理運営を市民や利用者等が中心となっておこなう
4. 施設におけるサービスの水準を引き下げる
5. しばらくの間、今のまま使用し、建替えはしないようにする
6. その他 (具体的に)

(3) (2) 以外の対策で、維持管理費の削減や財源確保の面から必要だと思いう取組みについて、あなたの考えに近いものを選び、番号に○印をつけてください。(○は3つまで)

1. 特別な税金等の徴収など市民全体で負担する
2. 利用料を徴収している施設の利用料金を引き上げる
3. これまで利用料を徴収していない施設においても徴収する
4. 民間にできることは民間に任せ、運営コストを削減する
5. あまり利用されていない施設や市有地の全部または一部を売却・賃貸して収入を得る
6. 人件費を削減する
7. その他 (具体的に)

(4) 今後、機能集約※や複合化※により、施設数を減らすとしたら、どのような公共施設を対象とすべきとお考えですか。あなたの考えに近いものを選び、番号に○印をつけてください。(○は3つまで)

1. あまり利用されていない施設
2. 現在の市民ニーズにあっていない施設
3. 特定 (一定) の個人や団体、地域等、利用者が限定されている施設
4. 老朽化が著しい施設
5. 維持管理費が高い施設
6. 公共性が低い (民間でも運営できる) 施設
7. 同じようなサービスの施設が近隣市町村にある施設
8. 同じようなサービスの施設が民間で運営されている施設
9. その他 (具体的に)

※機能集約：同じ機能をもつ複数の施設を一つの施設に集約し、施設数を削減すること
※複合化：異なる機能をもつ施設を一つにまとめて複合的に利用すること。一つの施設でさまざまなサービスが受けられるなどのメリットがある

(5) (4) の対象とすべき公共施設で具体的なものがあれば、その施設名 (または、公共施設の種類の) と理由をお書きください。

◎施設名 (または公共施設の種類の) の記入については、別紙「市政アンケート調査のお願い」(裏面) 一覧表の「1」から「28」より選んで記入してください。

	施設名 (公共施設の種類の)	理由
機能集約		
複合化		

【（１）で「３．学校への複合化は反対である」を選択された方におうかがいします。】
（３）その理由を記入してください。

【自由意見】
問36 本市の公共施設への取組みについて、ご意見があればご自由に記入してください。

（６）今後、機能集約や複合化を行う場合に、充実させるべきとお考えの機能等があれば、その施設名（または、公共施設の種類）と機能等をお書きください。

◎施設名（または公共施設の種類の）の記入については、別紙「市政アンケート調査のお願い」
（裏面）一覧表の「１」から「２８」より選んで記入してください。

施設名（公共施設の種類の）	機能

【複合化について】

問35 小中学校は、地域活動等の拠点となる施設ですが、今後、子どもの減少に伴う空き教室の増加が見込まれます。今後、こういった空き教室の有効活用が考えられます。

（１）教育面や防犯面の問題を考慮した上で、小中学校と周辺の公共施設との複合化について、あなたの考えに近いものに○印をつけてください。（○は１つ）

1. 学校への複合化を積極的に進めるべき ⇒ (2) へ

2. 複合化する施設（機能）を限定すれば、学校へ複合化してもよい ⇒ (2) へ

3. 学校への複合化は反対である ⇒ (3) へ

4. その他（具体的に）

【（１）で「１．学校への複合化を積極的に進めるべき」または「２．複合化する施設（機能）を限定すれば、学校へ複合化してもよい」を選択された方におうかがいします。】

（２）複合化してもよいと考える公共施設の種類の選び、番号に○印をつけてください。
（○はいくつでも）

◎必要面積や法規制などの課題が考えられますが、これらは解決できると仮定した上でご回答ください。

1. 市庁舎

2. 千代田台保育所

3. 三日市幼稚園

4. 子ども子育て総合センター（あいつく）

5. 7ヵ所三日市（健康増進支援センター）

6. 河内長野荘

7. 滝畑ふるさと文化財の森センター（研修宿泊施設）

8. 奥河内くろまろの郷（ビジュアルセンター、レストラン）

9. 林業総合センター（本根館）

10. 市民公益活動支援センター（るーぶらざ）

11. シルバー人材センター

12. 文化会館（ラプリーホール）

13. 図書館（キックス）

14. 市民交流センター（キックス）

15. 市民センター ※

16. 公民館 ※

17. コミュニティセンター ※

18. 福祉施設 ※

19. 障がい者福祉施設 ※

20. 医療・健康施設 ※

21. スポーツ施設 ※

22. 資料館 ※

23. その他（具体的に）

※施設名の詳細については、別紙「市政アンケート調査のお願い」（裏面）一覧表をご参照ください

Ⅵ. 市政全般に関連した内容についておうかがいします

問37 あなたは、現在の河内長野市の生活環境等についてどの程度満足されていますか。
またどの程度重要だと思いますか。次の項目についてあなたのお考えに最も近い番号に○をつけてください。(○は①②それぞれ1つ)

	①現在の満足度				②今後の重要度			
	非常に満足	やや満足	普通	やや不満	非常に不満	非常に重要	やや重要	あまり重要でない
1. 防災	1	2	3	4	5	6	1	2
2. 消防・救急	1	2	3	4	5	6	1	2
3. 防犯	1	2	3	4	5	6	1	2
4. 交通安全	1	2	3	4	5	6	1	2
5. 消費者行政	1	2	3	4	5	6	1	2
6. 地域の支え合い	1	2	3	4	5	6	1	2
7. 高齢者にとつての暮らしやすさ	1	2	3	4	5	6	1	2
8. 障がい者にとつての暮らしやすさ	1	2	3	4	5	6	1	2
9. 社会保険制度※	1	2	3	4	5	6	1	2
10. 健康づくりを進める環境	1	2	3	4	5	6	1	2
11. 児童に対する福祉	1	2	3	4	5	6	1	2
12. 子育てのしやすさ	1	2	3	4	5	6	1	2
13. 小中学校の教育環境	1	2	3	4	5	6	1	2
14. 青少年の健全な育成	1	2	3	4	5	6	1	2
15. 各種講座や施設など生涯学習の環境	1	2	3	4	5	6	1	2
16. 文化芸術活動などの環境	1	2	3	4	5	6	1	2
17. 歴史文化遺産の保存・活用	1	2	3	4	5	6	1	2
18. スポーツ施設や活動などの環境	1	2	3	4	5	6	1	2
19. 人権の尊重と平和意識の高揚	1	2	3	4	5	6	1	2
20. 男女共同参画の推進	1	2	3	4	5	6	1	2
21. 国際交流や多文化共生社会※の推進	1	2	3	4	5	6	1	2
22. 自然環境への配慮	1	2	3	4	5	6	1	2
23. リサイクル施策など循環型社会への取り組み	1	2	3	4	5	6	1	2
24. 騒音・悪臭などの少なさ	1	2	3	4	5	6	1	2
25. まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ	1	2	3	4	5	6	1	2

※社会保険制度：国民健康保険や国民年金などの社会保険や、生活保護制度等の公的扶助など、国民の生存権を確保することを目的とする制度のこと
※多文化共生社会：国籍や民族の異なる人々が互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築き、地域社会の構成員として共に生きていくことができる社会のこと

	①現在の満足度				②今後の重要度			
	非常に満足	やや満足	普通	やや不満	非常に不満	非常に重要	やや重要	あまり重要でない
26. 市街地の整備	1	2	3	4	5	6	1	2
27. 住環境	1	2	3	4	5	6	1	2
28. 公園や緑地などの環境	1	2	3	4	5	6	1	2
29. 道路や橋などの交通網	1	2	3	4	5	6	1	2
30. バスなどの公共交通サービス	1	2	3	4	5	6	1	2
31. 上下水道	1	2	3	4	5	6	1	2
32. 商業地などの賑わい	1	2	3	4	5	6	1	2
33. 農林業の振興	1	2	3	4	5	6	1	2
34. 観光事業	1	2	3	4	5	6	1	2
35. 身近な場での働きやすさ	1	2	3	4	5	6	1	2
36. 市民同士の連携や市民と行政の協働※	1	2	3	4	5	6	1	2
37. 行政改革への取り組み	1	2	3	4	5	6	1	2
38. 適正で透明性の高い財政運営	1	2	3	4	5	6	1	2
39. 市全体として	1	2	3	4	5	6	1	2

※協働：市民・行政・事業者などが、お互いの立場を理解し、尊重し合いながら、対等な関係で、共通の目的を持って、まちづくりを進めること

問38 あなたは、次の項目について、どのように感じていますか。各項目についてあなたのお考えに近い番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

	非常に感じる	やや感じる	普通	あまり感じない	ほとんど感じない	わからない
1. 地域のまちづくり活動※が充実していると 感じている	1	2	3	4	5	6
2. 河内長野市に住み続けたいと感じている	1	2	3	4	5	6
3. 河内長野市に愛着と誇りを感じている	1	2	3	4	5	6

※地域域のまちづくり活動：自治会・町内会、PTA、教育、青少年、環境、美化、福祉など、有償・無償を問わず、幅広く社会貢献活動のことをさしています

◆お忙しい中ご協力いただき、誠にありがとうございました。◆